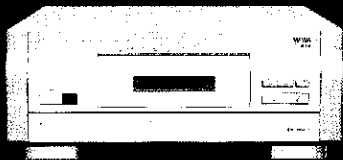
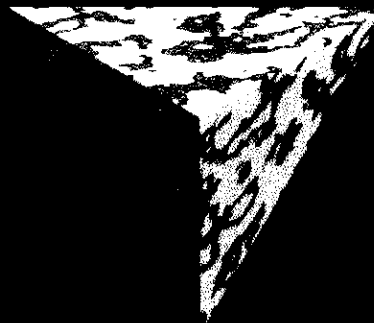


# HR-W1

Hi-Vision VIDEO CASSETTE RECORDER



## 取扱説明書

## 操作編

- この「操作編」取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- また設置については、別冊「設置編」取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく接続・準備をしてください。
- お読みになったあとは、再読できるように保管してください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機の製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているか、お確かめください。

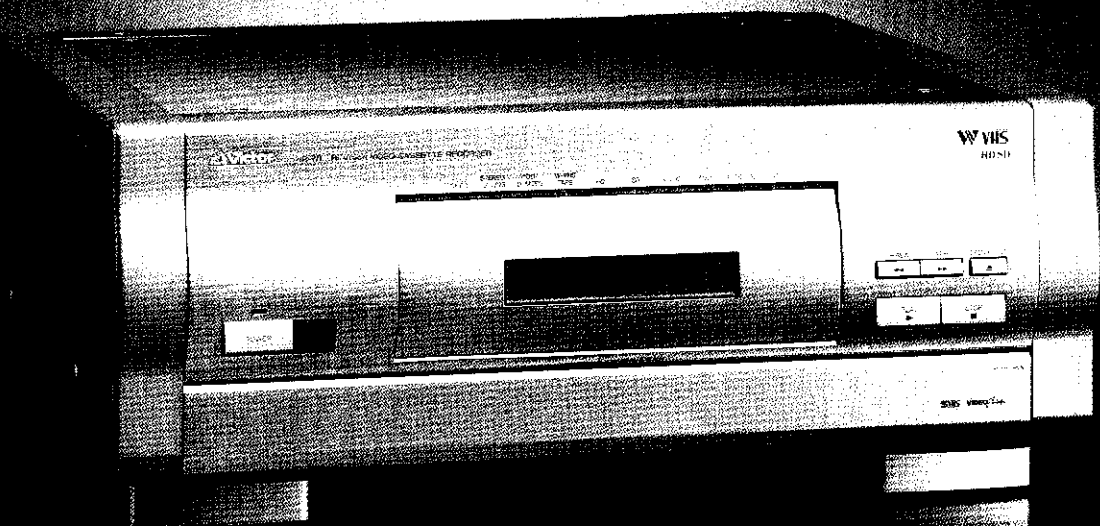


Hi-Vision VIDEO CASSETTE RECORDER

## HR-W1

本機でHD録画をする場合は  
HD出力(Y、P<sub>B</sub>、P<sub>R</sub>)のあるMUSEデコーダー内蔵ハイビジョンテレビと  
組み合わせてご使用ください。

またその他のハイビジョンテレビでは市販の  
MUSEデコーダーを組み合わせてご使用ください。



このビデオカセットレコーダはW-VHSビデオのHDモードおよびSDモードがお楽しみいただけます。必ずW VHSマークのついたカセットをご使用ください。また、VHSモードおよびS-VHSモードを搭載していますので、VHSマークまたはS VHSマークのついたカセットをご使用ください。

## 継承し、そして発展したW-VHS

W-VHSとは、今や社会的資産となったVHSを起点として、VHS Hi-Fi、S-VHSと発展してきたVHSフォーマットを継承しながら、新たにハイビジョンの録画/再生をも可能にしたフォーマットです。

極めて細かな映像の源泉となるハイビジョンの走査線数は、NTSC既存のテレビ放送)に比べおよそ2倍。横長画面により走査線長が長いので、1画面あたりの情報量はケタ違いに大きくなります。この膨大な画像情報を記録するために開発されたのが2トラックパラレル記録方式です。これは、ハイビジョンの映像信号を2つに分け、同時に2つのヘッドで2つの映像トラックに記録しようというものです。2トラック同時に記録するからといってもテープの使用量が倍増し、結果的に録画時間が短くなっては魅力も半減します。そこで、テープには記録密度の高いメタルテープを用い、ハイビジョン録画HDモード時はVHSの標準モードと同じ録画時間を確保しています。

メタルテープを用いNTSC信号を録画する場合(SDモード)には、2トラックパラレル記録は必要ありませんから、1本のトラックを使用します。新開発の高画質技術(詳しくは技術解説参照)により、これまでのS-VHSより高解像度で、ハイビジョン録画時の3倍の時間で録画できます。

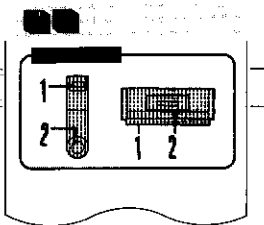
### 取扱説明書の見かた

この説明書では、各ページの操作がリモコンまたは本体のどちらで操作できるかを左上にイラストでお知らせしています。

- リモコンで操作できます。
- 本体で操作できます。

### Gコードを使ってタイマー予約する前に準備しましょう。

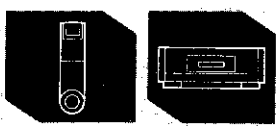
- ①受信チャンネル設定 …… 設置編 32 ページ
- ②時刻合わせ(リモコン) …… 設置編 38 ページ
- ③時刻合わせ(本体) …… 設置編 39 ページ
- ④ガイドチャンネル設定 …… 設置編 40 ページ
- ⑤タイマー予約 …… 操作編 20 ページ



# 操作編 CONTENTS

はじめに	カセットテープについて ……	4
	使用テープと録画方式 ……	6
	録画するチャンネルの選びかた ……	9
	衛星放送を見る ……	10
録画・再生	テレビ/BS番組を録画する ……	12
	BSのハイビジョン番組を録画する ……	14
	テープを見る ……	16
	HD録画したテープを見る ……	17
タイマー予約	速さを変えて見る ……	18
	Gコードを使ってタイマー予約する ……	20
	本体でタイマー予約する ……	22
	予約の確認をする ……	24
便利な使いかた	予約内容の修正をする ……	25
	予約を取消す ……	26
	番組の頭出しをして再生する ……	28
	頭出し信号の書き込み/消去 ……	29
編集	テープの始めから自動的に再生する ……	30
	画面のゆがみや歪みを補正し安定した画面で再生する ……	31
	各種デジタル信号処理の設定をする ……	32
	テープに合わせた画面質択 ……	33
	ノイズで見づらいとき ……	34
	テープによって気になる横方向の色ズレを調整する ……	35
	お好みの画質に合わせる ……	35
	録画していない部分をさがす ……	36
	テープの残り時間を調べる ……	36
	不要な場面を入れずに録画する ……	37
	二ヶ国語放送(日本語と外国語)を録音する ……	38
	聞きたい音声を選ぶ ……	39
	Hi-Fi録音レベルを調節する ……	40
	他のビデオで録画したテープを再生中、Hi-Fi音声にノイズ(雑音)がでるとき ……	41
テープの特性に合わせて録画する ……	42	
横長画面を楽しむ ……	44	
その他	本機で再生、他のビデオで録画する場合 ……	46
	本機のリモコンで2台のビクタービデオを操作する ……	47
	外部入力を選ぶ ……	47
	他のビデオで再生、本機で録画する場合 ……	48
索引	ビデオムービーで再生、本機で録画する場合 ……	50
	故障かな?と思ったら ……	52
	技術解説 ……	56
	保証とアフターサービス ……	61
索引	仕様 ……	62
	索引 ……	63

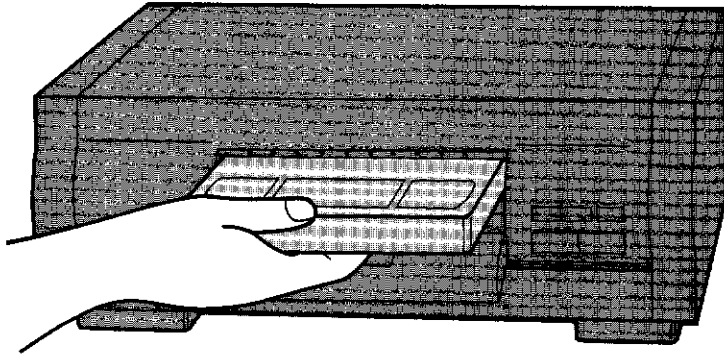
設置については、別冊「設置編」取扱説明書をご覧ください。



# カセットテープについて

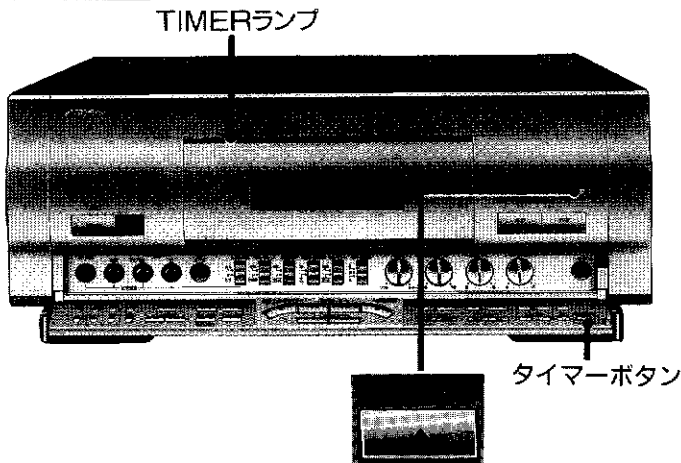
## テープの出し入れ

### 入れかた



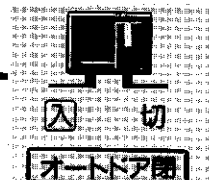
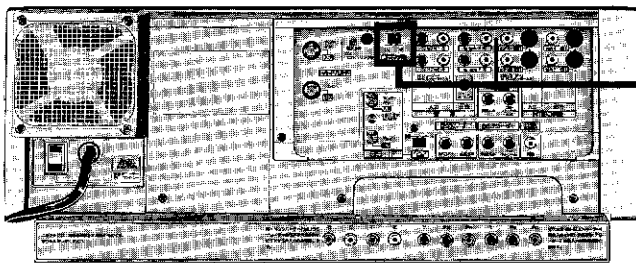
- ①OPEN/CLOSEボタンを押す
  - ・ドアが開きます。
- ②テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押す
  - ・電源が入り、ドアが閉まります。
  - ・カウンターが0:00:00になります。
  - ・つめなし（録画不可状態）のテープを入れると自動的に再生を始めます。

### 出しかた



- ①OPEN/CLOSEボタンを押す
  - ・ドアが開き、テープが出てきます。
  - ・リモコンの場合は、取出しボタンで操作します。
- ②OPEN/CLOSEボタンを押す
  - ・ドアが閉まります。

・テープ無しでドアを開いたままにしておくと、約1分後に自動的に閉まります。自動的に閉めたくないときは、背面のオートドア閉スイッチを切にします。ご購入時、オートドア閉スイッチは入になっています。

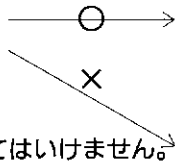


- ・テープの出し入れ口には、手や異物を入れないでください。特に小さいお子様などがドアに手をはさまないようご注意ください。もし手などをはさんだ場合、数秒後にドアが開きます。
- ・TIMERランプ点灯中はテープを取り出すことはできません。タイマーボタンでTIMERランプを消してから取り出してください。

- ・テープを入れたらつまってしまい、数秒後にテープが自動的に出てきたときはテープを斜めに入れるなど、入れかたによっては内部の保護回路が働き、テープが自動的に出てきます。このようなときは、数秒待ち、もう一度正しく入れ直してください。

## 使用テープについて

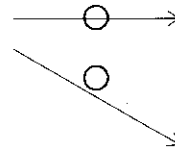
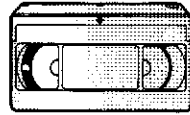
### W-VHSテープ



入れてはいけません。



### S-VHS/VHSテープ

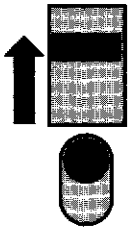


## 大切なテープを消さないために

### ●W-VHSテープの場合

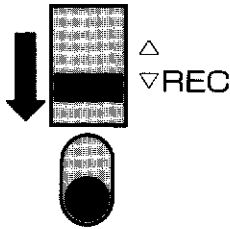
つめの部分がスライド式です。

消さないようにするときは



録画不可状態

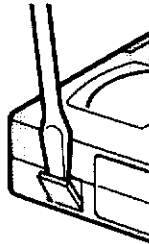
録画するときは



録画可能状態

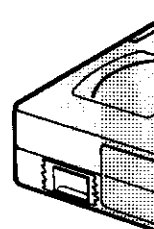
### ●S-VHS/VHSテープの場合

消さないようにするときは



つめ(誤消去防止)を折って、取り除く

録画するときは

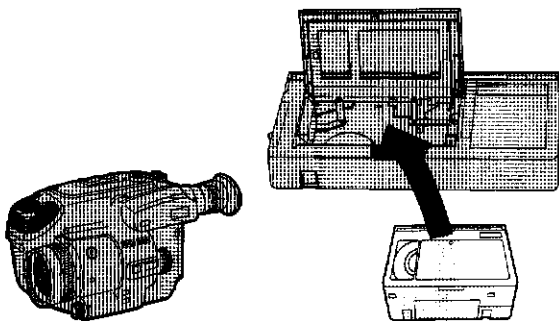


セロハンテープを2重に貼る  
W-VHSテープの場合は、セロハンテープを貼らないでください。

・つめなし（録画不可状態）のテープを入れると、自動的に再生を始めます。

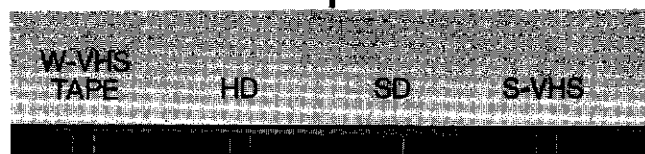
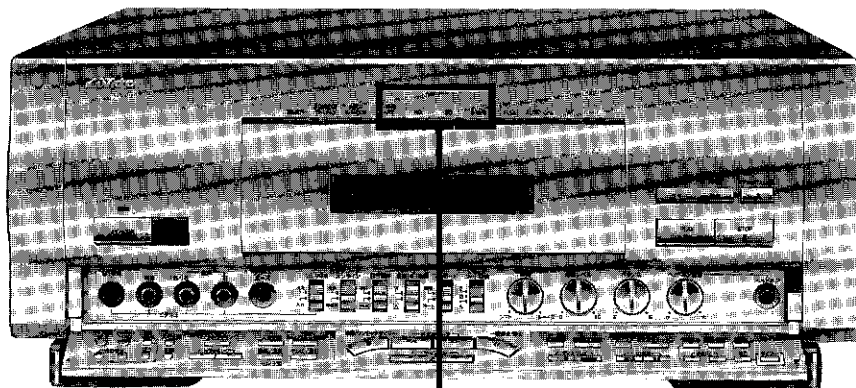
## ビデオムービーで録画したVHSテープを見るには

別売のカセットアダプターC-P8をご使用ください。





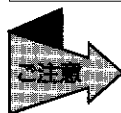
# 使用テープと録画方式



## W-VHSテープを使用した場合の録画方式と表示ランプ

W-VHS TAPEランプ	
カセットテープがW-VHSか、S-VHS/VHSかを識別して知らせます。	
W-VHS TAPE (点灯) ■	W-VHSテープ
W-VHS TAPE (消灯) □	S-VHS/VHSテープ

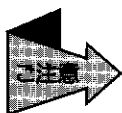
HDランプ、SDランプ		
W-VHSテープ使用時、録画・再生がHD方式かSD方式かを知らせます。		
HD ■ (点灯)	SD □ (消灯)	HD方式
HD □ (消灯)	SD ■ (点灯)	SD方式



・録画時、誤消去防止スイッチがREC側になっているテープのみ、HD/SDランプが点灯します。

## S-VHS/VHSテープを使用した場合の録画方式と表示ランプ

S-VHSランプ			
カセットテープがS-VHSかVHSか、また、録画・再生がS-VHS方式かVHS方式かを知らせます。			
停止中 (使用テープの判別)		録画・再生中 (録画方式の判別)	
S-VHS ■ (点灯)	S-VHSテープ	S-VHS ■ (点灯)	S-VHS方式
S-VHS □ (消灯)	VHSテープ	S-VHS □ (消灯)	VHS方式



・モード選択画面のS-VHS記録が切のときは、S-VHSランプは点灯しません。(設置編⑫ページ参照)

## ・HD録画とは

BSのハイビジョン番組を縦横比9:16のワイド画面のまま高品位で録画することができます。視聴するにはHD映像(Y, P<sub>B</sub>, P<sub>R</sub>)入力端子付ハイビジョンテレビが必要です。テープのスピードは、従来の標準(SP)モードに相当します。

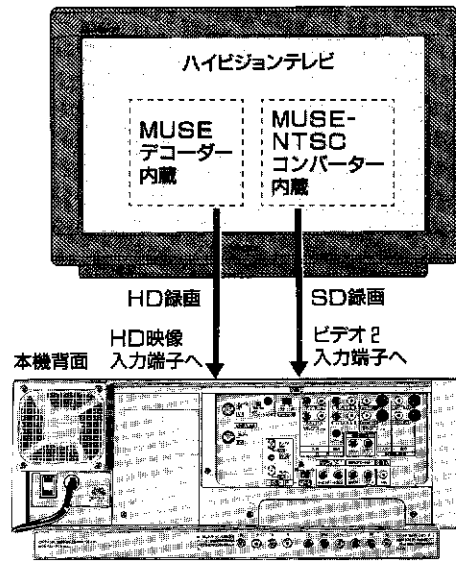
(HD:High Definitionの略)

## ・SD録画とは


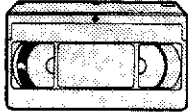
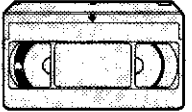
従来の縦横比3:4(NTSC信号)を高品位に長時間録画することができます。テープのスピードは、従来の3倍(LP)モードに相当します。

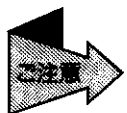
(SD:Standard Definitionの略)

- ・テレビでBSのハイビジョン番組を受信し、本機で外部入力録画する場合  
本機：外部のHD入力時⇒HD録画  
外部のL2入力時⇒SD録画

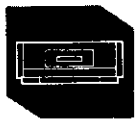


## 使用テープと録画方式

使用テープ	録画方式	録画スピード	操作方法	ご注意
W-VHSテープ 	HD	標準	⑧ ページをご覧ください。	S-VHS/VHS録画はできません。
	SD	3倍		
S-VHSテープ 	S-VHS	標準/3倍 選択可能	S-VHSテープを入れるとS-VHS録画ができます。	HD/SD録画はできません。
	VHS	標準/3倍 選択可能	モード選択画面のS-VHS記録を切にします。(設置編 ⑫ ページ参照)	
VHSテープ 	VHS	標準/3倍 選択可能	VHSテープを入れるとVHS録画ができます。	HD/SD/S-VHS録画はできません。



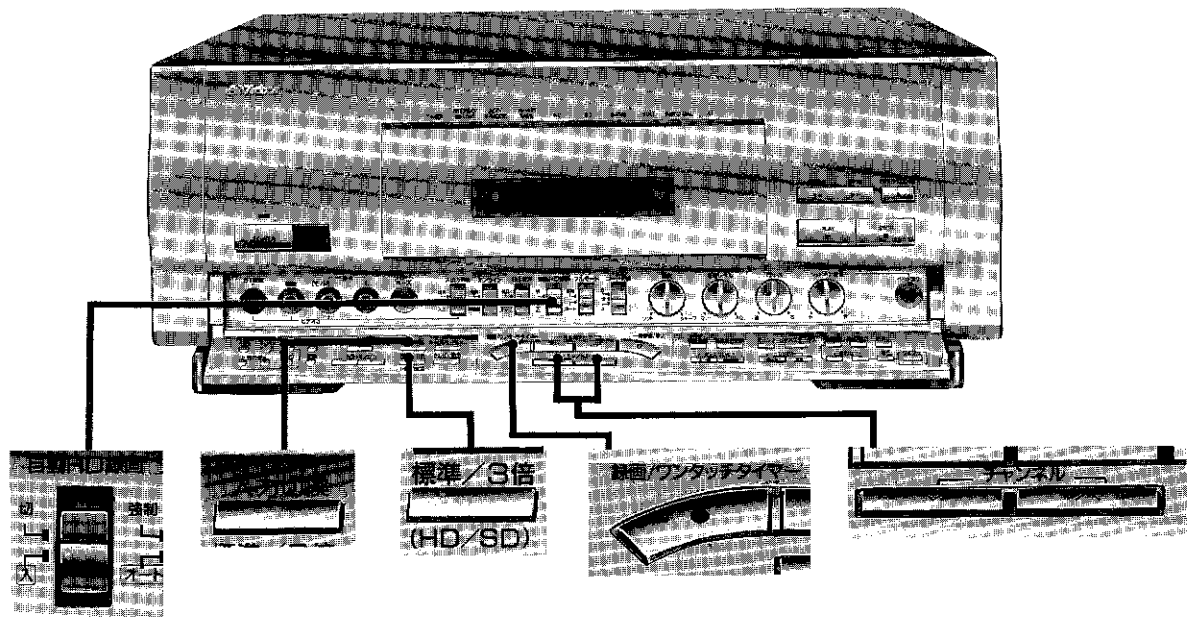
- ・3倍スピードでHD録画はできません。
- ・標準スピードでSD録画はできません。



# 使用テープと録画方式(つづき)

## 自動HD録画スイッチの働き

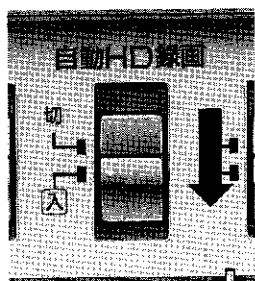
使用テープ、録画チャンネルによって、自動的に録画方式を判別する自動HD録画スイッチを搭載しています。



## W-VHSテープ使用時、録画方式(HD/SD)を自動判別する 自動HD録画スイッチ

自動HD録画スイッチを入にします。

- W-VHSテープ使用時、録画チャンネルによってHD録画するかSD録画するかを自動判別します。
- 入力切換ボタンでHD入力を選んだときは、自動的にHD録画します。
- 通常は自動HD録画スイッチを入にします。



録画チャンネル	録画チャンネル		外部入力
	テレビチャンネル (1~82ch)	BSチャンネル	L1, L2, L3
使用テープ			HD
W-VHSテープ 	自動的にSD録画します。 (ビクターのハイビジョンテレビ HV-32Z3 と接続している場合、BSのハイビジョン番組は自動的にHD録画します。)		自動的にHD録画します。
S-VHS/VHSテープ 	自動HD録画スイッチの入/切に関係なく、S-VHSまたはVHS録画します。		HD入力は選択できません。

■ビクターのハイビジョンテレビHV-32Z3と接続(設置編 26 ページ参照)し、BSのハイビジョン番組をSD録画したいときは

1. 自動HD録画スイッチを切にします。
2. 本機のチャンネルボタンでBSのハイビジョン番組を選びます。
3. 標準/3倍ボタンで3倍(SD)にします。
4. 録画ボタンで録画を始めます。

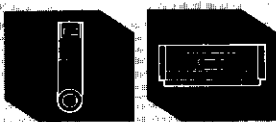
■BSのハイビジョン番組をHD録画するために下のどちらかの機器が必要となります。

- MUSEデコーダー
- MUSEデコーダー内蔵HD映像出力端子付ハイビジョンテレビ

■BSのハイビジョン番組をSD録画するために下のどちらかの機器が必要となります。

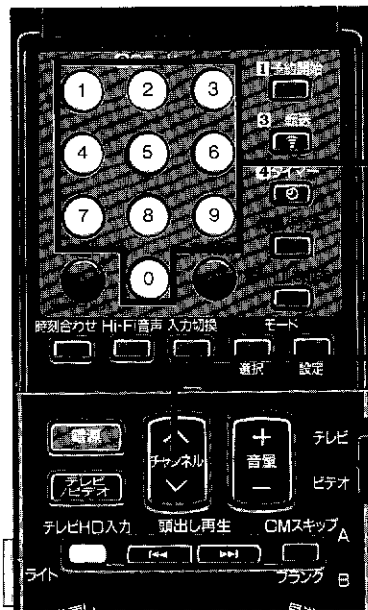
- MUSE-NTSCコンバーター
- MUSE-NTSCコンバーター内蔵テレビ





# 録画するチャンネルの選びかた

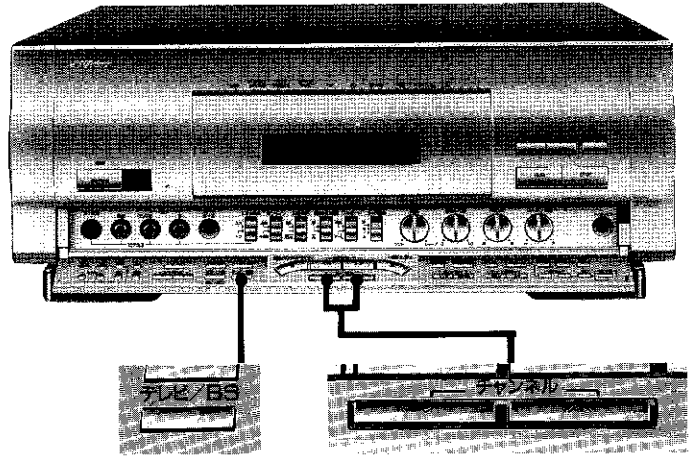
テレビのチャンネルを選ぶときは、設置編 ⑪ ページをご覧ください。



数字ボタン

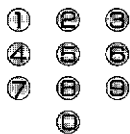
チャンネルボタン

テレビ/ビデオ  
操作スイッチ



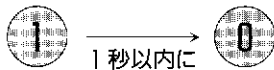
## リモコンで操作する

数字ボタンで選ぶ  
数字ボタンを押します。



・チャンネルが2ケタのときは

(例) 10チャンネルを選ぶ

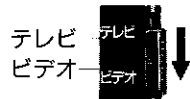


・BSチャンネルを表示しているときは、数字ボタンでBSチャンネルの選局ができます。

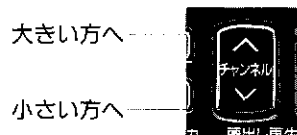
## 本体で操作する

チャンネルボタンを押します。

チャンネルボタンで選ぶ  
① テレビ/ビデオ操作スイッチを“ビデオ”にします。



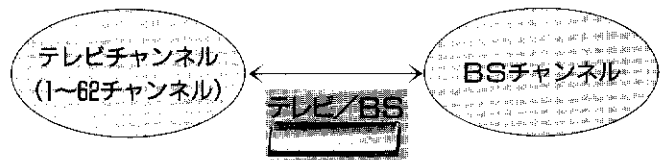
② チャンネルボタンを押して選びます。



小さい方へ      大きい方へ

・BSチャンネルを素早く呼び出したいときは  
(例) BS 7チャンネルを選ぶ

① テレビチャンネルを表示しているときに、テレビ/BSボタンを押します。



押すたびに交互に切り換わります。

② チャンネルボタンでBS 7チャンネルを選びます。



・チャンネル∧ボタンを押すと  
1 → 2 → 3 → …… → BS1 → BS3 → …… → BS15

チャンネル∨ボタンを押すと逆に戻ります。

・不要なチャンネルを飛ばしたいときは、  
設置編 ⑬ ページをご覧ください。

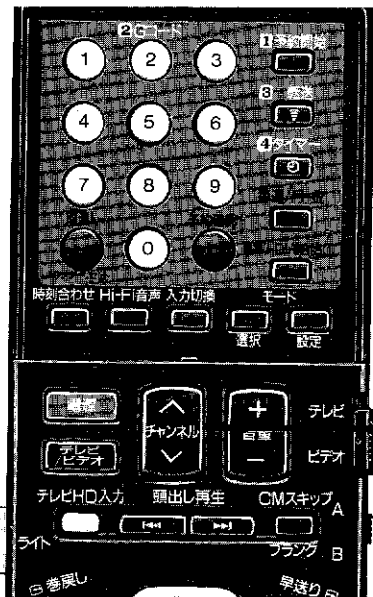


# 衛星放送を見る

## WOWOWを見る/St.GIGAを聞く/BSのハイビジョン番組を見る

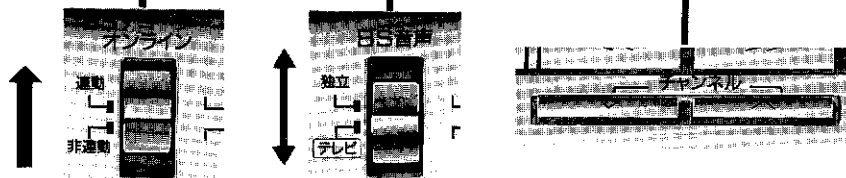
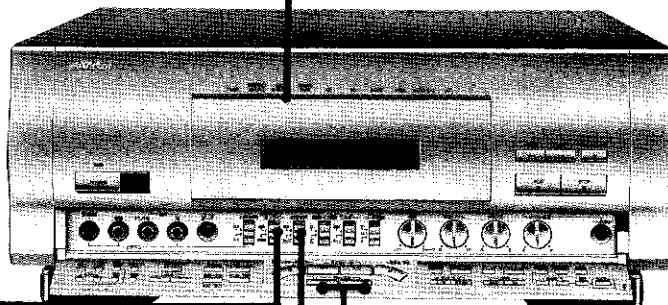
WOWOW/St.GIGAを視聴するには、BSデコーダーが必要です。放送局との所定の手続きを行ってください。

本機とBSデコーダーの接続は、設置編 ④9 ページをご覧ください。



チャンネルボタン

ADDランプ(赤色)



### WOWOWを見る

1 BSデコーダーの電源を入れる

2 チャンネルボタンで  
WOWOWを選ぶ

3 BS音声スイッチをテレビ側にする

- ・WOWOWの音声聞こえます。
- ・聞こえないときは、BSデコーダーの音声選択ボタンでテレビを選んでください。
- ・スクランブル放送で二ヶ国語放送を聞く場合は、BSデコーダーの二重音声ボタンで聞きたい音声を選んでください。

### St. GIGAを聞く

1 BSデコーダーの電源を入れる

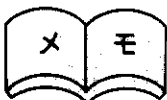
2 チャンネルボタンで  
St. GIGAを選ぶ

- ・St.GIGAが放送されていると、ADDランプが点灯します。

3 BS音声スイッチを独立側にする

- ・St.GIGAの音声聞こえます。
- ・聞こえないときは、BSデコーダーの音声選択ボタンで独立を選んでください。
- ・スクランブル放送で二ヶ国語放送を聞く場合は、BSデコーダーの二重音声ボタンで聞きたい音声を選んでください。

■本機の電源入/切に連動して、BSデコーダーの電源を自動的に入/切させたいときは、右ページをご覧ください。



- ・BSデコーダーの取扱説明書もお読みください。
- ・St.GIGA放送時、放送局と契約していない場合は音声が聞こえません。
- ・St.GIGAの放送がないときにBS音声スイッチを独立側になると、音声は出ません。
- ・WOWOWの画面が乱れていても、St.GIGAの音声は正常に録音できます。

- ・スクランブル放送時、デジタル音声出力端子から出力される音声は、スクランブル信号のため無音声になります。BSデコーダーのデジタル音声出力端子からデジタルアンプなどへ接続してください。


## BSのハイビジョン番組を見る

BSのハイビジョン番組を見るには、MUSEデコーダーまたはMUSE-NTSCコンバーターが必要です。

接続は設置編(45)ページをご覧ください。  
ハイビジョンテレビと接続している場合は、操作編(14)ページをご覧ください。

**1** MUSEデコーダーまたはMUSE-NTSCコンバーターの電源を入れる

**2** チャンネルボタンでBSのハイビジョン番組を選ぶ

 MUSEデコーダーまたはMUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書もお読みください。

■本機の電源入/切に連動して、MUSEデコーダーやBSデコーダーなどの電源を自動的に入/切させたいときは

①BSデコーダーオンラインスイッチを連動にします。

②本機の電源を入れたあとに、MUSEデコーダーやBSデコーダーなどの電源を入れます。

・本機の電源を入/切すると、MUSEデコーダーやBSデコーダーなどの電源も連動して入/切することを確認します。

・本機の電源やタイマー録画の入/切に連動して、MUSEデコーダーやBSデコーダーなどの電源も自動的に入/切します。

ピクチャーハイビジョンテレビHV-32Z3と接続し、WOWOWを見る/St. GIGAを聞く

接続は設置編(28)ページをご覧ください。

**1** BSデコーダーの電源を入れる

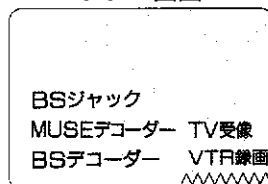
**2** テレビの電源を入れ、「ビデオ1」入力にする

・ビデオの電源が入っていないと、何も映りません。

**3** テレビのリモコンのBSジャックボタンで、テレビ画面に「BSデコーダー VTR録画」を表示させる

・テレビの取扱説明書もご覧ください。

テレビ画面



**4** ビデオの電源を入れ、チャンネルボタンでWOWOWを選ぶ

・テレビ画面にWOWOWが映ります。

本体表示窓



**5** BS音声スイッチで聞きたい音声を選ぶ

- ・WOWOWの音声を聞く場合：「テレビ」側
- ・St. GIGAの音声を聞く場合：「独立」側
- ・聞こえないときは、BSデコーダーの音声選択ボタンで聞きたい音声を選んでください。
- ・スクランブル放送で二ヶ国語放送を聞く場合は、BSデコーダーの二重音声ボタンで聞きたい音声を選んでください。

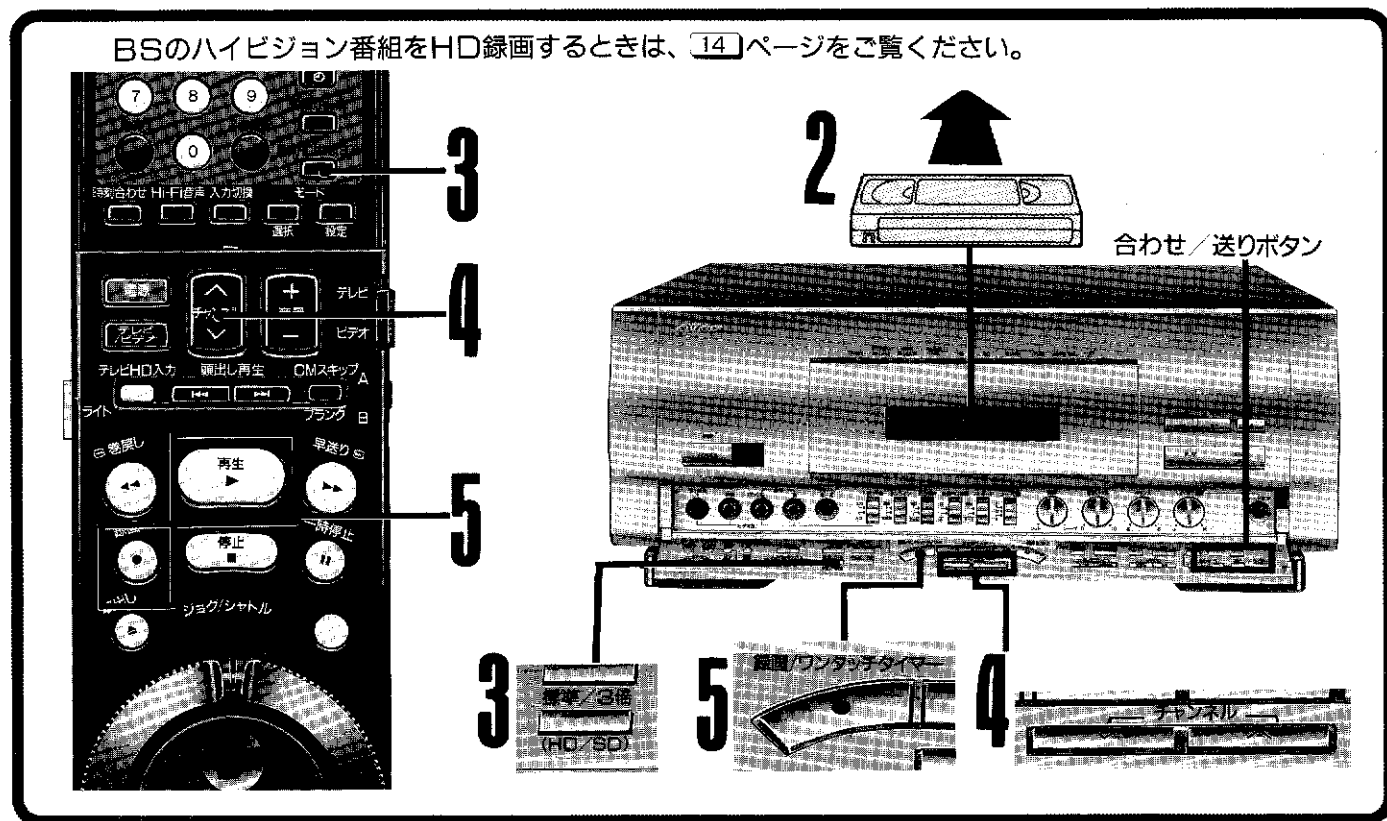


- ・ピクチャーハイビジョンテレビHV-32Z3と接続時、BSデコーダーの電源プラグは、本機背面の電源コンセントに接続し、本機のBSデコーダーオンラインスイッチを非連動にします。
- ・タイマー予約する場合、2～4の操作は不要で、本機のタイマー予約をするだけです。
- ・WOWOW/St. GIGAはテレビ側で視聴できません。



# テレビ/BS番組を録画する

BSのハイビジョン番組をHD録画するときは、**[14]**ページをご覧ください。



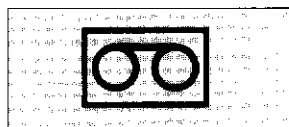
テレビ画面

本体表示窓

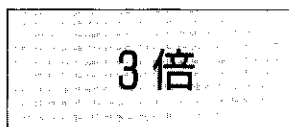
**1** テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にする



**2** テープを入れる  
・つめがあることを確認します。  
(**[5]**ページ参照)



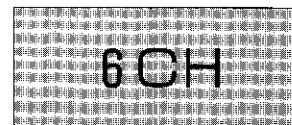
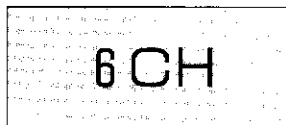
**3** 標準/3倍ボタンで録画スピードを選ぶ  
・W-VHSテープ使用時は、自動的に3倍(SD)モードになります。



- ・録画を始めると頭出し信号を書き込みます。番組の頭出しに使用します。(28)ページ参照)
- ・一時停止を5分以上続けると、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
- ・テープがなくなると自動的に巻き戻します。

## 4 チャンネルボタンで チャンネルを選ぶ

- ・衛星放送も選べます。
- ・リモコンの場合は、数字ボタンでも選べます。



## 5 録画ボタンで録画を始める

- ・リモコンの場合は、録画ボタンを押しながら再生ボタンを押します。

つめのないテープには録画できません。



■録画をやめるには、停止ボタンを押します。

■録画を一時的に止めるには、一時停止ボタンを押します。

- ・再生ボタンで、また録画を始めます。

### テレビ/BS番組を録画中に別のテレビ/BS番組を見るには

- ①録画中に、テレビの入力切換を「ビデオ」から「テレビ」にします。
  - ②テレビ側のチャンネルボタンで、見たい番組にします。
- ・録画には影響しません。

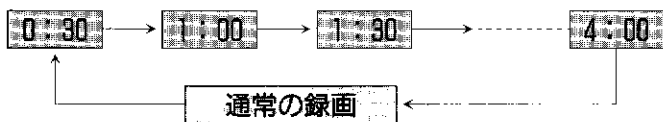
- ・テレビがBSチューナー内蔵でない場合は、テレビ/BS番組を録画しながら、別のBS番組を見ることはできません。

### 録画中に録画時間を設定し、自動的にビデオの電源を切るには

### ワンタッチタイマー録画

録画を始めた後、もう一度録画ボタンを押します。

- ・録画ボタンを押すたびに、30分刻みで4時間まで設定できます。

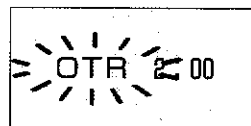


- ・設定した時間だけ録画したあと、自動的に電源が切れます。
- ・ワンタッチタイマー録画中にテープがなくなると、自動的にカセットが出て電源が切れます。

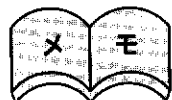
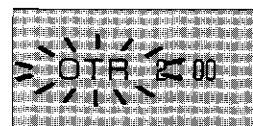
リモコンの録画ボタンでは操作できません。

■ワンタッチタイマー録画を途中でやめるには、停止ボタンを押します。

テレビ画面



本体表示窓



- ・録画時間を4時間以上または分刻みで合わせたいときは(例)録画時間を5時間15分にする
- ①ワンタッチタイマー録画中に、送りボタンを押します。(以後10秒以内に各操作を行います。)
- ②合わせボタンで5(時間)にします。

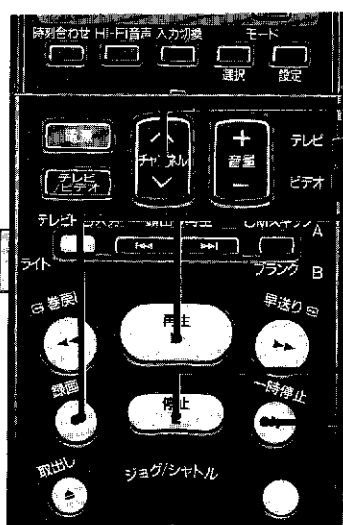
- ③送りボタンを押します。
- ④合わせボタンで15(分)にします。
- ⑤送りボタンを押します。(設定完了)
- ・最大9時間59分まで設定できます。



# BSのハイビジョン番組を録画する

## ビクターハイビジョンテレビHV-32Z3と接続している場合

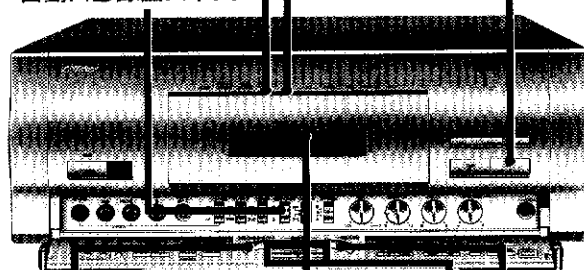
接続は設置編 28 ページをご覧ください。



4  
5

停止  
ボタン  
一時停止  
ボタン

W-VHS TAPEランプ HDランプ STOPボタン  
自動HD録画スイッチ



3

一時停止ボタン

5

4

・録画する前に、自動HD録画スイッチが「入」であることを確認してください。

1

### テレビの電源を入れ、「ビデオ1」入力にする

- ・ビデオの電源が入っていないと、何も映りません。

4

### チャンネルボタンでBSのハイビジョン番組を選ぶ

- ・HDランプが点灯します。
- ・テレビ画面にBSのハイビジョン番組が映っていることを確認します。
- ・SD録画したいときは、**[8]** ページをご覧ください。

本体表示窓

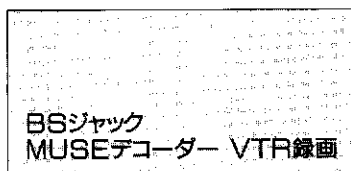


2

### テレビのリモコンのBSジャックボタンで、テレビ画面に「MUSEデコーダーVTR録画」を表示させる

- ・テレビの取扱説明書もご覧ください。

テレビ画面



5

### 録画ボタンで録画を始める

- ・リモコンの場合は、録画ボタンを押しながら再生ボタンを押します。

3

### W-VHSテープを入れる

- ・電源が入ります。
- ・W-VHS TAPEランプが点灯します。
- ・誤消去防止スイッチがREC側になっていることを確認します。(5) ページ参照)

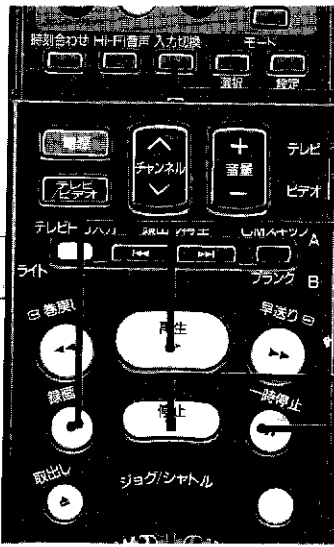
- 録画をやめるには停止ボタンを押します。
- 録画を一時的に止めるには、一時停止ボタンを押します。
- ・再生ボタンで、また録画を始めます。

録画中にテレビ側で別のテレビ/BS番組を見るには録画中に、テレビのリモコンのチャンネルボタンで、見たい番組にします。

- ・録画には影響しません。
- ・BSのハイビジョン番組はテレビ側で見れなくなります。

## ビクター以外のハイビジョンテレビと接続している場合

接続は設置編 ③④ ページをご覧ください。

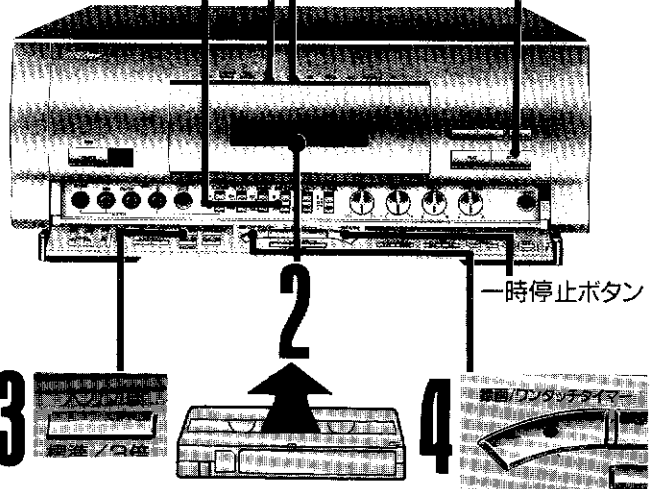


3

4

停止  
ボタン  
一時停止  
ボタン

W-VHS TAPEランプ HDランプ STOPボタン  
自動HD録画スイッチ



3

4

・録画する前に、自動HD録画スイッチが「入」であることを確認してください。

### 1 ハイビジョンテレビでBSのハイビジョン番組を受信する

### 2 W-VHSテープを入れる

- ・電源が入ります。
- ・W-VHS TAPEランプが点灯します。
- ・誤消去防止スイッチがREC側になっていることを確認します。(⑤)ページ参照)

### 3 入力切換ボタンで外部のHD入力を選ぶ

- ・HDランプが点灯します。
- ・入力切換ボタンを押すごとに  
→ L1 → L2 → L3 → HD
- ・SD録画したいときは、L1、L2、L3の中から、BSのハイビジョン番組が映る入力を選んでください。

### 4 録画ボタンで録画を始める

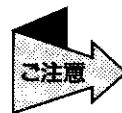
- ・リモコンの場合は、録画ボタンを押しながら再生ボタンを押します。

- 録画をやめるには停止ボタンを押します。
- 録画を一時的に止めるには、一時停止ボタンを押します。
- ・再生ボタンで、また録画を始めます。

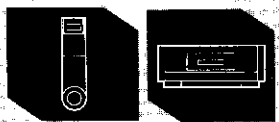
録画中にテレビ側で別のテレビ/BS番組を見るにはテレビの取扱説明書をご覧ください。



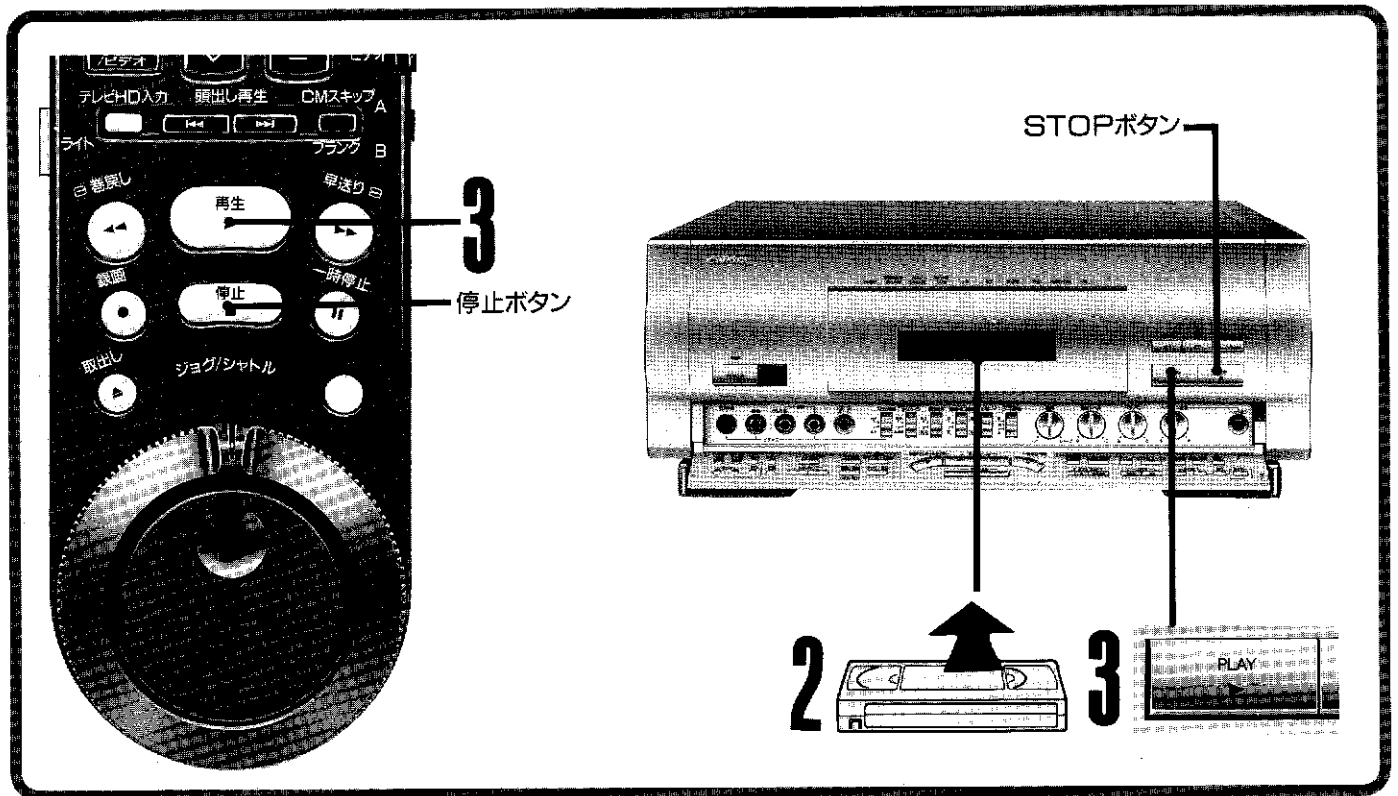
- ・録画を始めると頭出し信号を書き込みます。番組の頭出しに使用します。(②⑧)ページ参照)
- ・テープがなくなると自動的に巻き戻します。



- ・テレビがHD入力画面のとき、ビデオの動作状態を画面に表示しません。
- ・一時停止を5分以上続けると、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。

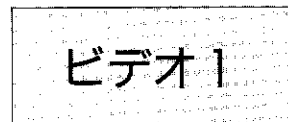


# テープを見る



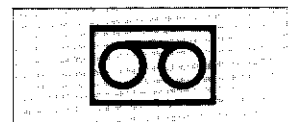
テレビ画面      本体表示窓

**1** テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にする

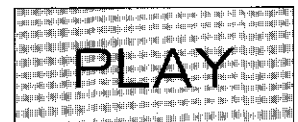
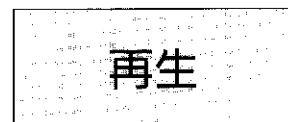


(テレビにより異なります)

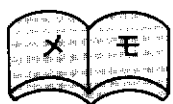
**2** テープを入れる  
・電源が入ります。  
・つめのないテープを入れると自動的に再生を始めます。



**3** 再生ボタンを押す  
・再生が始まります。



■再生をやめるには停止ボタンを押します。

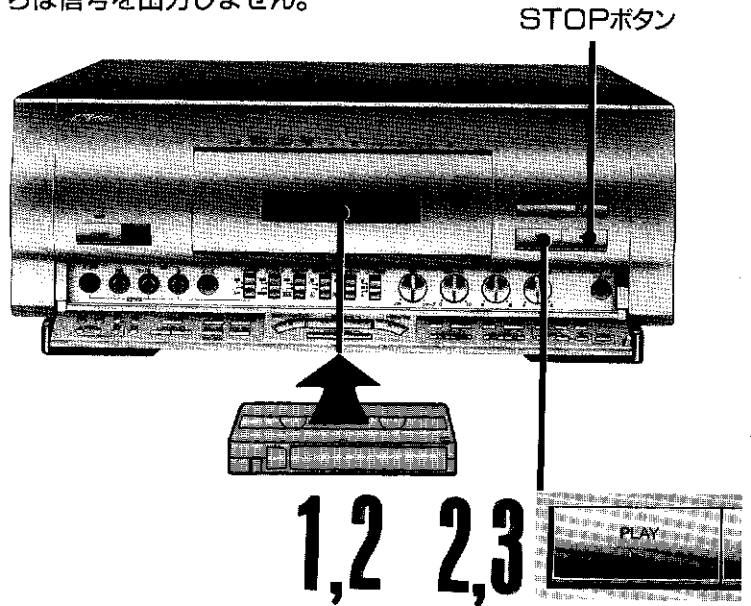
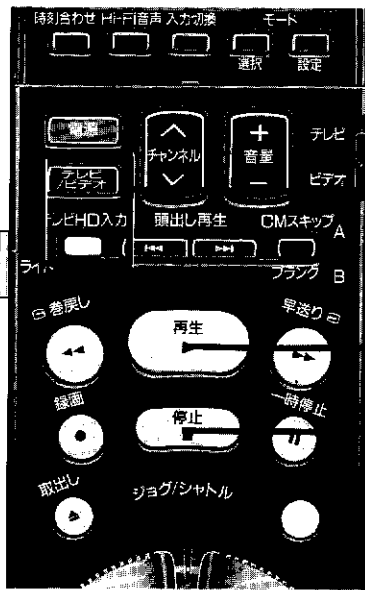


- ・再生を始めるとトラッキングを自動的に調節します。
- ・テープがなくなると自動的に巻き戻します。
- ・動きを止めるには一時停止ボタンを押します。再生ボタンで再生に戻ります。  
一時停止を5分以上続けると、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止状態になります。
- ・カウンターを0:00:00にするときは、リモコンのカウンターリセットボタンを押します。



## HD録画したテープを見る

HD録画したテープを見るには、HD映像入力端子付ハイビジョンテレビが必要です。  
 接続は設置編②⑥～③① ページをご覧ください。  
 HD再生時、本機のS1映像/映像出力端子からは信号を出力しません。



### ビクターハイビジョンテレビHV-32Z3と接続している場合

**1** HD録画したW-VHSテープを入れる  
 ・電源が入ります。

**2** 再生ボタンを押す  
 ・自動的にテレビの電源が入って「ビデオ1」入力になり、再生画が出ます。  
 (AVコンピュリンクII機能)  
 ・テレビの電源/受像ランプが消えているときは動作しません。

■再生をやめるには停止ボタンを押します。

### ビクター以外のハイビジョンテレビと接続している場合

**1** ハイビジョンテレビの入力切換を「HD入力」にする  
 ・リモコンのテレビ/ビデオ切換ボタンまたはテレビHD入力ボタンで切り換えます。

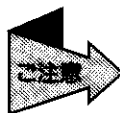
**2** HD録画したW-VHSテープを入れる  
 ・電源が入ります。

**3** 再生ボタンを押す  
 ・再生が始まります。

■再生をやめるには停止ボタンを押します。



- ・再生を始めるとトラッキングを自動的に調節します。
- ・テープがなくなると自動的に巻き戻します。
- ・静止画再生するには一時停止ボタンを押します。再生ボタンで再生に戻ります。

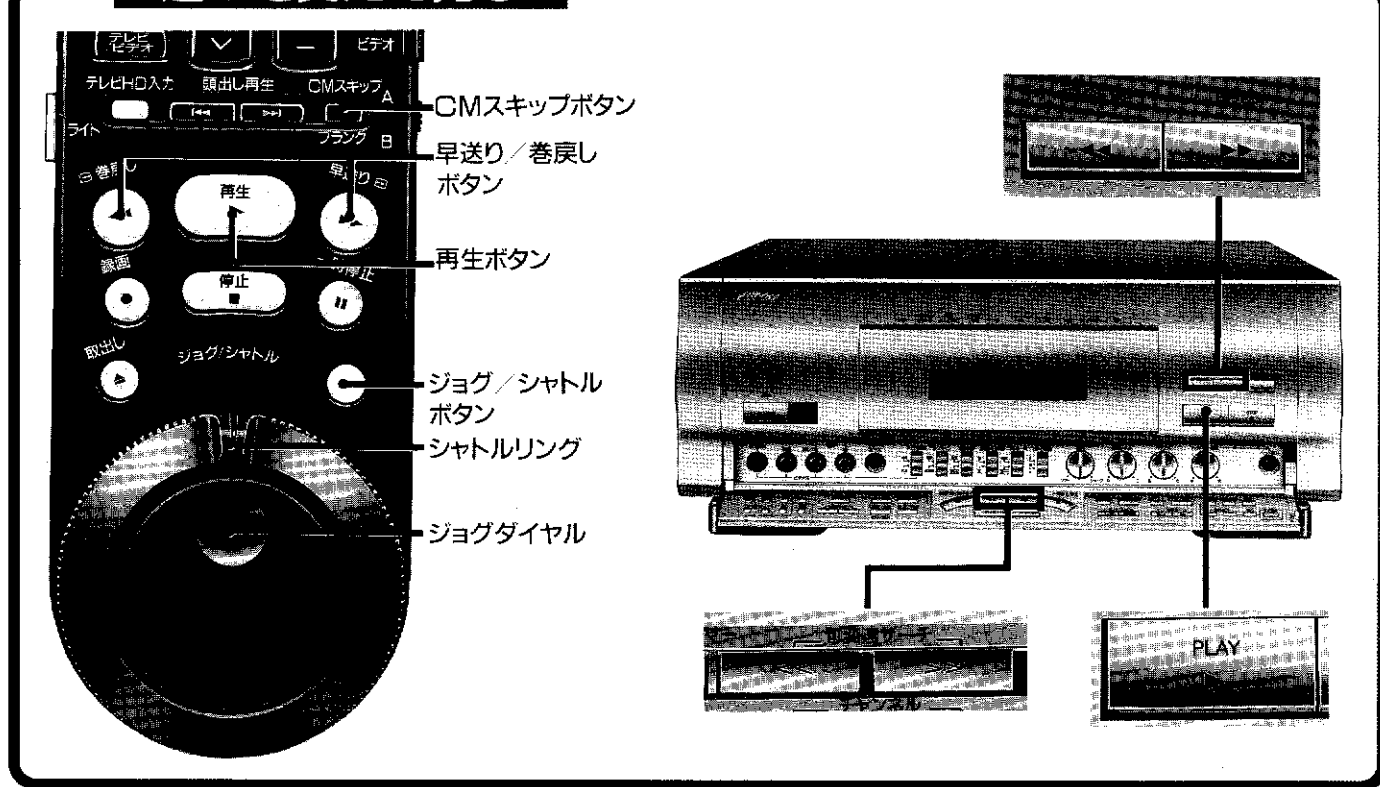


- ・テレビがHD入力画面のとき、ビデオの動作状態を画面に表示しません。
- ・一時停止を5分以上続けると、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。



# テープを見る(つづき)

## 速さを変えて見る



### S-VHS/VHSテープを使って、早送り/巻戻し再生をする

### スキューレスファインサーチ

早送り/巻戻し ボタンの操作方法	テープの録画 スピード	
	標準	3倍
一度ポンと押す(ラッチ*)	11倍速で再生します	31倍速で再生します
押し続ける	7倍速で再生します	7倍速で再生します

- ・再生ボタンで通常再生に戻ります。
- ・指をはなすと通常再生に戻ります。

\*ラッチ...手をはなしても飛ばし見再生を続けます。

### W-VHSテープを使って、早送り/巻戻し再生をする

早送り/巻戻し ボタンの操作方法	テープの録画 方式	
	HD	SD
一度ポンと押す(ラッチ*)	約6倍速で再生します	約7倍速で再生します
押し続ける	約6倍速で再生します	約7倍速で再生します

- ・再生ボタンで通常再生に戻ります。
- ・指をはなすと通常再生に戻ります。

### CMを飛ばす (CMスキップサーチ)

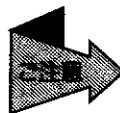
- ・再生中に、CMスキップボタンを1回押すと30秒ぶりを早送り再生します。
- ・押すたびに30秒刻みで最大2分(4回押す)まで飛ばし見できます。
- ・再生ボタンで通常再生に戻ります。



- ・ハイスピードオープンサーチ中に、もう一度早送りまたは巻戻しボタンを押すと、もとの早送りまたは巻戻しに戻ります。
- ・再生のスピードは33倍速(標準)または100倍速(3倍)です。

### 早送り/巻戻し中の画像をのぞき見る (ハイスピードオープンサーチ)

- ・早送り中に、早送りボタンを一度ポンと押すと、のぞき見できます。
- ・巻戻し中に、巻戻しボタンを一度ポンと押すと、のぞき見できます。
- ・W-VHSテープ使用時は操作できません。



- ・ハイスピードオープンサーチ中にテープの巻き終わりや巻き始め付近になると、テープ保護のため、自動的にもとの早送りまたは巻戻しに戻ります。
- ・T-160、T-168、T-180テープなどの中央付近では、ハイスピードオープンサーチができないことがあります。

## リモコンのジョグダイヤルを使ってコマ送り再生する

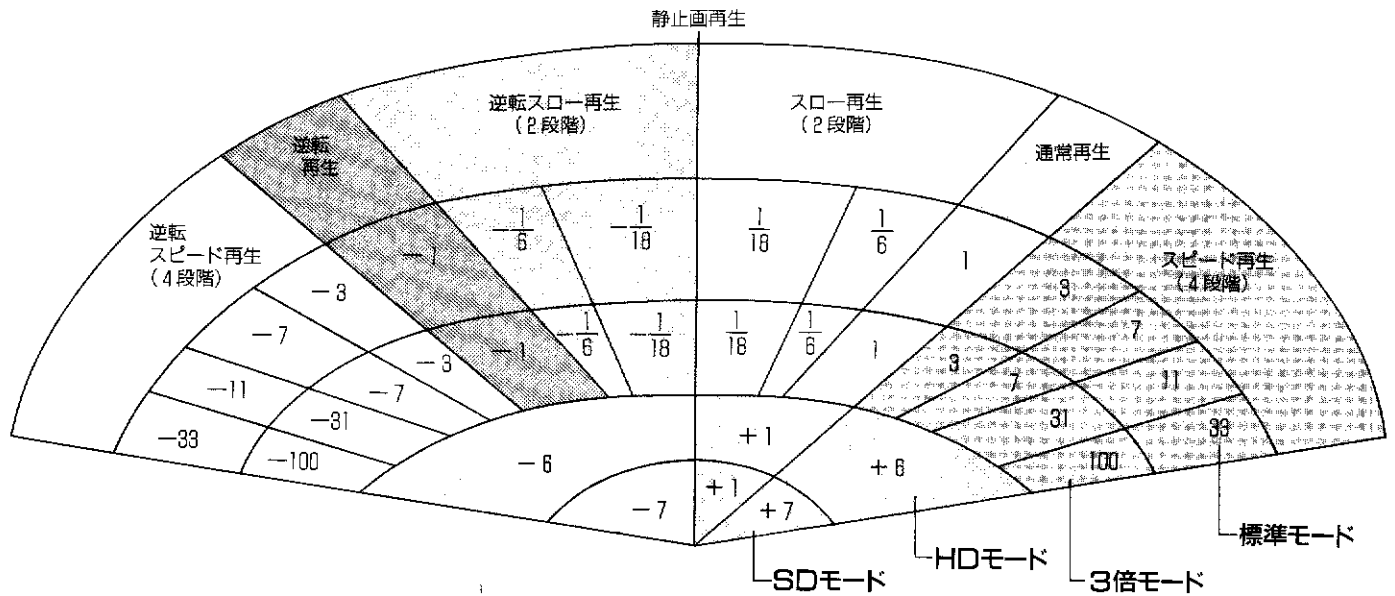
- ① ジョグ/シャトルボタンを押して、ランプを点灯させます。
  - ② 再生または静止画再生中に、ジョグダイヤルを回すとコマ送り再生ができます。
- ・W-VHSテープ使用時は操作できません。



・ジョグダイヤルの動きを止めると、静止画再生になります。

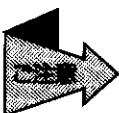
## リモコンのシャトルリングを使って可変速再生する

- ① ジョグ/シャトルボタンを押して、ランプを点灯させます。
- ② 再生または静止画再生中に、シャトルリングを回すと可変速再生ができます。



## 本体の可変速サーチボタンで可変速再生する

- 再生または静止画再生中、可変速サーチボタンを押すたびにサーチスピードを変えることができます。
- ・可変速再生中に逆方向のボタンを押すと静止画再生になります。
  - ・33倍速または100倍速サーチをハイパーストロポサーチといいます。
  - ・W-VHSテープ使用時は操作できません。



- ・スキューレスファインサーチ、ハイパーストロポサーチ、CMスキップサーチ、ハイスピードオープンサーチ、ジョグダイヤル/シャトルリングまたは本体の可変速サーチボタンを使っての可変速再生中は音声が出ません。
- ・静止画再生、スロー再生を5分以上続けると、テープ保護のため自動的に停止状態になります。
- ・3倍で記録したテープで100倍速サーチをすると、色がうすくなることがあります。



# タイマー予約

## Gコードを使ってタイマー予約する

リモコンにGコードを入れ、本体へ転送します。本体では2週間先まで8つの番組が予約できます。

1 Gコード

2 取消しボタン

3 毎週/月一金ボタン

4 1

5 2

番組予約番号Gコードは新聞・雑誌等のテレビ欄に掲載されています。

00	ドラえもん	216
	「音楽メーター」	
	「旅行感ゼリト」	
7	30 はなまるアワードランド	
	初公開、人気オーディション傾向と対策	230

(例)上のテレビ欄の午後7時から7時30分の番組を標準モードで予約する場合

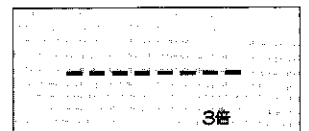
### 準備

- ① 本体の現在時刻を確認します。
- ② つめあり(またはREC側にある)テープを入れます。(P.5参照)
- ③ リモコンの時刻合わせをします。(設置編 P.38参照)
- ④ 本体のガイドチャンネル設定をします。(設置編 P.40参照)
- ⑤ 新聞や雑誌などを用意してください。

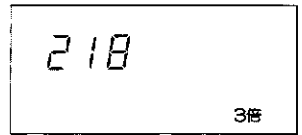
リモコン表示窓

# 1

予約開始  
予約開始ボタンを押す



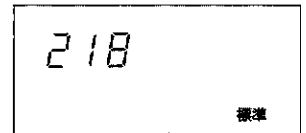
## 2 Gコード(番組予約番号)の入力 数字ボタンを押す



- ・Gコードの入力をまちがえたときは、取消しボタンを押し、再度数字ボタンで入力してください。取消しボタンを押すごとに、右から1つずつ取り消されます。

## 3 録画スピード 標準(HD)/3倍(SD)ボタンを押す

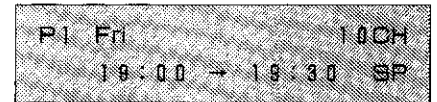
- ・W-VHSテープ使用時は、本体側で自動的に録画スピードが設定されます。



## 4 転送ボタンで本体へ転送する

- ・本体が正しく受け取ると「ピー」と音が鳴り、予約内容を約10秒間表示します。

本体表示窓



- ・リモコンには1番組しか入力できません。
- ・2つ以上予約するときは2~4の操作をくり返します。

## 設定が終わったら

## 5 タイマーボタンでタイマースタンバイにする

- ・本体のTIMERランプが点灯し、電源が切れます。
- ・本体のTIMERランプが点滅するときは、[53](#)ページをご覧ください。

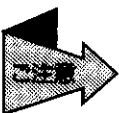
## これで準備OKです

本体へ転送した予約内容を確認するには  
[24](#)ページをご覧ください

野球などで番組の延長が予想される場合は  
[25](#)ページをご覧ください。

本体へ転送した予約内容を取り消すには  
[26](#)ページをご覧ください。

毎週または月～金曜日の同じ時間の番組を予約するには  
2の操作後、  
毎週/月一金ボタンを1回押す⇒毎週予約  
毎週/月一金ボタンを2回押す⇒毎週月～金曜日の予約  
毎週/月一金ボタンを3回押す⇒もとに戻ります



- ・リモコン表示窓に「Error」を表示したら
  - ①番組の開始時刻が過ぎている
  - ②現在から2週間より先の予約をしたとき
  - ③Gコードの入力が正しくないときこのような場合は、数字ボタンで再度Gコードを入力してください。

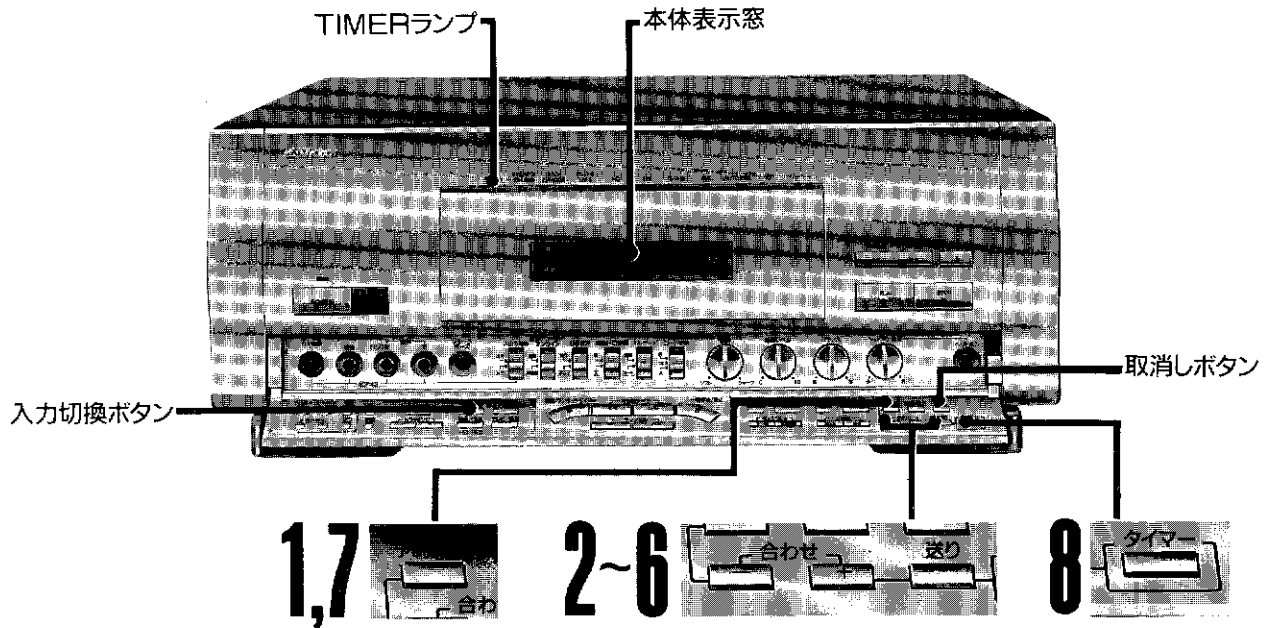
- ・Gコードによる予約の場合、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
- ・BSのハイビジョン番組を外部のHD入力で録画する場合は、設置編 [43](#)ページのガイドチャンネル設定をしてください。



# タイマー予約(本体)

## 本体でタイマー予約する

2週間先まで8つの番組が予約できます。



(例)木曜日 午後7時から9時まで、BS5チャンネルを標準モードで予約します。

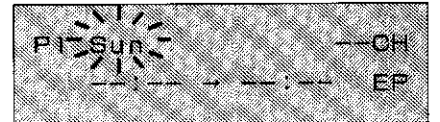
### 準備

- ① 本体表示窓の現在時刻を確認します。
- ② つめあり(またはREC側にある)テープを入れます。(5) ページ参照)

### 本体表示窓

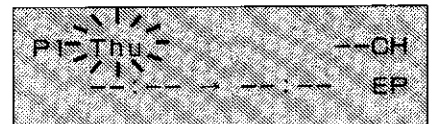
## 1

予約開始  
予約開始ボタンを押す



## 2

曜日  
① 合わせ-/+ボタンを押す  
・毎日または毎週予約をする場合、-ボタンを押し続けると早く呼び出せます。(右下ページ参照)  
② 送りボタンを押す



## 3

開始時刻  
① 合わせ-/+ボタンを押す  
・押し続けると、30分刻みで変わります。  
・1回ずつ押しと、1分刻みで変わります。



午後の番組を予約するとき (12時~24時) -ボタンを押します

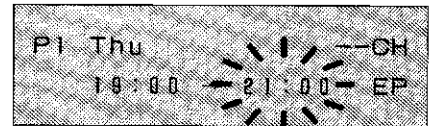


深夜または午前中の番組を予約するとき(0時~12時) +ボタンを押します

② 送りボタンを押す

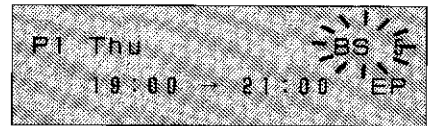
## 4 終了時刻

- ①合わせ-/+ボタンを押す
  - ・押し続けると、30分刻みで変わります。
  - ・1回づつ押すと、1分刻みで変わります。
- ②送りボタンを押す



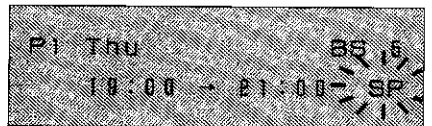
## 5 チャンネル

- ①合わせ-/+ボタンを押す
  - ・BS番組を予約するときは、-ボタンを押します。
  - ・外部入力を予約するときは、入力切替ボタンでL1(またはL2、L3、HD)にします。
- ②送りボタンを押す



## 6 録画スピード

- 合わせ-/+ボタンを押す
  - ・W-VHSテープ使用時は、自動的に録画スピードが設定されます。



## 7 予約開始ボタンで表示を戻す

- ・さらに予約したいときは、1~7の操作をくり返します。

## 8 タイマーボタンでタイマースタンバイにする

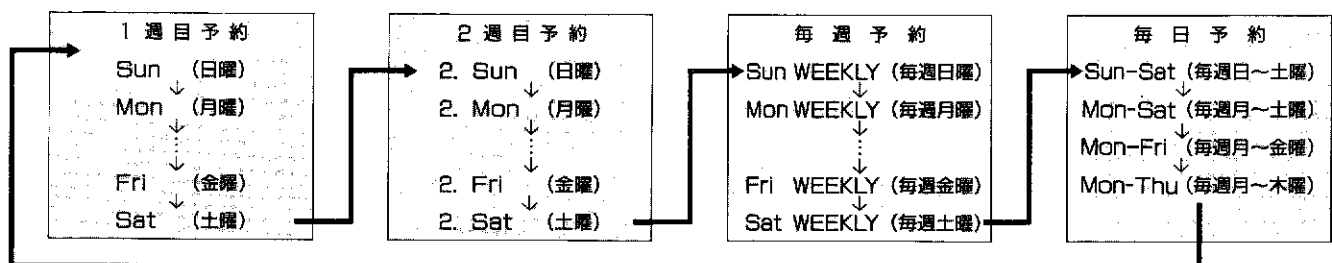
- ・TIMERランプが点灯し、電源が切れます。
- ・TIMERランプが点滅するときは、[53]ページをご覧ください。

これで準備OKです

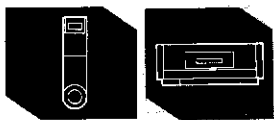
設定中に予約内容を取消したいときは  
取消しボタンを押します。

予約の確認/修正/取消しをするには  
[24]~[26]ページをご覧ください。

毎週/毎日予約をするには  
2の操作で、合わせ+ボタンを押すごとに

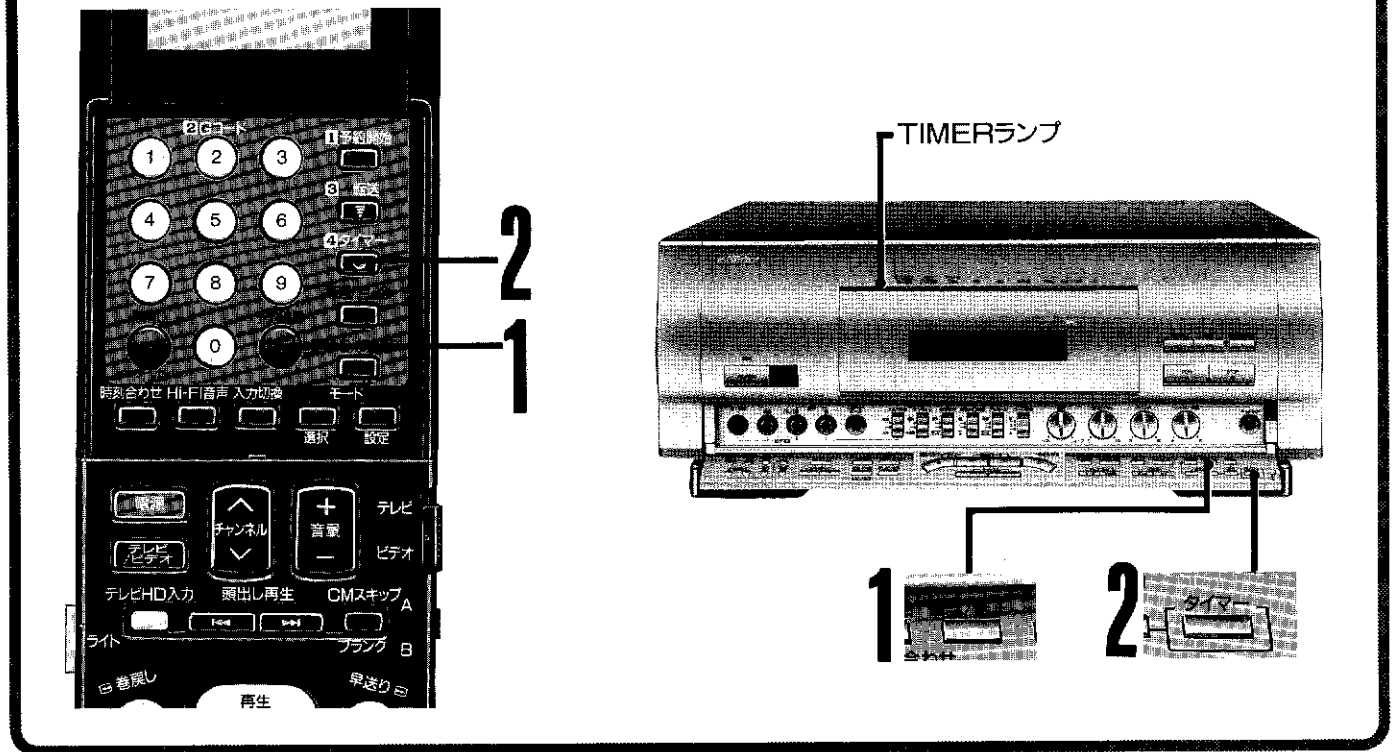


・合わせ-ボタンを押すと逆に戻ります。



# タイマー予約(つづき)

## 予約の確認をする



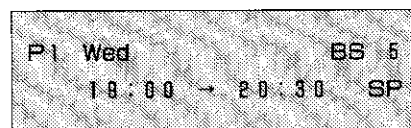
・本体のTIMERランプが点灯しているときは、タイマーボタンでTIMERランプを消し、電源を入れます。

### 1 予約確認ボタンで予約内容を確認する

- ・本体では、確認/修正ボタンを押します。
- ・本体表示窓の2番目以降を確認するときは、確認/修正ボタンを押して予約番号を選びます。

*予約確認リスト*			
1	水曜	19:00~20:30	BS 5 標準
2	水曜	23:00~23:30	12 3倍
3	木曜	12:00~13:00	8 3倍
4	日曜	---	3倍
5	日曜	---	3倍
6	日曜	---	3倍
7	日曜	---	3倍
8	日曜	---	3倍

本体表示窓



### 2 タイマーボタンでタイマースタンバイにする

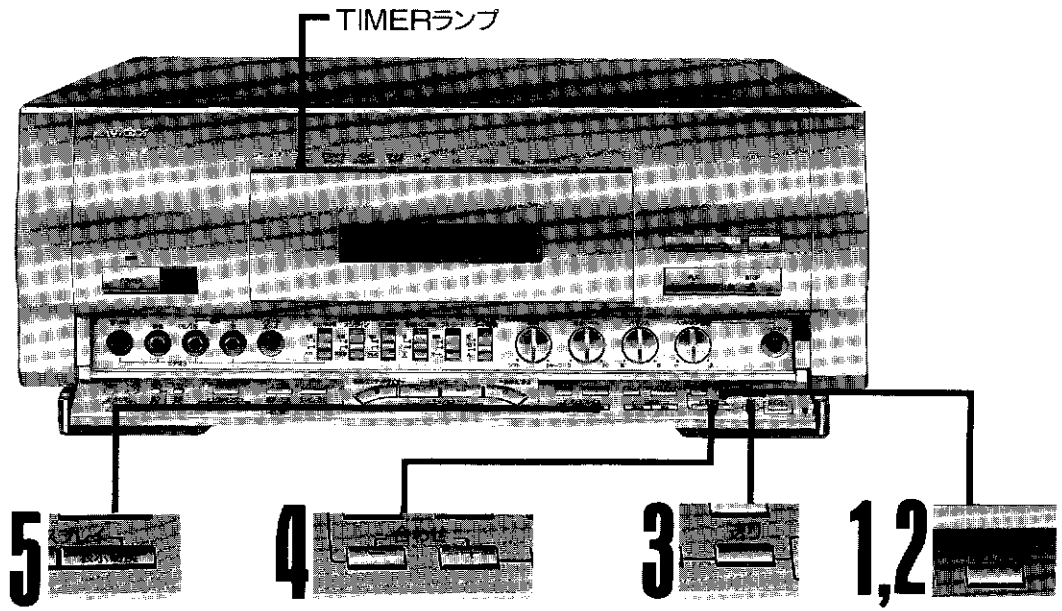
- ・本体のTIMERランプが点灯し、電源が切れます。





## 予約内容の修正をする

Gコード予約時、野球などで番組の延長が予想され、予約の終了時刻を延長したいときや、本体の予約設定で入力をまちがえたときに修正します。



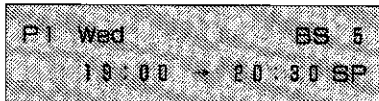
・本体のTIMERランプ点灯中(ビデオ電源「切」)でも予約の修正ができます。

1

### 確認/修正ボタンを押す

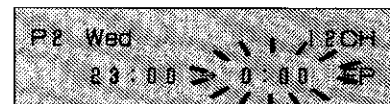
・予約番号1の内容を表示します。

本体表示窓



4

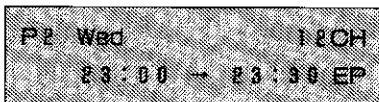
### 合わせー/+ボタンで修正する



2

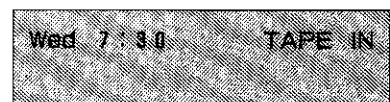
### 確認/修正ボタンで 修正したい予約番号を表示させる

・押すごとに次の予約を表示します。



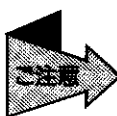
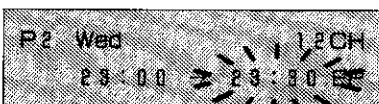
5

### 表示切換ボタンで時計表示に戻す

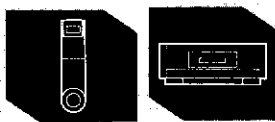


3

### 送りボタンで修正したい部分を点滅させる

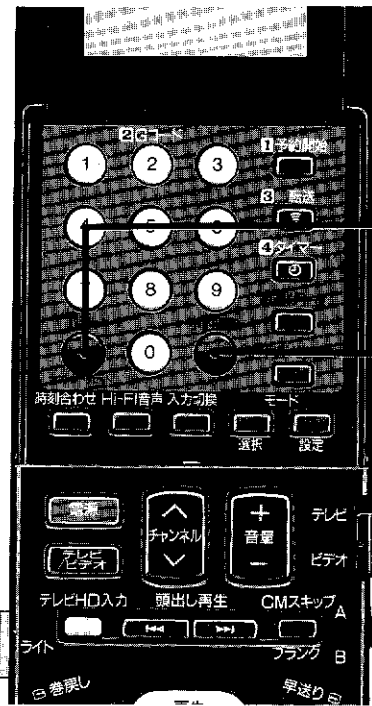


- ・リモコンでは修正できません。
- ・タイマー録画中は修正できません。

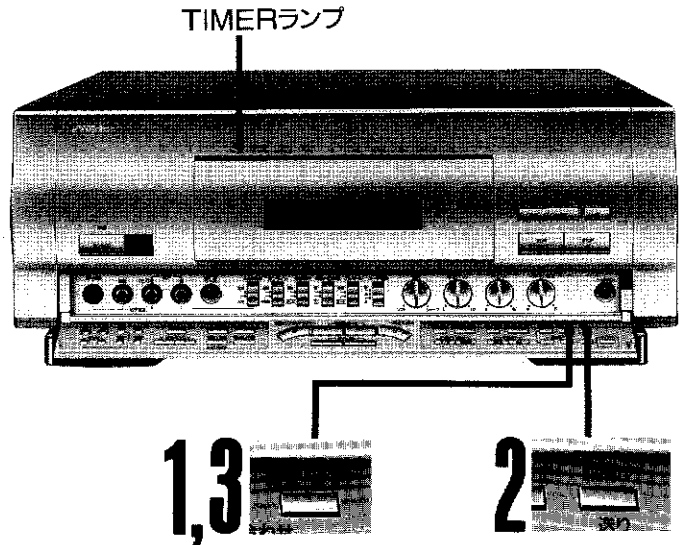


# タイマー予約(つづき)

## 予約を取消す



2  
1,3



・本体のTIMERランプが点灯しているときは、タイマーボタンでTIMERランプを消し、電源を入れます。

テレビ画面

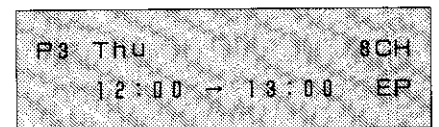
本体表示窓

### 1 予約確認ボタンで予約内容を表示する

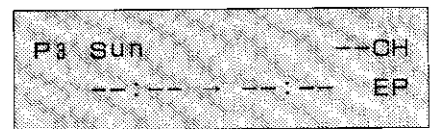
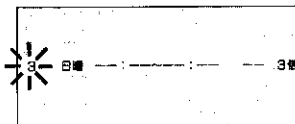
- ・予約確認ボタンで取消したい予約番号を点滅させます。
- ・本体では確認/修正ボタンを押します。

\*予約確認リスト\*

1	水曜	19:00~20:30	BS	5	番組
	水曜	23:00~23:30	12	3	倍
	木曜	12:00~13:00	8	3	倍
5	日曜	-----	---	3	倍
6	日曜	-----	---	3	倍
7	日曜	-----	---	3	倍
8	日曜	-----	---	3	倍



### 2 取消しボタンで予約を取消す



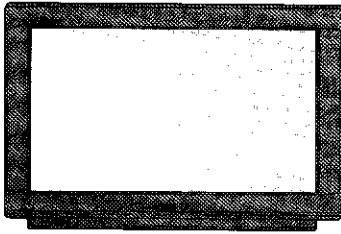
### 3 テレビ画面に戻すには、予約確認リスト画面が消えるまで予約確認ボタンを押す

- ・本体では確認/修正ボタンを押します。
- ・タイマースタンバイにするときは、タイマーボタンで本体のTIMERランプを点灯させてください。

## BSのハイビジョン番組をタイマー録画する場合のご注意

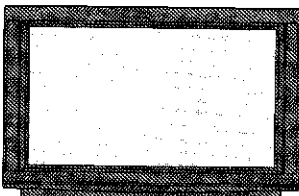
BSのハイビジョン番組をタイマー録画するためには、下のいずれか1つの機器が必要になります。

### (a)ハイビジョンテレビ



■MUSEデコーダー/MUSE-NTSCコンバーター内蔵

### (b)ワイドテレビ



■MUSE-NTSCコンバーター内蔵

### (c)MUSEデコーダー



■MUSE-NTSCコンバーター内蔵

### (d)MUSE-NTSCコンバーター



### ビクターのハイビジョンテレビHV-32Z3と接続している場合

#### 1 本機でタイマー予約します。

- ・録画チャンネル：BSのハイビジョン番組
- ・AVコンピュリンクII機能により、テレビ側のタイマー予約は必要ありません。
- ・テレビの主電源は切らないでください。

#### テレビにタイマー予約機能がある場合

#### 1 テレビ側でタイマー予約します。

- ・本機のタイマー予約時間よりも、前後3分ぐらい多めに時間を設定してください。
- ・テレビの取扱説明書をご覧ください。

#### 2 本機でタイマー予約します。

- ・録画チャンネルは、  
(a)の場合：HD入力/L2入力の選択が可能  
(b)の場合：L2入力

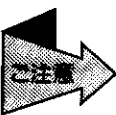
#### テレビにタイマー予約機能がない場合

#### 1 テレビでBSのハイビジョン番組を受信します。

- ・テレビ画面が消えた状態で、テレビに内蔵されているBSチューナーだけを働かせる機能などを使用してください。
- 詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

#### 2 本機でタイマー予約します。

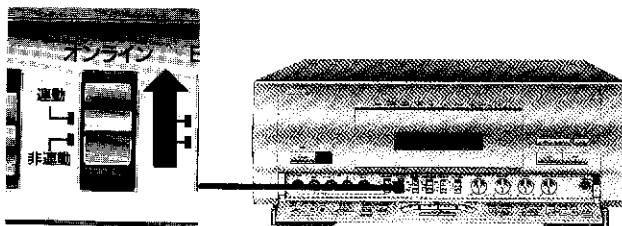
- ・録画チャンネルは、  
(a)の場合：HD入力/L2入力の選択が可能  
(b)の場合：L2入力



- ・W-VHSテープを使って、録画スピードを「標準(HD)」で予約しても、本機背面のHD映像入力端子に信号が入力されないと、自動的に「3倍(SD)」で録画します。

- ・タイマー録画の開始/終了時間に合わせて、MUSEデコーダーまたはMUSE-NTSCコンバーターの電源を連動させます。
- ・接続は設置編 ④4 ページをご覧ください。

#### 1 BSデコーダーオンラインスイッチを連動にします。



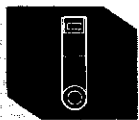
#### 2 本機の電源を入れたあとに、MUSEデコーダーまたはMUSE-NTSCコンバーターの電源を入れます。

- ・本機の電源を入/切すると、MUSEデコーダーまたはMUSE-NTSCコンバーターの電源も連動して入/切することを確認します。

#### 3 本機でタイマー予約します。

- ・録画チャンネルは、(c)(d)ともBSのハイビジョン番組にします。
- ・タイマー録画の開始/終了時間に合わせて、MUSEデコーダーまたはMUSE-NTSCコンバーターの電源が自動的に入/切します。

- ・MUSE-NTSCコンバーター使用時、BSのハイビジョン番組は自動的にSD録画します。HD録画するためには、MUSEデコーダーが必要です。

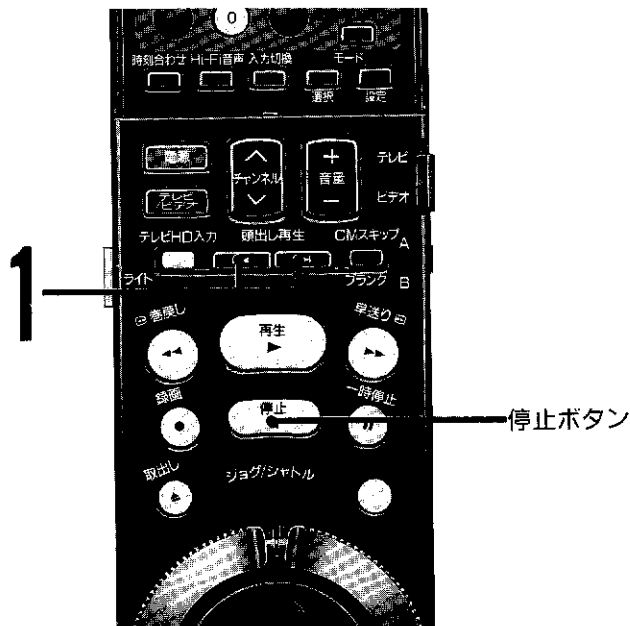


# 番組の頭出し

## 番組の頭出しをして再生する

## 頭出し再生

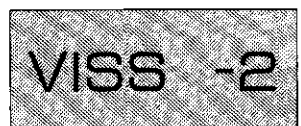
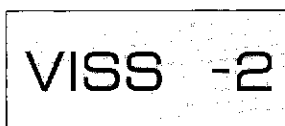
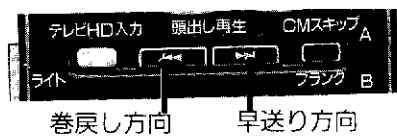
録画やタイマー録画の開始点に自動的にマークをつけ、それを目印に番組の頭出しをします。



テレビ画面

本体表示窓

### 1 停止または再生中に 頭出し再生ボタンで番地を選ぶ

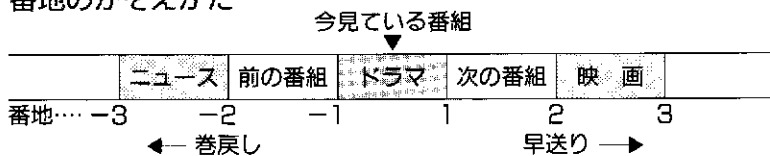


・2つ前の番地を選ぶ

- ・頭出し再生ボタンを押すと、希望の番地をさがし自動的に再生します。
- ・押すごとに数字が増え、逆方向のボタンを押すと、数字が減ります。
- ・最高±9番地まで指定できます。

■途中でやめるときは、停止ボタンを押します。

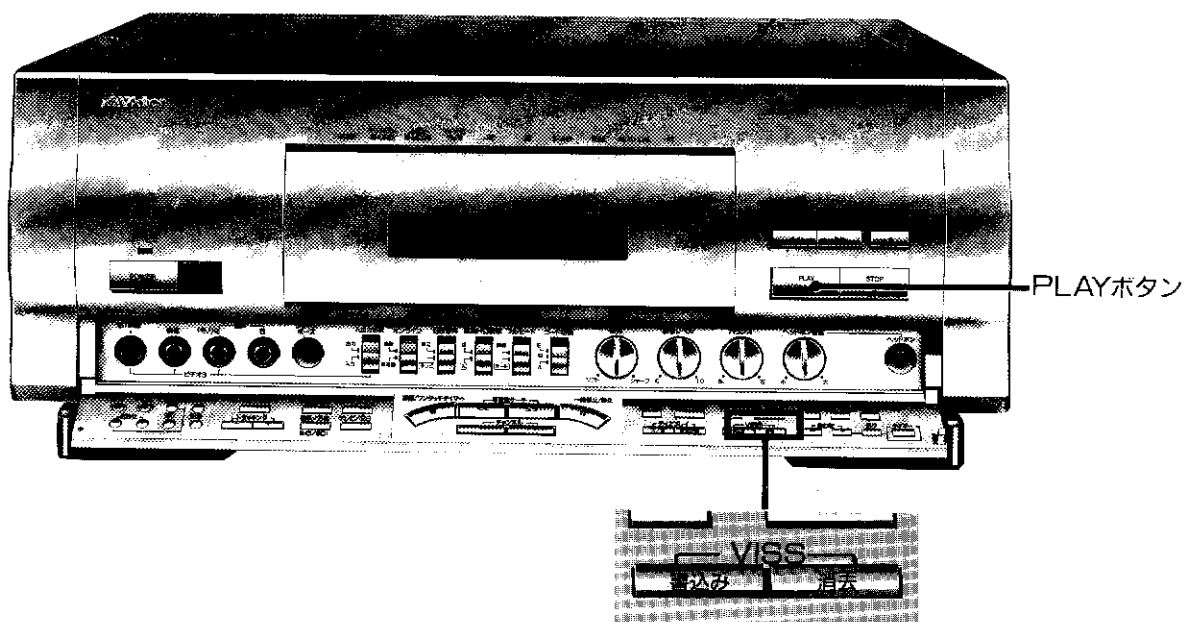
番地のかぞえかた



- (例)・前の番組の頭出しをする場合  
頭出し再生 ◀◀ ボタンを2回押します。
- ・次の番組の頭出しをする場合  
頭出し再生 ▶▶ ボタンを1回押します。





## 頭出し信号の書き込み/消去



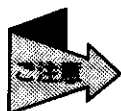
### 頭出し信号の書き込み

録画およびタイマー録画の開始部分には自動的にインデックス(頭出し信号)が書き込まれます。

録画中または再生中に書き込むには	録画一時停止または静止画再生させてから書き込むには	<p>こんなときは書き込み/消去ができません</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● つめなし(録画不可状態)のテープ</li> <li>● 何も記録されていないところ(未録画部分)</li> </ul>
<p>書き込みボタンを押す</p> 	<p>書き込みボタンを押してからPLAYボタンを押す</p> 	

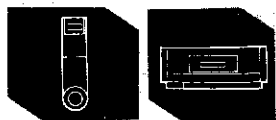
### 頭出し信号の消去

<p><b>1</b> 取り消したいインデックスの数秒前からテープを再生または静止画再生にする</p>	<p><b>2</b> 消去ボタンを押す 自動的にテープを送り、書き込まれているインデックスを消去します。</p>	<p><b>3</b> 本体表示窓のVISS ERASE表示が消えると取り消し終了 テープはそのまま再生を続けます。</p>
---	---	--



- ・記録済みテープにインデックスを書き込むときは、再生状態で行ってください。録画状態では前の画像、音声が消されます。
- ・となりのインデックスとは多少離して書き込んでください。近すぎると誤動作することがあります。

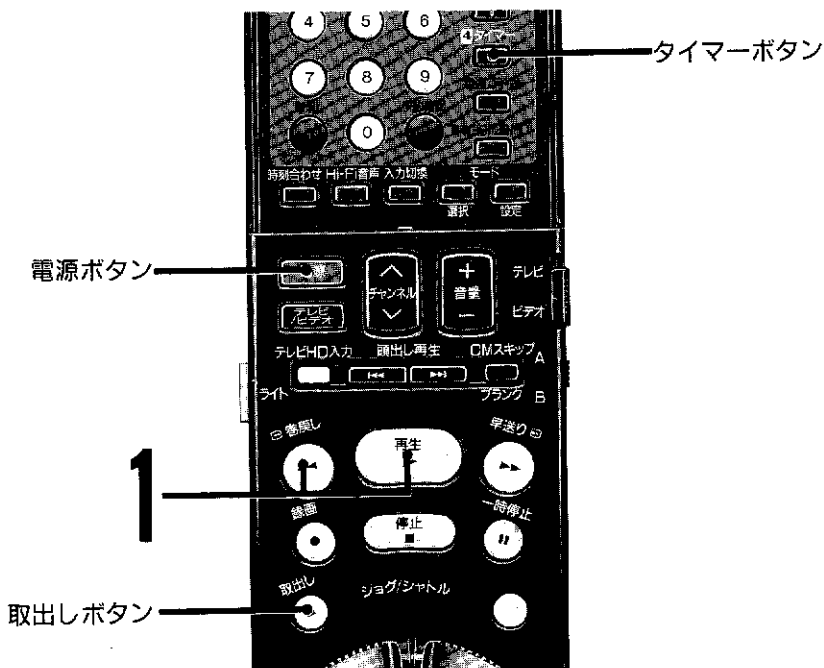
- ・本体表示窓にVISS MARKまたはVISS ERASE表示がでているとき、他のボタン操作はしないでください。
- ・インデックスのそばで「標準」から「3倍」に切り換えられていると、インデックスの書き込みや消去したあとで画面が乱れることがあります。



# 番組の頭出し(つづき)

## テープの始めから自動的に再生する ネクストファンクションメモリー

タイマー録画終了後、テープの始めから見たいときなどに便利です。



テレビ画面

本体表示窓

### 1 巻戻しボタンを押したあとすぐに、再生ボタンを押す

・テープの始めから自動的に再生します。



テープの始めで自動的にカセットを出すには  
巻戻しボタンを押したあとに  
取出しボタンを押します。  
(本体表示窓のEJECT表示点滅)

テープの始めで自動的にタイマースタンバイにするには  
巻戻しボタンを押したあとに  
タイマーボタンを押します。  
(POWERランプ点滅、TIMERランプ点灯)

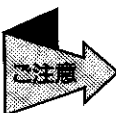
テープの始めで自動的に電源を切るには  
巻戻しボタンを押したあとに  
電源ボタンを押します。  
(POWERランプ点滅)

**NF(ネクストファンクション)スーパーリワインドについて**  
T-120などのテープを使用し、巻き終わり付近からネクストファンクションメモリー機能を使用すると自動的に超高速で巻戻します。  
NFスーパーリワインドは、テープがドラムに接触しない状態で巻戻すため、通常の巻戻しと比較して短時間でテープの巻戻しができます。  
テープの巻き位置によっては、通常の巻戻しになります。

・NFスーパーリワインド中は、テレビ画面および本体表示窓に棒グラフを表示し、巻戻しの進行状況をお知らせします。(カウンター表示のときに表示します。)



・NFスーパーリワインドが終了すると、カウンターは0:00:00になります。途中で止めても、カウンターは0:00:00になります。



・T-60以下のテープやVHS-Cテープでは、NFスーパーリワインドは行わず、通常の巻戻しとなります。

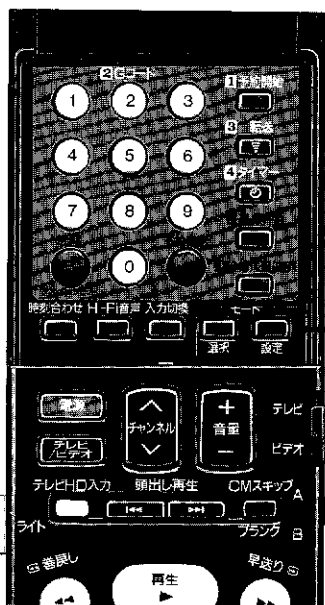


# 再生画面の調節

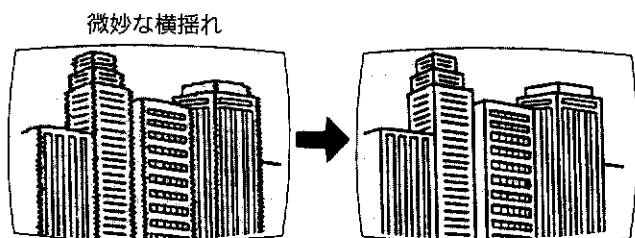
## 画面のゆがみや歪みを補正し安定した画面で再生する 629デジタルTBC

本機は、テープの伸びや変形によって再生画像に発生する微妙な横揺れや画面の曲がりを補正し安定した画面で再生するデジタルタイムベースコレクターを採用しています。

TBC: Time Base Correctorの略です。



・このようなときに効果を発揮します。



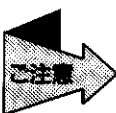
- ビデオムービーで記録したテープ
- 何度も繰り返し使用したテープ
- ダビング時、再生側で使用するとき

### テレビ画面

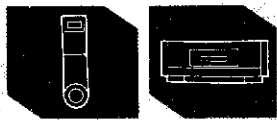
## 1 モード選択画面のTBCを入にする

- ・操作方法は設置編 ② ページをご覧ください。
- ・ご購入時は「入」の位置になっています。
- ・W-VHSテープ再生時、TBCの入/切に関係なく、W-VHS専用のTBCが常時働きます。

*モード選択*		
S/D Y/C SEP	標準設定	
ビデオ ステータス設定		
<input checked="" type="checkbox"/> TBC	<input type="checkbox"/> 入	切
ロジカルHIFI NR	<input type="checkbox"/> 入	切
S-VHS記録	<input type="checkbox"/> オート	切
ニク風語音録音	<input type="checkbox"/> 主	主*
オンスクリーン	<input type="checkbox"/> オート	切
ブルーバック	<input type="checkbox"/> 入	切



- ・TBCが「切」の位置でも、テープを取り出すと「入」に戻ります。
- ・電波の弱い地域でテレビ番組を録画したテープなど、ノイズが多いテープの場合は、TBCを「切」にすると見やすい場合があります。
- ・TBC「入」で特殊な信号(パソコン、一部のキャラクタージェネレーターなど)を録画したテープを再生すると、画面が乱れることがあります。このようなときは「切」にしてください。

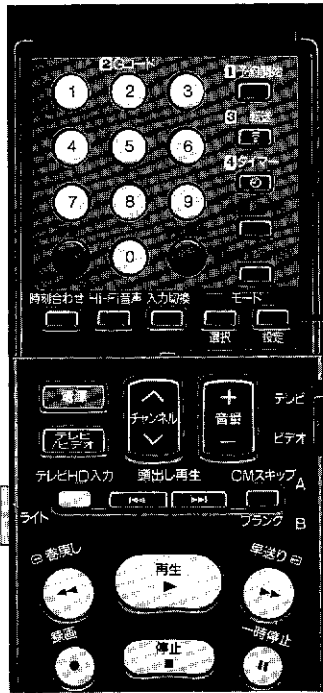


# 再生画面の調節(つづき)

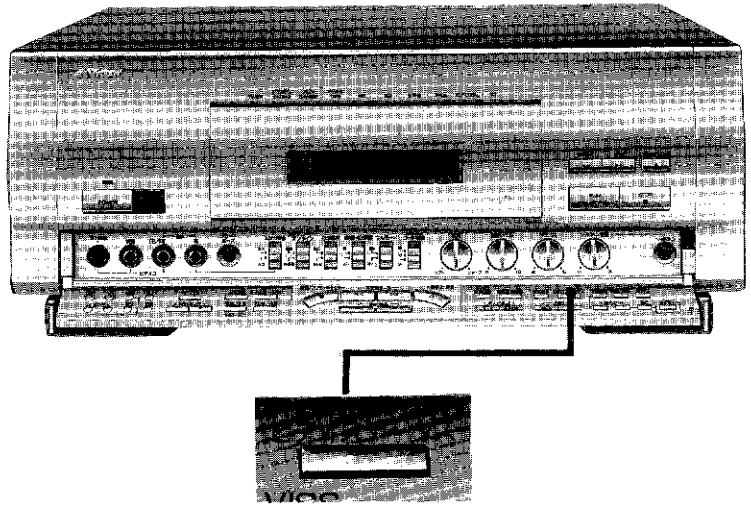
## 各種デジタル信号処理の設定をする

## ビデオステータス設定

W-VHSテープ使用時は操作できません。



1~6



### 準備

- ①テレビの電源を入れます。
- ②テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。
- ③テープを再生します。
- ④本体のビデオステータスボタンで設定1または設定2を選ぶ(右下ページ参照)

### テレビ画面

## 1 モード選択ボタンを押す

・モード選択画面を表示します。

TBCが入になっているか確認してください。  
切のときは、設置編(2)ページをご覧ください。入にします。

*モード選択*		標準設定
<input checked="" type="checkbox"/> 3D Y/C SEP		
ビデオ ステータス設定		
TBC	<input type="checkbox"/> 入	切
ロジカルHIFI NR	<input type="checkbox"/> 入	切
S-VHS記録	<input type="checkbox"/> オート	切
ニヶ国語音声録音	<input type="checkbox"/> 主	主*副
オンスクリーン	<input type="checkbox"/> オート	切
ブルーバック	<input type="checkbox"/> 入	切

## 2 モード選択ボタンでビデオ ステータス設定を選ぶ

・モード選択ボタンを押すことに下の項目へ進みます。

*モード選択*		標準設定
<input checked="" type="checkbox"/> 3D Y/C SEP		
ビデオ ステータス設定		
TBC	<input type="checkbox"/> 入	切
ロジカルHIFI NR	<input type="checkbox"/> 入	切
S-VHS記録	<input type="checkbox"/> オート	切
ニヶ国語音声録音	<input type="checkbox"/> 主	主*副
オンスクリーン	<input type="checkbox"/> オート	切
ブルーバック	<input type="checkbox"/> 入	切

## 3 モード設定ボタンを押す

・ビデオ ステータス設定画面を表示します。  
・テレビ画面には、再生画またはテレビ番組が同時に映ります。

*ビデオ ステータス設定*	
*設定1*	
<input checked="" type="checkbox"/> Y-DSP	1
C-DSP	1
CNR	オート
*設定2*	
Y-DSP	1
C-DSP	1
CNR	オート



# 4 モード選択ボタンで設定する項目を選ぶ

\*ビデオ ステータス設定\*

\*設定1  
 Y-DSP 1  
 C-DSP 1  
 CNR オート

\*設定2  
 Y-DSP 1  
 C-DSP 1  
 CNR オート

# 5 モード設定ボタンでお好みの画質を選ぶ

項目	段階	内容
Y-DSP	2, 3, 4	明暗の表現に関する設定です。 数字が小→動きを重視した設定 数字が大→ノイズ低減を重視した設定
C-DSP	2, 3, 4	色の表現に関する設定です。 数字が小→動きを重視した設定 数字が大→色のクリアさを重視した設定
CNR	オート、切	色信号のノイズ低減回路の設定です オート→再生時、CNRを自動的に動作させ、色のざらつきを少なくします。また、垂直方向の色の境界線が若干やわらかくなります。 切 →CNRをすべての再生モードで動作させません。

\*ビデオ ステータス設定\*

\*設定1  
 Y-DSP 1  
 C-DSP 2  
 CNR オート

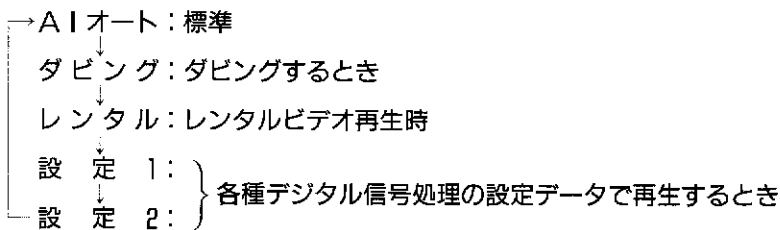
\*設定2  
 Y-DSP 1  
 C-DSP 1  
 CNR オート

# 6 ビデオ ステータス設定画面が消えるまで、モード選択ボタンを押す

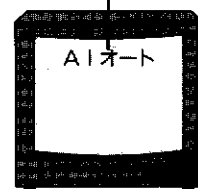
## テープに合わせた画質選択

本体のビデオステータスボタンで画質を選びます。

- ・ボタンを押すごとに、現在の状態をテレビ画面に約5秒間表示します。
- ・W-VHSテープ使用時は操作できません。



ビデオステータス表示



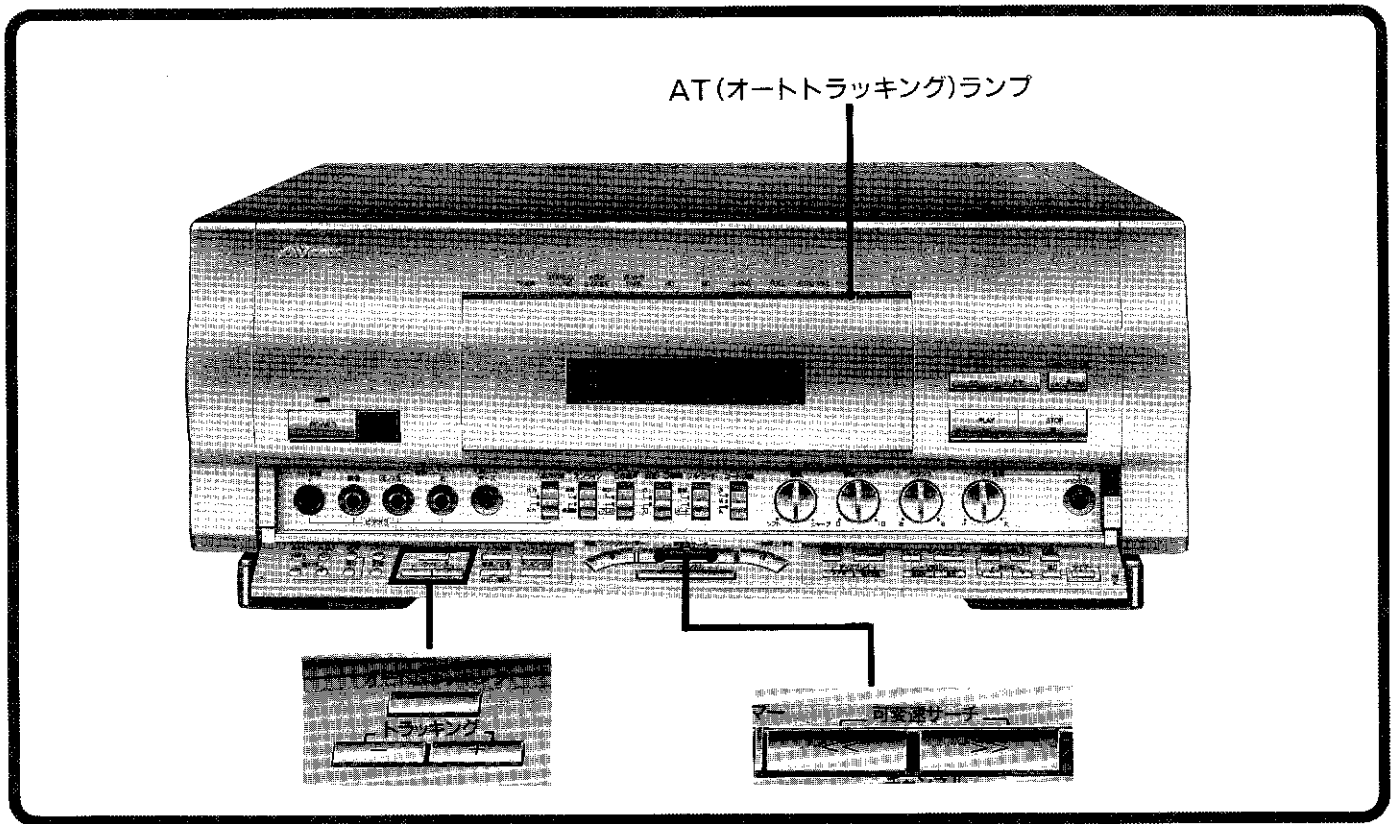
・設定1または設定2を選ぶときは、あらかじめビデオステータス設定画面でお好みの画質に設定しておいてください。



・テレビ画面にビデオステータス表示がでないときは、モード選択画面のオンスクリーンをオートにしてください。(設置編 ⑫ ページ参照)



## 再生画面の調節(つづき)



### ノイズで見づらいとき

### トラッキング調節

本機は、オートトラッキング機能付きです。  
他のビデオで録画したテープを再生すると出るノイズを自動的に消します。

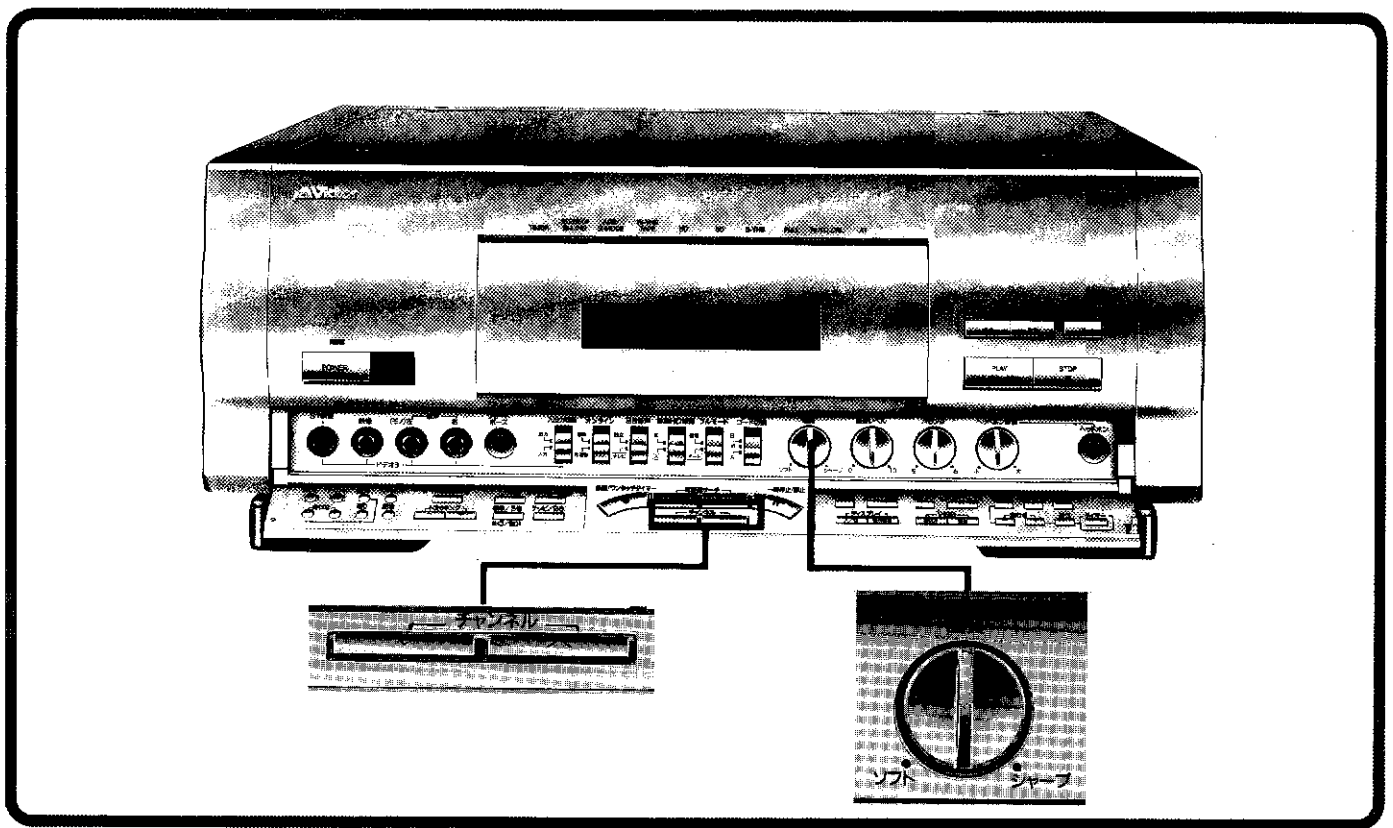
- ・調節中はATランプが点滅します。
- ・調節されないとき・・・
- ①オートトラッキングボタンを押し、ATランプを消します。
- ②トラッキング-/+ボタンで調節します。



・S-VHS/VHSテープ使用時、静止画再生またはスロー再生中にノイズが出るときは、本体の可変速サーチボタンでスロー再生にし、トラッキング-/+ボタンで調節します。  
W-VHSテープ使用時は操作できません。

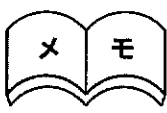


・録画状態の悪いテープや他のビデオで録画したテープの場合、十分に調整できないことがあります。



## テープによって気になる横方向の色ズレを調整する YCタイミングアジャスト

- ①モード選択画面のTBCを入にします。(設置編⑫ページ参照)
- ②再生中に、本体のチャンネルボタンで横方向の色ズレを調整します。±3段階ずつ調整できます。
  - 色が左側にズレているとき……チャンネル(∧)ボタンで調整します。
  - 色が右側にズレているとき……チャンネル(∨)ボタンで調整します。
  - ・調整前の状態に戻したいときは、チャンネル(∨)と(∧)ボタンを同時に押します。
  - ・W-VHSテープ使用時は操作できません。



・テープを取り出すと、調整したデータは解除されます。

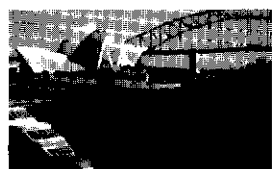


・リモコンのチャンネルボタンでは働きません。

## お好みの画質に合わせる 画質調節

画質調節つまみでお好みの画質に合わせてください。  
 ソフト……ノイズが目立たないやわらかな画像  
 シャープ……鮮明な画像

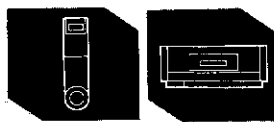
- ・通常は中央の位置にしてください。
- ・W-VHSテープ使用時は操作できません。



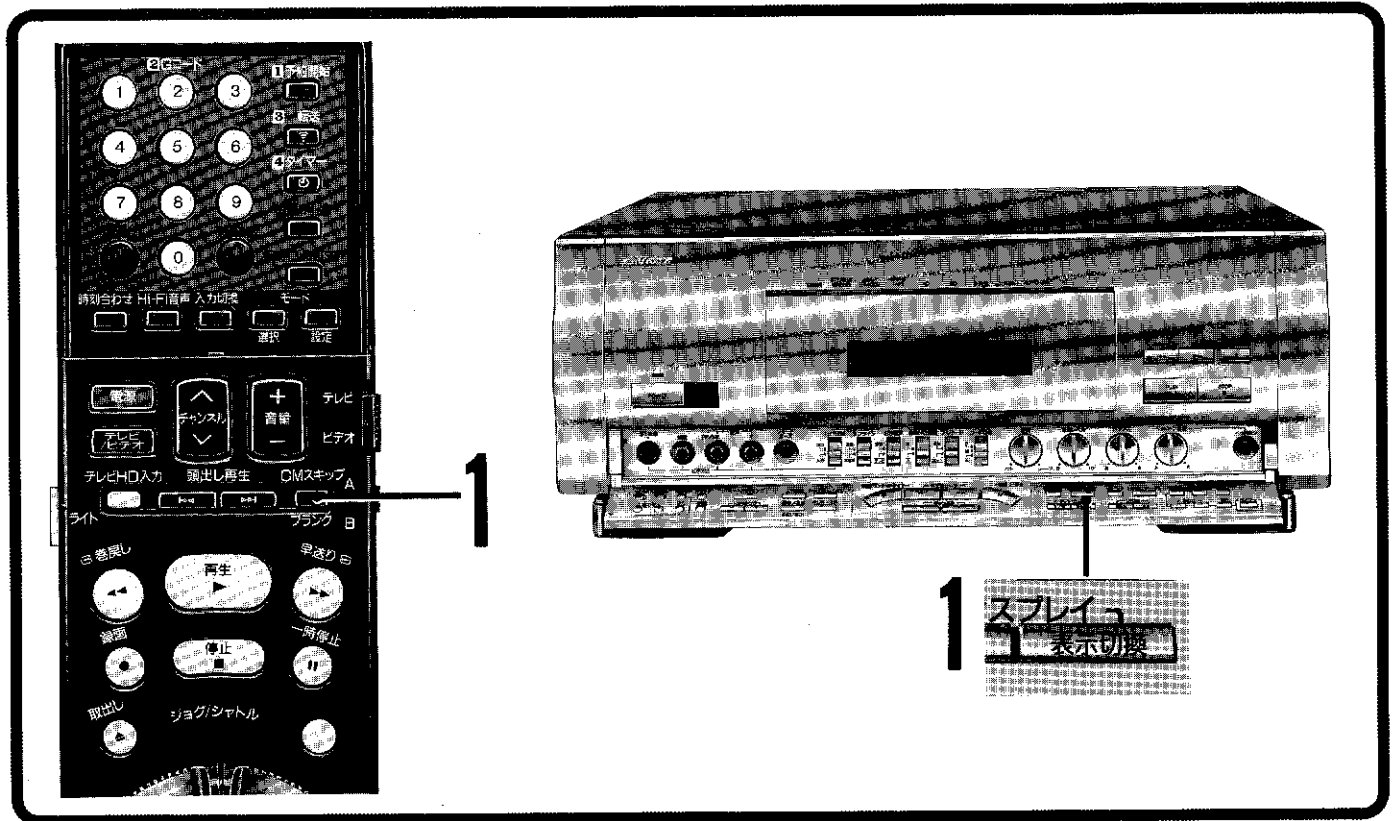
(ソフト側)



(シャープ側)



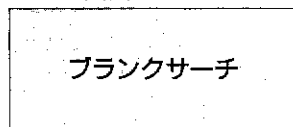
# テープ残量の確認



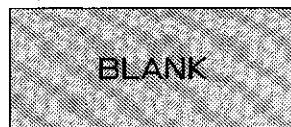
## 録画していない部分をさがす ブランクサーチ

- 1** 停止状態でブランクボタンを押す
- ・未録画部分をさがし、停止します。
  - ・テープ残量を表示します。
  - ・表示を戻すときは、本体の表示切換ボタンを押します。

テレビ画面



本体表示窓

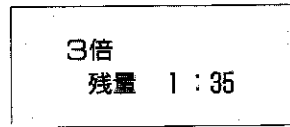


■途中でやめるには、停止ボタンを押します。

## テープの残り時間を調べる テープ残量

- 1** 表示切換ボタンを押す
- ・表示している録画スピード（標準/3倍）で、計算します。
  - ・表示を戻すときは、表示切換ボタンを押します。
- ボタンを押すごとに
- テープ残量表示 ← 時計表示  
← カウンター表示 ← 音声レベルメーター表示 →

テレビ画面

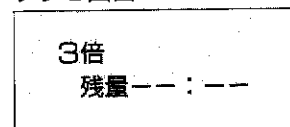


本体表示窓

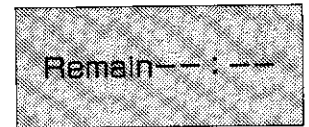


- ・録画や再生をした直後は、残量計算に多少時間がかかります。
- ・計算中は下のような表示になります。また、残量表示が点滅する場合があります。

テレビ画面

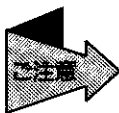


本体表示窓



- ・ブランクサーチ終了後、録画を始める前に再生して、ここから録画してよいか確認しましょう。

- ・残量時間は目安です。
- ・使用するカセットによっては、残量表示に時間がかかったり、正しい残量を表示しないことがあります。
- ・ビデオ電源「切」でも、本体の表示切換ボタンを押すとテープ残量を確認できます。

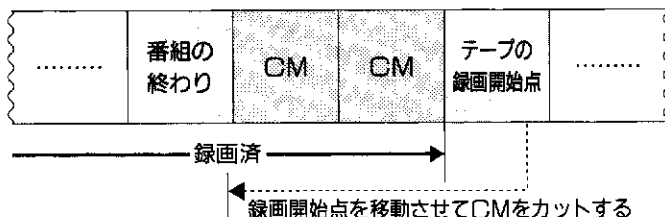
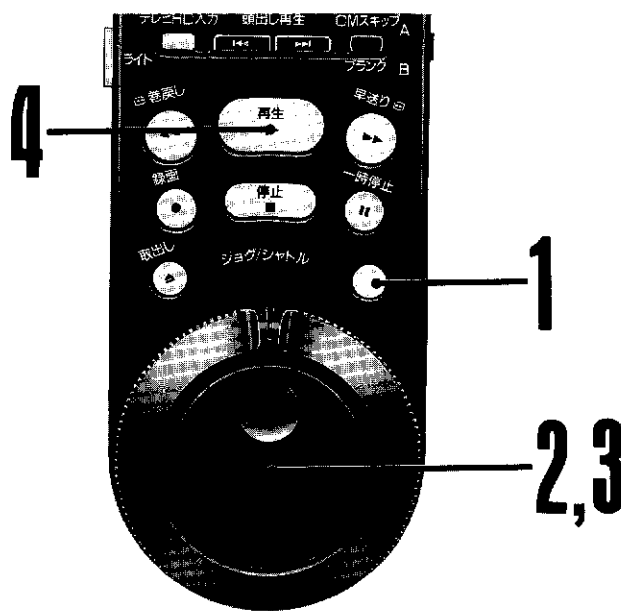




# 不要な場面を入れずに録画する

## 録画中に不要な部分をカットし、続けて録画する リテイク機能

録画一時停止中に、録画してしまったCMなどをカットし、番組の終わりから続きをピタリ録画できます。W-VHSテープ使用時は操作できません。



・CM中に録画一時停止にします。

# 1

**ジョグ/シャトルボタンを押す**  
・ランプが点灯します。

# 2

**録画一時停止状態から、ジョグダイヤルで番組の終わりをさがす**  
・シャトルリングも使用できます。

# 3

**終わりが見つかったら、手を離す**  
・静止画再生の後、録画一時停止状態になります。

# 4

**録画したい場面で再生ボタンを押す**  
・録画を開始します。

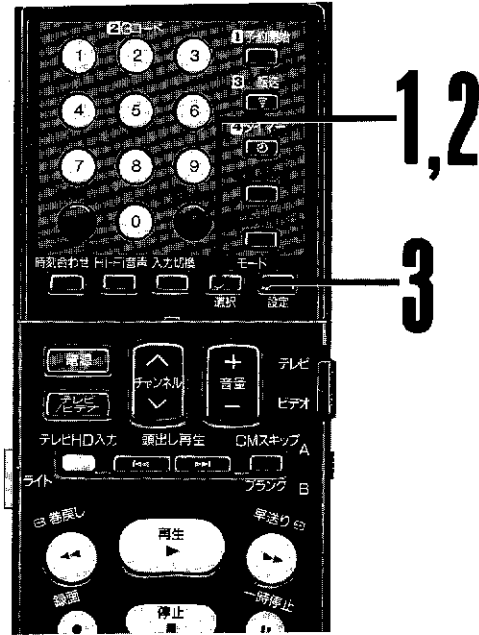
本体で操作する場合は

- ①録画一時停止状態から、REW(またはFF)ボタンを押し続けると、正逆1倍速でテープを再生します。  
・リモコンの巻戻し(または早送り)ボタンでもできます。
- ②頭出ししたい場面で手を離すと、録画一時停止状態になります。
- ③録画したい場面でPLAYボタンを押します。  
録画を開始します。

# 録音する音声を選ぶ

## 二ヶ国語放送(日本語と外国語)を録音する

ご購入時、二ヶ国語放送を録音すると、主音声(日本語など)だけを録音します。外国語を録音したい方は、録音音声をおらかじめ選んでください。テレビ画面に出る表示項目を見ながら設定します。



### テレビ画面

**1** モード選択ボタンで、モード選択画面を表示する

*モード選択*		
<input checked="" type="checkbox"/> 3D Y/C SEP	標準設定	
ビデオ ステータス設定		
TBC	<input type="checkbox"/> 入	切
ロジカルHIFI NR	<input type="checkbox"/> 入	切
S-VHS記録	<input type="checkbox"/> オート	切
二ヶ国語音声録音	<input type="checkbox"/> 主	主*副
オンスクリーン	<input type="checkbox"/> オート	切
ブルーバック	<input type="checkbox"/> 入	切

**2** モード選択ボタンで、二ヶ国語音声録音を選ぶ

・モード選択ボタンを押すごとに、下の項目へ進みます。

*モード選択*		
<input type="checkbox"/> 3D Y/C SEP	標準設定	
ビデオ ステータス設定		
TBC	<input type="checkbox"/> 入	切
ロジカルHIFI NR	<input type="checkbox"/> 入	切
S-VHS記録	<input type="checkbox"/> オート	切
<input checked="" type="checkbox"/> 二ヶ国語音声録音	<input type="checkbox"/> 主	主*副
オンスクリーン	<input type="checkbox"/> オート	切
ブルーバック	<input type="checkbox"/> 入	切

**3** モード設定ボタンで、主\*副にする

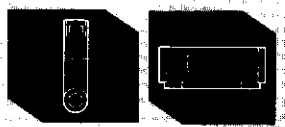
・日本語と外国語を録音します。

*モード選択*		
<input type="checkbox"/> 3D Y/C SEP	標準設定	
ビデオ ステータス設定		
TBC	<input type="checkbox"/> 入	切
ロジカルHIFI NR	<input type="checkbox"/> 入	切
S-VHS記録	<input type="checkbox"/> オート	切
<input checked="" type="checkbox"/> 二ヶ国語音声録音	<input type="checkbox"/> 主	主*副
オンスクリーン	<input type="checkbox"/> オート	切
ブルーバック	<input type="checkbox"/> 入	切

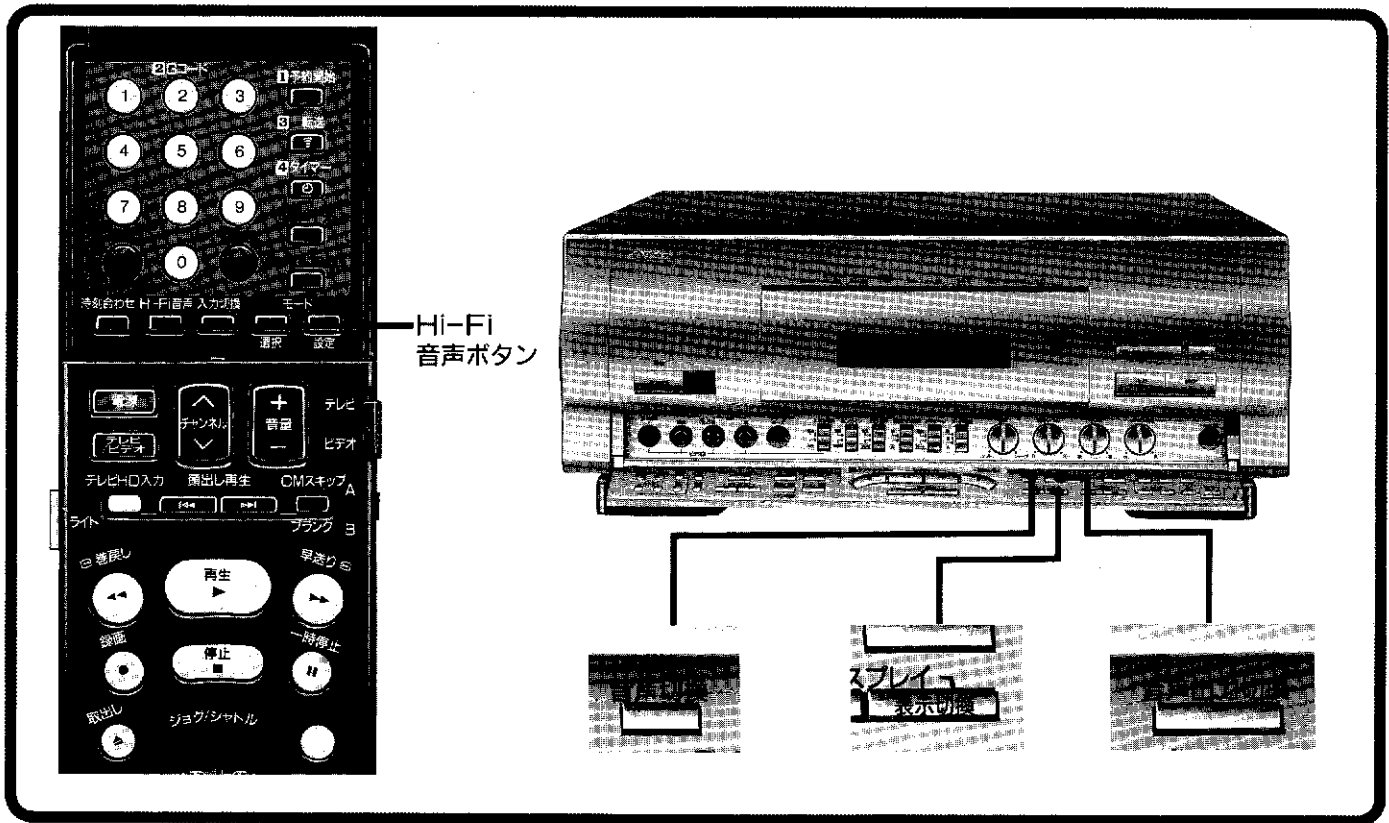
■テレビ画面に戻すには、モード選択画面が消えるまでモード選択ボタンを押します。



- ・日本語と外国語の両方を録音したテープを聞くとときにはリモコンのHi-Fi音声ボタンで聞きたい音声を選びます。録画中に切り換えても大丈夫です。
- ・主\*副の位置で二ヶ国語放送を録音すると、ノーマル音声トラックには主音声録音されます。
- ・停電などがあり、時計表示が0:00で点滅しているときは、主のポジションに戻りますので、主\*副にしたい方は、もう一度設定し直してください。



# 聞きたい音声を選ぶ



## 日本語と外国語が同時に聞こえたら

Hi-Fi音声ボタンで選びます

- ・本体表示窓で音声出力表示を確認するときは、本体の表示切換ボタンで音声レベルメーターを表示させます。

	主音声+副音声	主音声(日本語など)	副音声(外国語)
テレビ画面	左 右	左	右
本体表示窓	HIFI L R	HIFI L	HIFI R

## 他のビデオでインサート編集やアフレコ編集したテープを聞く

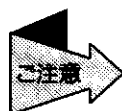
本体の音声出力切換ボタンで選びます

- ・本体表示窓で音声出力表示を確認するときは、本体の表示切換ボタンで音声レベルメーターを表示させます。

	Hi-Fi音声	ノーマル音声	ミックス音声
テレビ画面	左 右	ノーマル	ミックス
本体表示窓	HIFI L R	ノーマル	HIFI ノーマル R



・Hi-Fi録音されていないテープはノーマル音声を再生します。



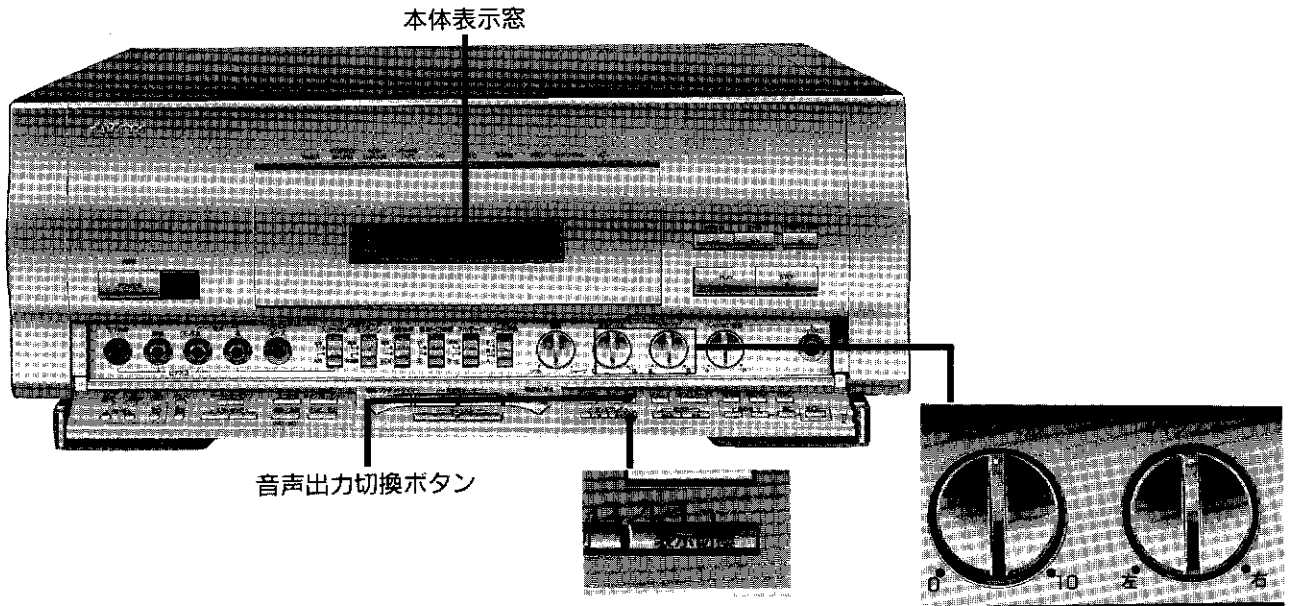
・W-VHSテープ使用時はノーマル音声記録されないため、ノーマル/ミックス音声の切り換えはできません。



# 録音音声の調節

## Hi-Fi録音レベルを調節する

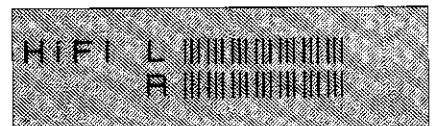
大きな音から小さな音までのレベル差(ダイナミックレンジ)が大きい音声は、Hi-Fi録音レベルを調節したほうが迫力のある音で録音できます。クラシックなどでシーンと静かな演奏からいきなり大きな演奏曲に変わったり、逆にシンバルやドラムの大きな音から静かな演奏にと、変化の激しい音声のときに効果的です。



本体表示窓

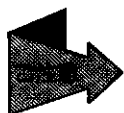
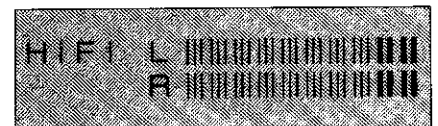
### 1 表示切換ボタンで音声レベルメーターを表示させる

- ・ ボタンを押すごとに  
→ カウンター表示 → テープ残量表示 →  
→ 音声レベルメーター表示 ← 時計表示 ←
- ・ ノーマル音声またはミックス音声のときは、  
音声出力切換ボタンでHi-Fi音声にします。



### 2 録音レベルつまみとバランスつまみで調節する

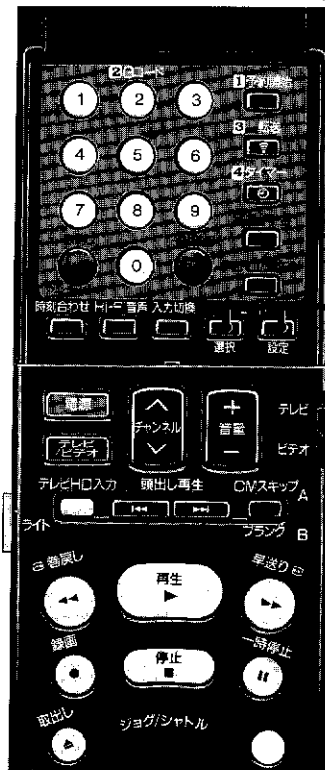
- ・ 音声レベルメーターを見ながら、太いバー表示が  
ときどき振れる程度が適正なレベルです。



・ 調節するとき、録音レベルが低過ぎるとノイズが多くなり、高過ぎるとひずみが多くなりますのでご注意ください。



他のビデオで録画したテープを再生中、Hi-Fi音声にノイズ(雑音)がでるとき ロジカルHIFI NR



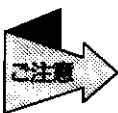
テレビ画面

1 モード選択画面のロジカルHIFI NRを入にする

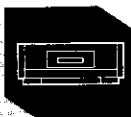
- ・調整が始まり、Hi-Fi音声のノイズを解消します。
- ・通常は入にしてください。
- ・操作方法は設置編⑫ページをご覧ください。

\*モード選択\*

	標準設定		
3D Y/C SEP	入	切	
ビデオ ステータス設定	入	切	
TBC	入	切	
ロジカルHIFI NR	入	切	
G-VHS記録	オート	主*	副
ニヶ国語音声録音	主	主*	副
オンスクリーン	オート	切	
ブルーバック	入	切	



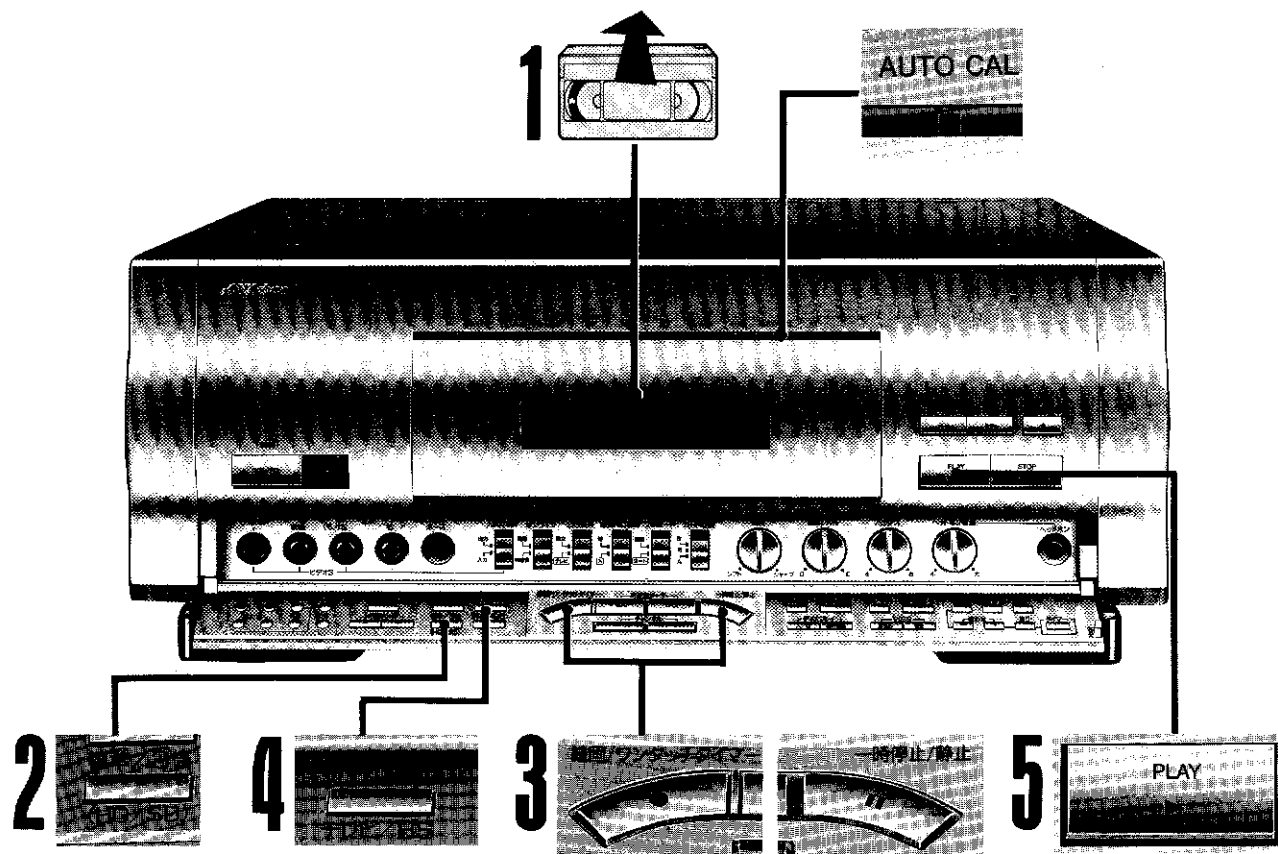
・Hi-Fi音声記録されているテープのみ調整します。



# テープの特性に合わせて録画する

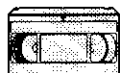
## AIオートキャリブレーション

AIオートキャリブレーションとは  
 使用するテープの特性を調べて、記録レベルを最適状態に設定し録画します。  
 設定されたデータは本体に記憶され、ボタンひとつですぐに呼び出せます。  
 同じテープをよく使用するとき便利です。  
 W-VHSテープ使用時は操作できません。



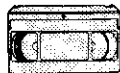
■テープの種類と録画スピードの組み合わせには下の4通りがあります。この4通りのデータをすべて記憶できます。ただし、記憶できるのは各々について1つです。

① S-VHSテープ



標準で記録

② S-VHSテープ



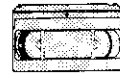
3倍で記録

③ VHSテープ



標準で記録

④ VHSテープ



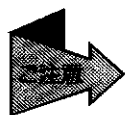
3倍で記録

S-VHSテープ



3倍で記録

新たにオートキャリブレーションを行うと、前に記憶されたデータは消されます。



- ・メーカーや、同じメーカーでもテープの種類が異なる場合は再度オートキャリブレーションを行ってください。
- ・使用するテープがすでにオートキャリブレーションを行ったかどうか定かでない場合は、再度オートキャリブレーションを行ってください。

# 1

## テープを入れる

- ・ つめがあることを確認します。

■ 1つのテープに「標準」、「3倍」両方のスピードで録画するときは、2～4の操作をくり返し、「標準」、「3倍」についてそれぞれA1オートキャリブレーションを行った後、録画やタイマー録画を行います。

# 2

## 標準/3倍ボタンで録画スピードを選ぶ

■ すでにA1オートキャリブレーションしたテープを使用するときは

- ① A1オートキャリブレーションしたテープを入れます。
- ② オートキャリブレーションボタンを押します。
  - ・ AUTO CALランプが点灯します。
- ③ 録画します。
  - ・ テレビ画面に最適記録レベルは表示しません。

# 3

## 一時停止ボタンを押しながら録画ボタンを押し、録画一時停止にする

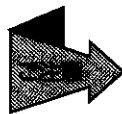
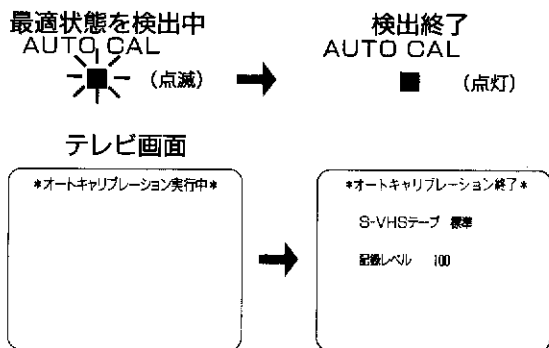
■ タイマー録画をするときは

- ① A1オートキャリブレーションしたテープを入れます。
- ② オートキャリブレーションボタンを押します。
  - ・ AUTO CALランプが点灯します。
- ③ タイマー予約を行います。
  - ・ [20]～[23]ページをご覧ください。

# 4

## AUTO CALランプが点滅するまでオートキャリブレーションボタンを押す

- ・ 自動的にテープの特性を調べます。(10秒かかります)
- 動作内容：録画一時停止→録画→巻戻し→再生→巻戻し→録画一時停止
- ・ A1オートキャリブレーション終了後は、テレビ画面に最適記録レベルを表示します。



- ・ A1オートキャリブレーションを行う場合は、テープの未録画部分または、消してもよい部分で行うことをおすすめします。
- ・ つなぎ撮りする場合は、録画を始める前に再生して、ここから録画してよいか確認しましょう。
- ・ AUTO CALランプが点滅中は、音声が出ません。また、チャンネルの切換えもできません。
- ・ テープの傷のある部分では、A1オートキャリブレーションが正しく動作しない場合があります。このようなときは、オンスクリーン表示の記録レベルの欄に「エラー」を表示します。

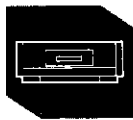


- ・ テープを取り出すと、AUTO CALランプが消え、A1オートキャリブレーションモードは解除されます。
- ・ A1オートキャリブレーションの記録レベルは、相対的な最適記録特性を示しているもので、テープの優劣をあらわしているものではありません。

# 5

## 録画するときは、PLAYボタンを押す

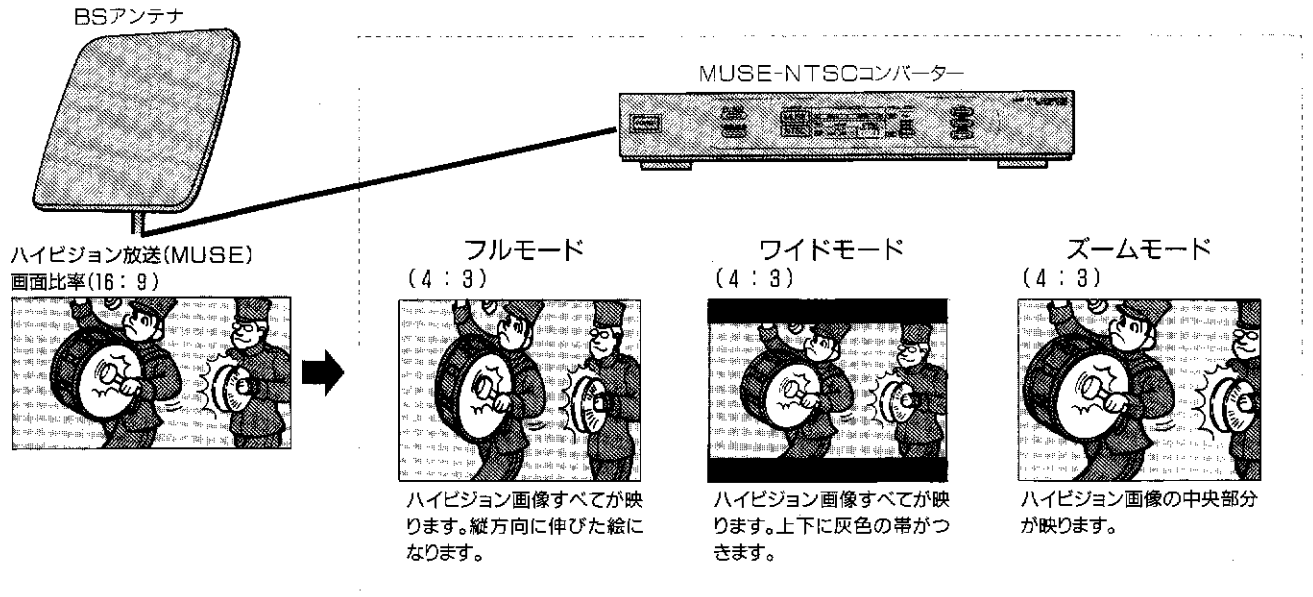
- ・ 録画を始めます。



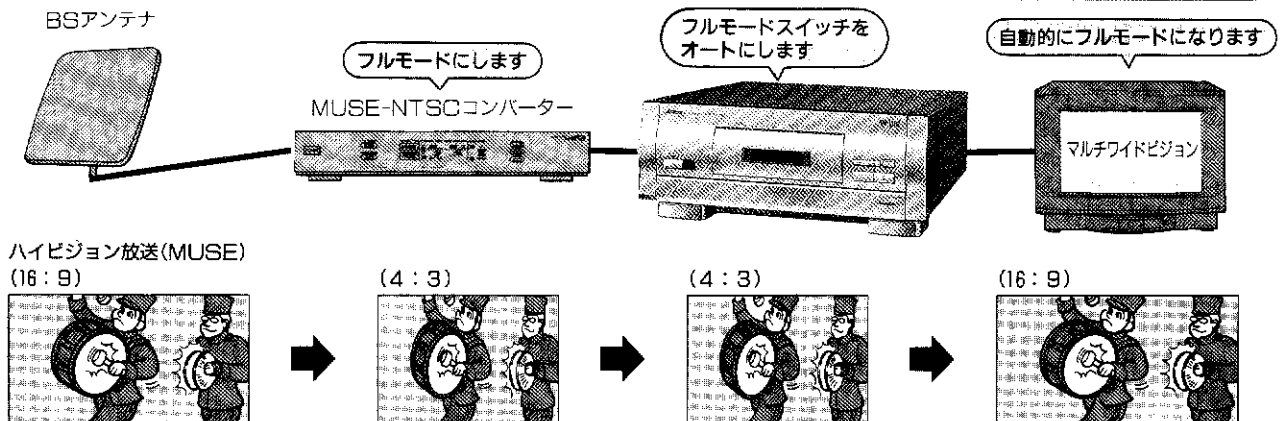
# 横長画面を楽しむ

## BSのハイビジョン番組を横長画面で楽しむ

MUSE-NTSCコンバーターを使ってBSのハイビジョン番組を受信すると、MUSE-NTSCコンバーター側で次の3つの画面に変換することができます。

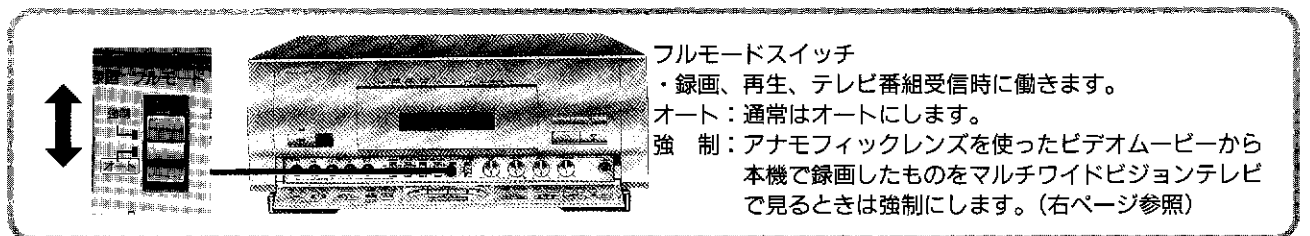


## マルチワイドビジョンテレビ(画面比率16:9)で見える場合(接続は設置編 44、45ページをご覧ください)



## 現行方式(画面比率4:3)のテレビで見える場合(接続は設置編 45ページをご覧ください)

本機のフルモードスイッチをオートにします。  
テレビには、MUSE-NTSCコンバーター側で選んだ画面が映ります。



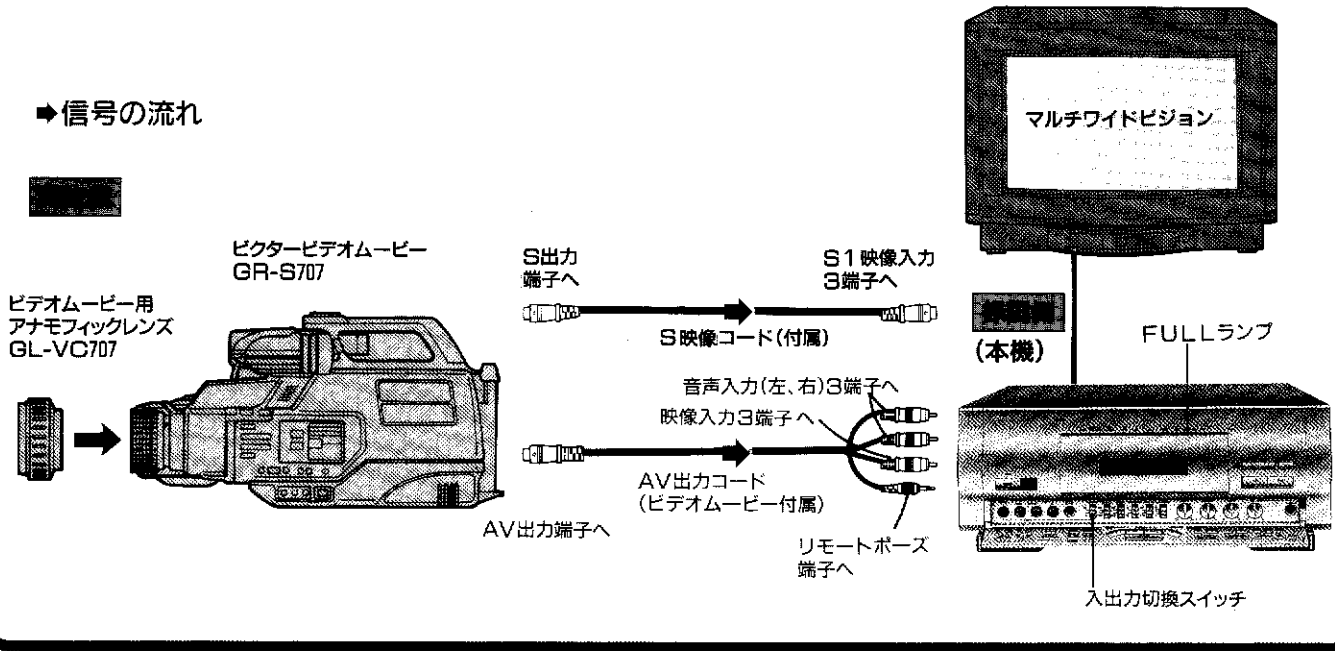
- ・S1映像入力端子からフルモードのコントロール信号が入力されると、本体のFULLランプが点灯します。
- ・接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

- ・MUSE-NTSCコンバーター、マルチワイドビジョンテレビとの接続は設置編 44、45ページをご覧ください。

## アナモフィックレンズを使ったビデオムービーからの横長画面記録

本機では、ピクターのビデオムービーGR-S707にアナモフィックレンズ(GL-VC707)を取り付けて撮影した映像に横長信号を追加して記録します。マルチワイドビジョンと接続すると映画館と同じようにワイドな画面でお楽しみいただけます。

### →信号の流れ



1

フルモードスイッチを  
強制にする  
・FULLランプが点灯します。

2

入出力切換スイッチを  
入力にする

3

入力切換ボタンでチャンネルを  
L3にする

4

一時停止ボタンを押しながら  
録画ボタンを押し、録画一時  
停止にする

5

ダビングしたい場面で  
静止画再生にする

6

エディットボタンを押し  
・自動的に録画を始めます。

■録画を一時的に止めるには、ビデオムービーの一時停止ボタンを押します。

・再びダビングするときは、ビデオムービーのエディットボタンを押します。

■終了するときは、ビデオムービーの停止ボタンを押します。

・本機は録画一時停止になります。

■外部入力からテレビ/BS番組に戻すときは、チャンネルボタンを押します。

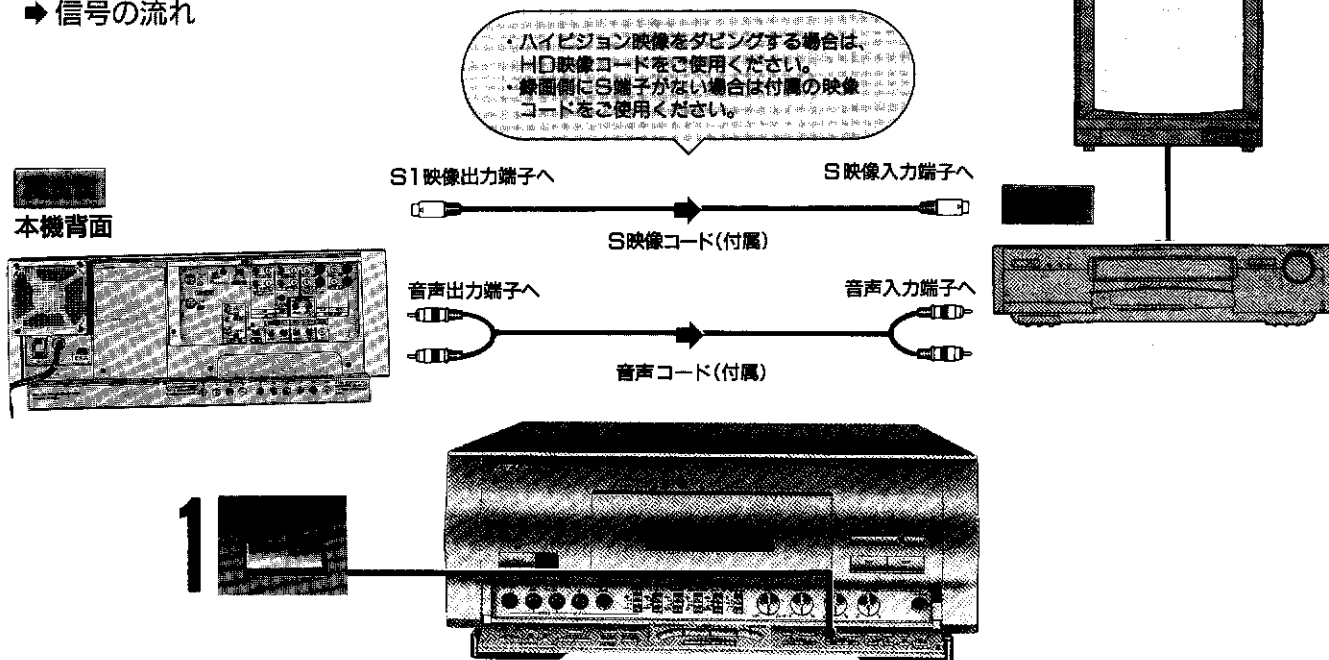
注意

- ・横長信号の出力は本機のS1映像出力端子からのみ出力します。
- ・横長画面を楽しむには、各機器間の映像端子をSビデオコードで接続してください。

# テープのコピー(ダビング)

## 本機で再生、他のビデオで録画する場合

### ➡ 信号の流れ



1

### ダビングボタンでテレビ画面にダビングを表示させる

- ・ビデオステータスボタンでも操作できます。(33ページ参照)
- ・W-VHSテープ使用時は操作できません。

テレビ画面

ダビング

2

### モード選択画面のオンスクリーンを切にする

(設置編 12 ページ参照)

*モード選択*	
3D Y/C SEP	標準設定
ビデオ ステータス設定	
TSC	<input type="checkbox"/> 入 <input type="checkbox"/> 切
ロジカルHIFI NR	<input type="checkbox"/> 入 <input type="checkbox"/> 切
S-VHS記録	<input type="checkbox"/> オート <input type="checkbox"/> 切
ニヶ国語音声録音	<input type="checkbox"/> 主 <input type="checkbox"/> 主*副
☑ オンスクリーン	<input type="checkbox"/> オート <input type="checkbox"/> 切
ブルーバック	<input type="checkbox"/> 入 <input type="checkbox"/> 切

1

- ①外部入力にする
- ②録画一時停止にする

2

ダビングしたい部分の少し前から再生する

3

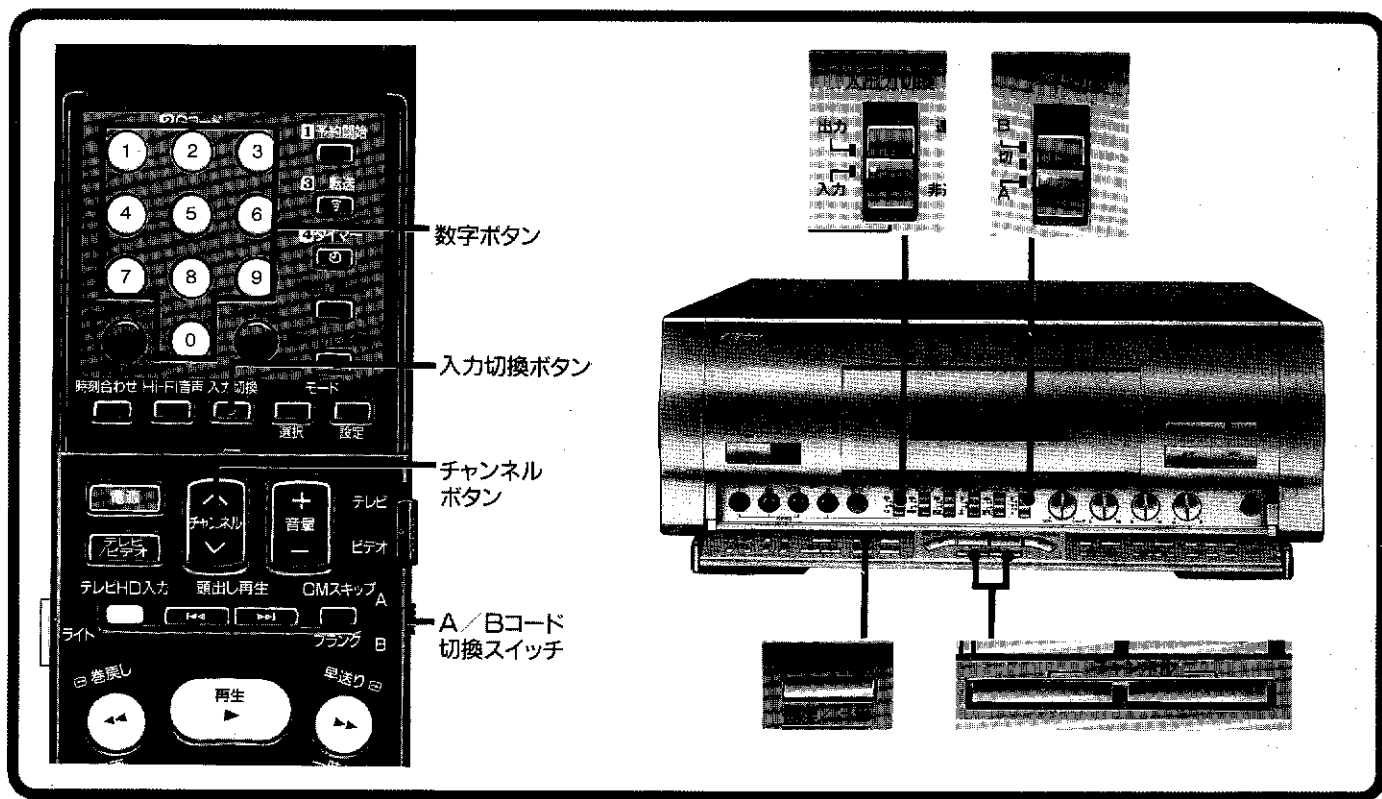
ダビングしたい場面で録画を始める

■終了するときには、STOPボタンを押します。

- ・録画側→本機の順に停止してください。



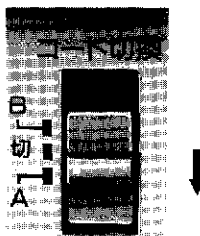
- ・ダビング終了後は、ダビングボタンを押し、元のビデオステータス表示に戻してください。また、モード選択画面のオンスクリーンをオートに戻してください。



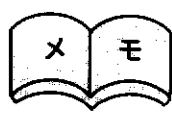
**本機のリモコンで2台のビクタービデオを操作する (リモコンコード切換)**

2台のビクタービデオをお使いになるときは、それぞれのリモコンコードを別のコード(A、B)にしてください。ビデオ操作するとき、2台が同時に同じ動きをすることはありません。

① 本体のリモコンコード切換スイッチがAの場合



② リモコンのA/Bコード切換スイッチもAにします。



- ・Bコードにする場合は、本体もリモコンもBコードにします。
- ・リモコンで操作させたくないときは、本体のリモコンコード切換スイッチを切にします。
- ・ビクターハイビジョンテレビHV-32Z3と接続している場合は、Aコードでご利用ください。

**外部入力を選ぶ**

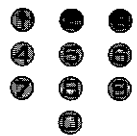
入力切換ボタンを押します。



- ・ボタンを押すごとに  
L 1 (背面) → L 2 (背面) → L 3 (前面) → HD (背面)

**テレビ/BS番組に戻すときは**

数字ボタンまたはチャンネルボタンを押します。



または

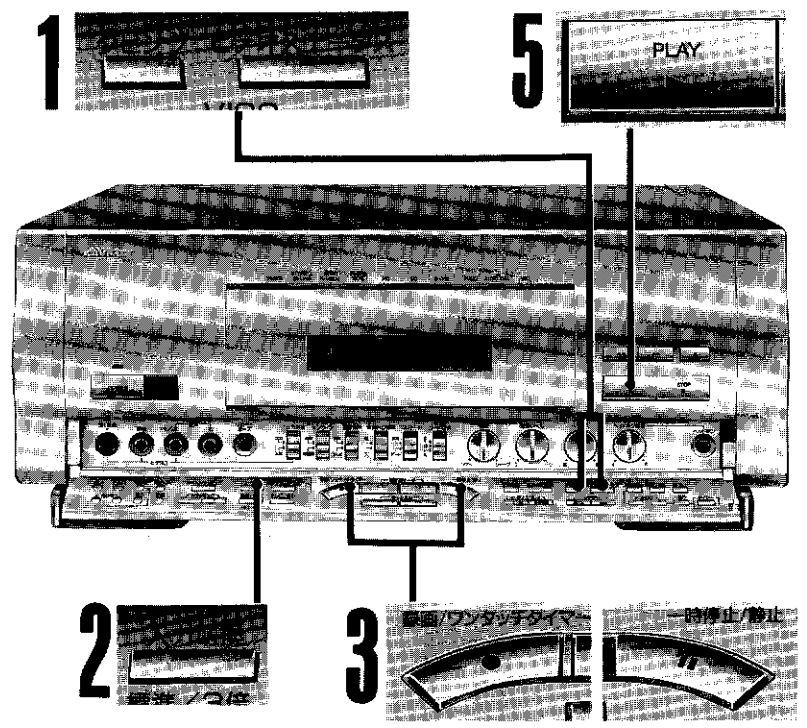
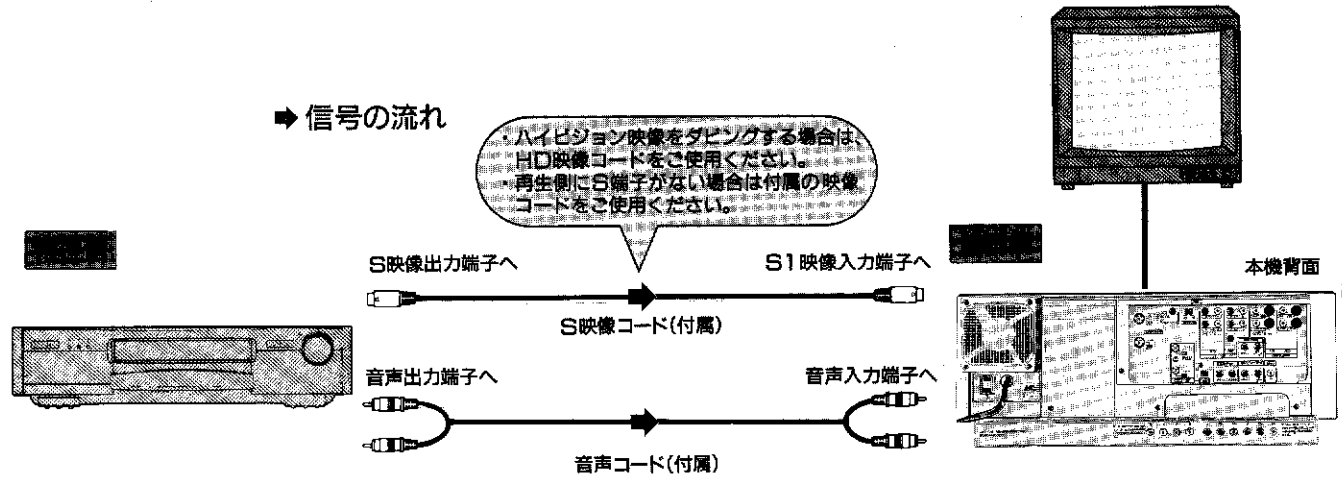


- ・"L 3"を選ぶときは、本体の入出力切換スイッチを"入力"側にしてください。
- ・S-VHS/VHSテープ使用時は、HDを表示しません。

# テープのコピー(ダビング)(つづき)

## 他のビデオで再生、本機で録画する場合

ビデオムービーからダビングするときは、前面端子をお使いください。  
前面および背面入力端子ともS入力優先です。





1

## ダビングボタンでテレビ画面にダビングを表示させる

- ・ビデオステータスボタンでも操作できます。(33)ページ参照)
- ・W-VHSテープ使用時は操作できません。

ダビング

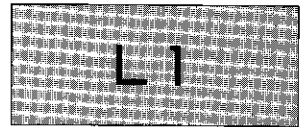
2

## 入力切換ボタンで接続した入力を選ぶ

- ・(47)ページもご覧ください。

(表示例)

ビデオ1



3

## 一時停止ボタンを押しながら録画ボタンを押し、録画一時停止にする

録画 ポーズ



4

## ダビングしたい部分の少し前から再生する

5

## ダビングしたい場面でPLAYボタンを押す

- ・録画を始めます。

録画



- 録画を一時的に止めるには、一時停止ボタンを押します。
- 終了するときには、STOPボタンを押します。
  - ・本機→再生側の順に停止してください。
- 外部入力からテレビ/BS番組に戻るときは、チャンネルボタンを押します。



- ・ダビング終了後は、ダビングボタンを押し、元のビデオステータス表示に戻してください。
- ・オーディオ機器からダビングする場合は、映像も同時に記録してください。



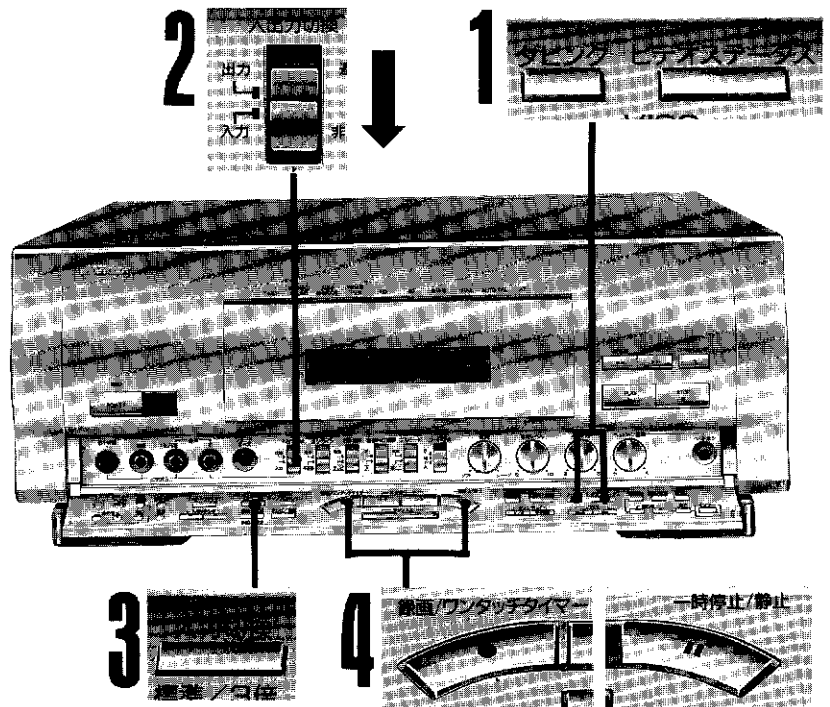
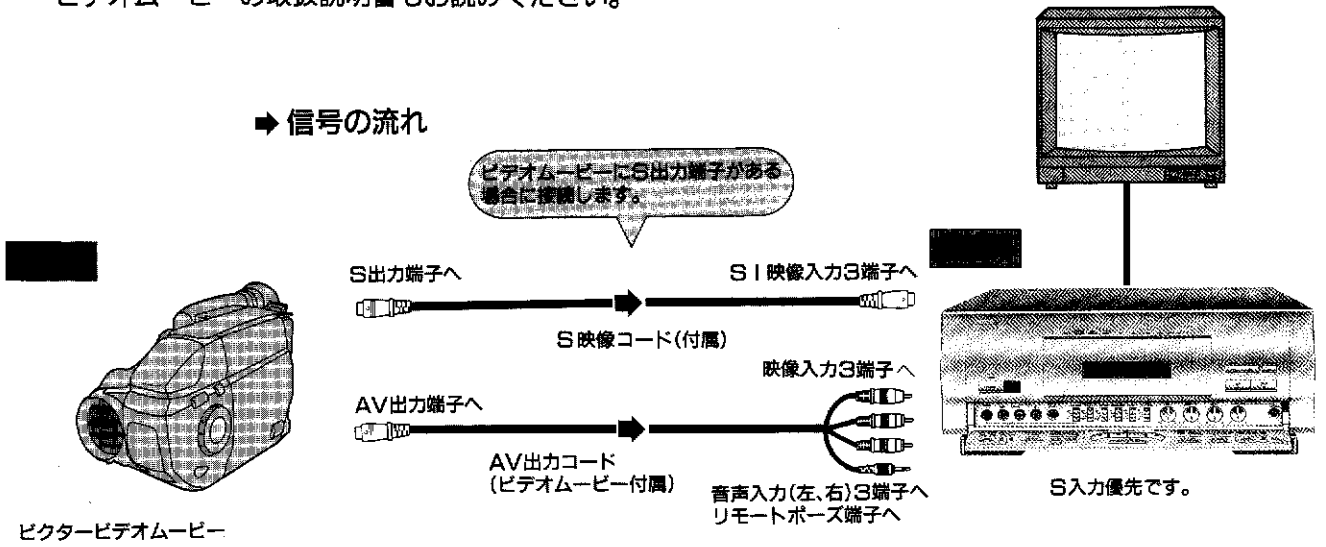
- ・録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
- ・あなたがビデオテープレコーダーで録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

# テープのコピー(ダビング)(つづき)

## ビデオムービーで再生、本機で録画する場合 マスターエディットコントロール

- ・マスターエディットコントロール機能とは  
ダビング時、本機の録画スタート/ストップをビデオムービー側で操作する機能です。
- ・ビクターのビデオムービーと接続したときに操作できます。
- ・ビデオムービーの取扱説明書もお読みください。


### → 信号の流れ



# 1

## ダビングボタンでテレビ画面にダビングを表示させる

- ・ビデオステータスボタンでも操作できます。(33) ページ参照)
- ・W-VHSテープ使用時は操作できません。



# 2

## 入出力切換スイッチを入力側にする

# 3

## 入力切換ボタンでチャンネルをL 3 (外部入力)にする

- ・(47) ページもご覧ください。




# 4

## 一時停止ボタンを押しながら録画ボタンを押し、録画一時停止にする




# 5

## ダビングしたい場面で静止画再生にする

# 6

## ビデオムービーのエディットボタンを押す

- ・自動的に録画を始めます。




### ■録画を一時的に止めるには、ビデオムービーの一時停止ボタンを押します。

- ・再びダビングするときは、ビデオムービーのエディットボタンを押します。

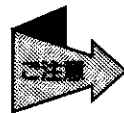
### ■終了するときには、ビデオムービーの停止ボタンを押します。

- ・本機は録画一時停止になります。

### ■外部入力からテレビ/BS番組に戻るときは、チャンネルボタンを押します。



・ダビング終了後は、ダビングボタンを押し、元のビデオステータス表示に戻してください。



- ・ビデオムービーなどで、つなぎ撮りの多いテープを再生し、本機でSD録画する場合、つなぎ部分で画像が乱れることがあります。
- ・録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。

# 故障かな?と思ったら

□内は操作編の参照ページです。  
○内は設置編の参照ページです。

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
電 源	電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードがコンセントからはずれていませんか?</li> <li>TIMERランプが点灯していませんか?</li> </ul>	—
	電源が切れる	ビデオ内部の温度が上昇し過ぎると、保護回路が働いて自動的にビデオの電源が切れます。ファンの周りをふさがないようにビデオを置いてください。	—
	引っ越し先でも使えるか	日本国内は大丈夫です。ただし、チャンネル設定はやり直してください。海外では、電源・放送方式などの違いで使用できません。	—
カ セ ッ ト	カセットが入らない	正しい向きで入れてください。	—
	カセットが出ない	録画中またはTIMERランプが点灯していませんか?	—
再 生	コンパクトビデオカセットを使って録画または再生したい	別売のカセットアダプターC-P6をご使用ください。	5
	テレビに再生画がでない	テレビの入力切換をテレビからビデオにしてください。	16
	画面の一部にノイズが出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体のAT(トラッキングの自動調節)ランプが点灯していますか?</li> <li>ATランプ点灯中にノイズが出るときは、トラッキング調節を手動で行います。</li> </ul>	34
	Hi-Fi音声が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>Hi-Fi音声ボタンまたは音声出力切換ボタンで、テレビ画面に「(左右)」を表示させます。</li> <li>Hi-Fiでないビデオやビデオムービーで録画したテープを再生するとHi-Fi音声は出ません。</li> </ul>	39
	日本語と外国語が同時に聞こえる	Hi-Fi音声ボタンで聞きたい音声を選んでください。	39
放 送 受 信	可変速再生中にノイズが出る	再生の速さを変えると、ノイズが出るときがあります。故障ではありません。	—
	希望の番組が映らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>映したいチャンネルを記憶してください。本体で操作します。</li> <li>①チャンネル合わせボタンを押す。</li> <li>②合わせボタンで、復帰したいチャンネルに合わせる。</li> <li>③記憶ボタンを押す。</li> <li>④チャンネル合わせボタンで、表示を戻す。</li> </ul>	35
録 画	録画できない	カセットのつめが付いていますか?	5
	希望の番組が録画できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオの録画チャンネルを確認してください。</li> <li>ビデオのチャンネルが飛ばされていませんか?</li> </ul>	35
	録画中に日本語と外国語が同時に聞こえる	Hi-Fi音声ボタンで聞きたい音声を選んでください。	39
	日本語だけ録音したいのだが	モード選択画面の二ヶ国語音声録音を主にします。	38



# 故障かな?と思ったら(つづき)

□内は操作編の参照ページです。  
○内は設置編の参照ページです。

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
リモコン	・リモコンが働かない	・本体とリモコンのコード(A/B)が合っていますか? 本体のリモコンコード切替スイッチが切のときは、働きません。 ・電池が消耗していませんか?	47
	・テレビが操作できない	・電池交換をしたら、リモコンのテレビコードをお手持ちのテレビに合わせてください。	11
	・本体への予約転送ができない	・本体に近づけて転送してください。	—
ハイビジョン関連	・テレビに再生画がでない	・HD録画したテープを見るときは、テレビの入力切替を「HD入力」にしてください。 ・SD/S-VHS/VHS再生時は、テレビの入力切替を「ビデオ入力」にしてください。 ・ピクチャーのハイビジョンテレビHV-32Z3と接続している場合は、AVコンピュリンクII機能により、本機の再生ボタンを押すと自動的にテレビの入力切替を行います。リモコンコードは“A”で使します。	17
	・BSのハイビジョン番組が録画できない	・W-VHSテープの誤消去防止スイッチを「REC側」にします。 ・ハイビジョンテレビまたはMUSEデコーダーのHD映像出力端子と本機のHD映像入力端子を接続してください。 W-VHSテープを使用し、入力切替ボタンで「HD」を選びます。	5 15
	・標準(HD)/3倍(SD)が切り換わらない	・W-VHSテープ使用時は、録画チャンネルによってHD/SDモードが自動的に設定されるため、標準(HD)/3倍(SD)ボタンの操作は不要です。	8
	・W-VHSテープを入れてもHD、SDランプが点灯しない	・W-VHSテープの誤消去防止スイッチを「REC側」にします。	5
	・BSのハイビジョン番組のタイマー録画ができない	・タイマー録画の実行前に、ハイビジョンテレビまたはMUSEデコーダーの電源を入れ、BSのハイビジョン番組を選局しておいてください。 ・テレビにタイマー予約機能がある場合は、本機のタイマー予約時間よりも、前後3分ぐらい多めに時間を設定してください。 ・ハイビジョンテレビまたはMUSEデコーダーの取扱説明書も合わせてご覧ください。 ・ピクチャーのハイビジョンテレビHV-32Z3と接続している場合は、AVコンピュリンクII機能により、テレビ側の操作は必要ありません。	27
衛星放送	・BS番組が映らない	・アンテナ電源スイッチが切になっていませんか? 使用状況により、入にします。 (共同受信している場合は、他から電源が供給されているので切のままです。) ・BSデコーダーを接続していますか? ・スクランブル放送を受信していませんか?	22 46
	・BSオートチャンネル設定で、不要なBSチャンネルが登録される	・不要なBSチャンネルを飛ばしてください。	34
	・BSデコーダーを接続しているのにスクランブルが解除されない	・BSデコーダーの電源は入っていますか?	—
	・Aモード音声放送受信中にテレビ音声が出ない	・BS音声スイッチがテレビになっていますか? ・スクランブル放送中は、BSデコーダーの音声選択をテレビにしてください。	10
編集	・ダビングできない	・前面入力端子と接続しているときは、入出力切替スイッチを入力側にし、入力切替ボタンでチャンネルをL3にします。 ・背面入力端子と接続しているときは、入力切替ボタンでチャンネルをL1(またはL2、HD)にします。	50 48
	・ダビング時、本機で再生するとオンスクリーンの文字が録画される	・モード選択画面のオンスクリーンを切にしてください。	12

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み、動作を確認してください。

本機に搭載されている各種機能の中には、W-VHSテープ使用時に操作できないものがあります。  
S-VHS/VHSテープ使用時、下表の機能はすべて操作できます。

(○：操作可能 ×：操作不可)

	機能名	HD	SD	メモ	ページ
特殊再生	早送り/巻戻し再生	○	○	HD再生時：約±6倍速、SD再生時：約±7倍速	18
	GMスキップサーチ	○	○	操作できます。	18
	ハイスピードオープンサーチ	×	×	操作できません。	18
	ジヨグダイヤル	×	×	操作できません。	19
	シャトルリング	○	○	HD再生時：+1、約±6倍速、SD再生時：+1、約±7倍速	19
	可変速サーチ	×	×	操作できません。	19
便利な機能	頭出し再生	○	○	操作できます。	28
	書き込み/消去	○	○	操作できます。	29
	ネクストファンクションメモリー NFスーパーリワインド	○	○	NFスーパーリワインドした場合、120分テープ使用時、約1分で巻き戻します。	30
	バンクサーチ	○	○	操作できます。	36
	テープ残量	○	○	HDモード：標準○：○○で表示します。 SDモード：3倍○：○○で表示します。	36
	リテイク機能	×	×	操作できません。	37
	AIオートキャリブレーション	×	×	操作できません。	42
画像調節	ビデオステータス (AIオート、ダビング、レンタル、設定1/2)	×	×	操作できません。	33
	トラッキング調節	○	○	操作できます。	34
	スロートラッキング調節	×	×	操作できません。	34
	YCタイミングアジャスト	×	×	操作できません。	35
	画質調節	×	×	操作できません。	35
	音声調節	Hi-Fi音声切替	○	○	操作できます。
Hi-Fi/ノーマル/ミックス音声切替		×	×	ノーマル音声記録されないため、切り換えはできません。	39
Hi-Fi録音レベル調節		○	○	操作できます。	40
モード選択画面	SD Y/C SEP	×	○	HDモード：操作不要です。SDモード：操作できます。	12
	ビデオステータス設定	×	×	操作できません。	32
	TBC	×	×	W-VHS専用のTBCが常時働きます。	31
	ロジカルHi-Fi NR	○	○	操作できます。	41
	S-VHS記録	×	×	W-VHSテープにS-VHS/VHS記録はできません。	6 12
	二ヶ国語音声録音	○	○	操作できます。	38
	オンスクリーン	×	○	テレビ画面が「HD入力」のとき、オンスクリーン表示はしません。	12
ブルーバック	×	○	放送のないチャンネルや、外部入力で無信号のとき、青い画面（ブルーバック）になります。 無信号の再生では、ブルーバックになりません。	12	

## W-VHS関連技術

W-VHSはVHSの資産を活かしながら、HDTVに対応する民生用次世代VTRフォーマットです。W-VHSにはハイビジョン信号を記録・再生するためのHD(High-Definition)モード、現行テレビ信号を高画質で記録・再生するためのSD(Standard-Definition)モード、および、将来の用途開発が楽しめる現行テレビ信号を2系統平行に記録できるSD2モードの3つのモードがあります。本機はそのうち、HDモードとSDモードの2つのモードに対応しています。

### ●高性能ビデオヘッド(HD/SD/S-VHS/VHS)

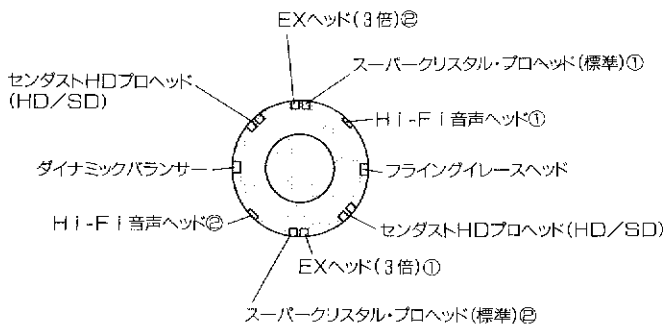
高画質の基本はヘッドにあります。HR-W1では、HD/SD/S-VHS/VHSモードそれぞれ専用に開発した高性能ヘッドを搭載しています。

**センダストHDプロヘッド(HD/SD)：**S-VHS/VHSに比べW-VHSは使用するテープがメタルテープであり、より大きな情報量をテープとの間でやりとりする必要があり、ヘッドに対する要求はより厳しいものとなります。

センダストHDプロヘッドはギャップ部のみならず、磁路全体をセンダスト合金の積層構造とすることで、低域から高域までの全帯域に渡る良好な記録特性と、再生時の低ノイズの両立を実現しています。

HDモードにおいては、2チャンネル平行記録を行うため、常に2つのヘッドがテープに接している必要があります。テープはヘッドの取り付けられている回転ドラムの半周分にしか巻きついていませんから、4個のセンダストHDプロヘッドが2個、2組に分けられて、回転ドラム上180°対向して使用されています。

**スーパークリスタル・プロヘッド(S-VHS/VHS標準モード)：**映像の記録/再生には、2個一対のヘッドが使われますが、従来はサーチなど特殊再生時の画質を保つため、トラック幅の異なるヘッドが使われていました。スーパークリスタル・プロヘッドは、となりあうトラックからの影響を低く抑えようと、2個のヘッドに画質上最適とされるトラック幅を持つヘッドをバランス設定。幅の狭かった方のヘッドで17%もトラック幅を広げることができました。これによりヘッド特性もバランスがとれ、高画質を引き出すことができます。



### ●HDベースバンド記録

W-VHSにおけるハイビジョン信号の記録・再生はコンポーネント、ベースバンド信号によって行われ、MUSEなどの帯域圧縮的な解像度向上の手法は使用せず、入力された信号をそのまま記録・再生しています。このため、信号源の方式による制約を受けず、圧縮に伴う特有な「くせ」のない自然な映像を楽しむことができます。

### ●W-VHS高性能メタルテープ

ハイビジョン信号をベースバンドで高画質に楽しむためには、より広い周波数範囲の信号をテープ上に記録する必要があります。このため、W-VHSでは、従来民生用で使用されていた水準を大きく超える、S-VHSテープに比較し高域特性が8dB以上高いメタルテープを新開発し、採用しています。このメタルテープにより、従来と同サイズのカセットで、ハイビジョン信号を高画質で長時間楽しむことが可能となりました。

### ●2トラック平行記録

ハイビジョン信号は、現行テレビ信号と比較して約4~5倍の情報量を持つため、例えば高性能テープを導入するといった単独の要素開発のみでは必要な技術的資源を確保することが困難です。

W-VHSのHDモードでは、この膨大な情報量を確保するために、ハイビジョン信号をデジタル信号処理により2分割し、同時に2つの映像信号用トラックを使用して記録・再生するという、大胆な手法を開発し確立することで解決しています。

この2トラック平行記録は、再生時には、分割されていた2つのトラックからの信号を複合し、元のハイビジョン信号に組み立て直しますから、失われる情報はなく、テープ上にハイビジョン信号を記録していると言えます。

### ●パーチカルエンファシス

ノイズを低減するためには多くの技術的手法があります。その中で最も簡単かつ単純な考えかたに、小さな信号をノイズと見なし、取り去ってしまうというのがありますが、これは、映像信号のディテールがなくなってしまう、優れた方式とは言えません。

こうした副作用なしにノイズのみを低減するのが「記録時に再生時失われるディテール信号成分を正確にその分だけあらかじめ増強(Emphasis)して記録してやる」というエンファシスの考えかたです。

この考えかたは、記録と再生が一対になっており、「相補的」に動作するため、ディテール信号の欠落なしにノイズのみの低減が行われる訳です。従来からVHS、S-VHSでは、メインエンファシス、サブエンファシスといった技術で水平方向の信号処理として、このエンファシス技術が使われていましたが、この技術を垂直(Vertical)方向に適用したのが、パーチカルエンファシスです。パーチカルエンファシスを導入することにより、「ディテール信号の欠落のないノイズ低減」という理想に近づくために利用できる技術要素が、ひとつ増えたと言えます。



## ●テンポラルエンファシス

W-VHSで新たに開発したもう一つの「ディテール信号低下のない」ノイズ低減技術が、このテンポラルエンファシスです。テンポラルエンファシスは、エンファシスの考えかたを時間軸方向に拡張して適用したもので、1フレーム前の映像信号との変化に着目したエンファシスを、フレーム全体のひとつの画素に対してデジタル信号処理で行う技術です。

従来行われていた再生時の時間軸方向ノイズ低減技術では、動きに対する不自然さが発生しがちで、この副作用を抑制するために多くの技術的配慮がなされてきましたが、この問題もテンポラルエンファシスでは、記録・再生の相補的な動作により、原理的に解決されています。その改善効果の点でもテンポラルエンファシスは、W-VHSの低ノイズとディテール再現を両立させる技術的ストーリーの中で重要な位置を占めていると言えます。

## ●TCI (Time Compress Integration) 記録方式

現行テレビ信号は、明るさを表現する輝度信号とカラー信号を重畳して伝送するコンポジット信号で放送されています。従来の家庭用VTRは、輝度信号とカラー信号にたいして異なる信号処理を行う必要から、これらの信号を一度分離はするのですが、最終的にテープ上には周波数変調(FM)された輝度信号と低域に周波数変換されたカラー信号を重畳して記録していました。もちろん使用する周波数は異なりますが、同時に輝度信号とカラー信号を記録することに起因する信号間の干渉など、従来方式には考慮しなければならない多くの技術的課題が存在しました。

これに対しハイビジョンは放送自体が輝度信号と色を伝送する色差信号を分離して送るコンポーネント方式であり、この方式の良さを活かすために開発されたのが、TCI(Time Compress Integration)方式です。

TCI方式では輝度信号と色を伝送する色差信号が時間軸方向に圧縮され、並べ直してからテープ上に記録されていきます。つまり、輝度信号とカラー信号は同時には記録されず、テープ上異なる位置に記録されることとなり、原理的に信号間の干渉が非常に少ない方式であると言えます。

このTCI記録方式はハイビジョン信号を記録するHDモードだけではなく、現行テレビ信号を記録するSDモードにも採用されています。

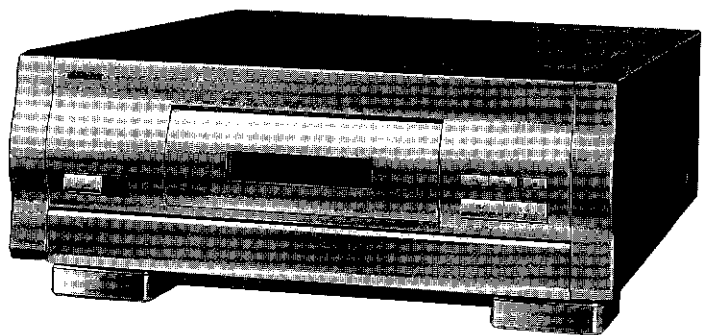
## ●HDデジタルTBC(Time Base Corrector)

W-VHSのHDモードではハイビジョン信号を2つの映像トラックに分割して記録する2トラックパラレル記録方式を採用し、高密度記録を実現しました。

HDデジタルTBCは、この2トラックパラレル記録を実現する上で問題となる再生時のトラック間の時間軸の違い、いわゆるトラック間ジッターを補正し、元通りの信号に復元して安定した映像を実現します。

## ●SDデジタルTBC(Time Base Corrector)

SDモード時、映像信号は1本のトラックに記録されますが、そのままでは従来のVHS、S-VHSと同様に、記録時と再生時のヘッド相対速度の微妙な偏差により、ジッターが発生します。高品位な記録再生を実現するため、SDモード時もデジタル信号処理によるSDデジタルTBCが動作し、画揺れの原因となる時間軸変動を防ぎます。



## 高品位映像設計(基本信号系)

### ●低ノイズディスクリートRECアンプ

通常、IC(集積回路)で作られる映像信号のREC(録画)アンプを、厳選した個別部品を用いて作ったアンプです。低ノイズ化が図れ、とくにカラー信号帯域のS/Nが大きく向上しています。

### ●ハイパーパラレルFETプリアンプ

再生ヘッドから取り出した信号を増幅するプリアンプ。通常は1個のヘッドは1個のプリアンプが受け持ちますが、HR-WIでは1個のヘッドに複数のプリアンプを並列に設けて、出力を合成することで相対的にノイズを抑えています。プリアンプの数は、S-VHSの標準/3倍モード合わせて16個、W-VHSのHD/SDモード合わせて16個です。加えて、ノイズ電流をシャットアウトしやすいFET(電界効果型トランジスタ)で構成。これまで低ノイズ化が難しかった、カラー信号を含む低い周波数帯域でのノイズを大幅に改善しています。

## 高品位映像設計(信号処理系)

### ●629デジタルTBC 31

TBC(タイムベースコレクター)というのは走査線1本1本のタイミングと長さを整える回路のことです。テープから読み出される映像信号は、ミクロの目で見るとテープの走行ムラや振動、ヘッドドラムの回転ムラなどによって微妙にタイミングが早くなったり遅くなったりしています。これをジッターと呼び、そのままにしておくと、画面がゆがむ原因になります。デジタルTBCは走査線の映像信号を丸ごとメモリーにいったん記憶します。そして、クォーツの正確なタイミングで読み出してやるものです。テープの走行精度に左右されない、縦ラインのそろった画面が得られます。さらに、新開発の629デジタルTBCは、低い周波数(629kHz)に置き換えて記録されているカラー信号にもTBCをかけます。これにより、高い周波数のジッターに引きずられて発生していた色相の変化も少なくなり、安定した色再現を実現しています。

### ●3次元ダイナミックカラープロセッシング

フレームメモリーに蓄えられた直前画面も考慮してカラー信号処理を行う方式です。静止画像にも、動きの激しい画像にも対応し、再生カラーS/Nを改善しています。

### ●3次元デジタルアダマール

従来のノイズリダクションでは除去できなかった、濃淡が微妙に変わる部分のノイズ(通称ほったノイズ)。ピクチャーは、高度な数理解析理論「アダマール行列」を用いることでノイズ成分だけを適切に抜き出すことに成功しました。3次元デジタルアダマールは、それをさらに進化させたものです。ノイズの周波数・レベル適応型の信号処理に加え、直前の1画面をそっくり憶え込むフレームメモリーを搭載し現在の画面と比較。画面の動きにまで対応したノイズ除去を実現しました。

### ●3次元Y/Cセパレーション

家庭用VTRでは、輝度信号(Y)とカラー信号(C)を別の周波数帯に分けてテープに記録しています。ところがテレビ番組などの信号は輝度とカラーの両信号が重ね合わされた形になっているので、記録する前に分けてやる必要があります。これを行うのがY/Cセパレーション回路です。ここでの分離がうまくいかないと、再生時、クロスカラーやドット妨害となって現れます。HR-WIでは、画面は連続的に動いていくものの、1枚1枚を取り出してみると、少しずつ変化していくことに着目。そこで、Y/C分離を行うにあたって、直前の1画面をメモリーに保存しておき比較。トータルにドット妨害やクロスカラーを少なくし、水平・垂直のみならず、斜め方向の解像度も損なわないY/C分離を実現しています。また、場面の転換点や動きの激しい映像など、メモリーした画面と明らかに似ていない画面では、走査線単位の比較を行う3ラインデジタルロジカルコムY/Cセパレーション回路に切替えます。さらに、3次元Y/C分離で最も重要な動き検出ソフト、入出力フィルターなどの新規設計により、ディテール再現力、くっきりとした立体感など、密度の高い高品位映像がお楽しみいただけるようになりました。通常の「標準設定」のほか、動きのクリアさを重視した「動画設定」、S/N改善効果を重視した「高SN設定」と、録画内容に応じてお好みの選択ができます。

### ●ニューAIナチュラルカラーシステム

カラー信号をデジタル処理することで色濁りの発生を抑えるとともに、新しい処理手順の開発により、いままで難しかった細かい濃淡の再現特性が向上しています。

### ●Y/Cタイミングアジャスト 35

画面の正しい位置と、ちょっと横にずれた位置に色が付く。気になりますね。これは画像をかたち作る輝度信号(Y)と、色を付けるカラー信号(C)のタイミングがずれた時に起こる現象です。この現象をデジタルで補正するのがY/Cタイミングアジャストです。

### ●信号系システムにおける基本S/Nの改善

**オートチューナーノイズリジェクト**: テレビ番組を録画するとき、放送では映像信号が含まれていない高い周波数帯域をカットすることで、その帯域のノイズが低域のカラー信号に与える悪影響を追放。よりクリアな番組録画ができます。

**ディスクリートディテールエンハンサー**: 録画/再生の繰り返して劣化した映像信号を補正して、メリハリのある輪郭を再現するディテールエンハンサーを、IC(集積回路)を使わず、厳選されたパーツのみで徹底的に特性にこだわって再設計。ディテール改善効果を高めたばかりでなく、低ノイズ化も実現できました。

**ダブルカラープロセスシステム**: 低い周波数に置き換えて記録されたカラー信号を取り出して、輝度信号に乗せ直すのがカラー処理回路。この回路に求められる能力は、通常再生の時と、サーチの時では全く異なります。通常再生ではノイズの発生を極力抑えるため、いわばじっくりと腰を据えて処理することが大切です。対してサーチの時は次々と変化する信号を高速で処理する必要があります。ならば、それぞれの状態に適した回路を専用で設けて、使い分けなのがダブルカラープロセスシステムです。緻密でクリアな通常再生画像と、色乱れの少ない美しいサーチを実現しました。

## 高音質Hi-Fi設計

### ●ロジカルHi-Fi NR(再生時) 41

別のビデオデッキで録音したハイファイテープを再生する時に発生しやすい低い周波数のノイズを、マイコン制御の適応動作フィルターによりカット。市販のソフトやレンタルビデオの音声をクリアに再生します。

### ●ハイパーグラウンディングバス

オーディオの各回路でのグラウンド(アース)電位差をなくし、渦巻電流ひずみを追放するため、グラウンド部に3枚の銅板を設置し、グラウンドの低インピーダンス化を図っています。

### ●音声専用電源+音声独立基板

比較的変動の大きいメカニズム部の電源などと、音声系統の電源部を明確に分離することにより、電源電圧が安定し、他回路ノイズに左右されない、高音質な録音/再生が行えます。

### ●ハイパータンジェント方式

VHSハイファイでは、音声も回転ヘッドによって記録されているため、再生時にはAヘッド→Bヘッド→Aヘッドと、2つのヘッドを交互に切り換えながら信号をピックアップすることになります。この、ヘッドの切り換え部分で発生するのがスイッチングノイズです。ハイパータンジェント方式は、2つのヘッドから得られた波形と波形のつながりを予測して間を埋めるとともに、その結果を調べ、誤差があったら直ちに補正する2段階のスイッチングノイズ対策です。これにより、よりクリアなハイファイ音声を楽しめるようになりました。

## メカニズム

### ●HDスーパーソリッドDDメカニズム

高性能、高応答性を追求して開発されたスーパーソリッドメカニズムをさらに進化させ、プレステージ機としてふさわしいテープ走行メカニズムを開発しました。

**低ジッター**：モーターの動力を、ギアを介してリール駆動を行う方式では、ギアかみ合わせの細かな振動が、リールやキャプスタンを通じてテープに伝わり、ジッター(時間軸のゆらぎ)となって悪影響を与えていました。HDスーパーソリッドDDメカニズムでは、供給/巻取りの両リールをダイレクトドライブモーターで駆動することによりギアを追放。振動源をなくすことでジッターを低減しています。

**低騒音**：ダイレクトドライブのメリットは、早送りや巻戻しの際にも顕著に表れます。通常、回転が早くなるにつれ耳に付くギア鳴きがありませんので、サーチ時にも騒音が気になりません。

**定テープテンション**：テープとヘッドの接触をよくするために、テープにはテンション(張り)がかけられています。従来は供給側リールにベルトを巻き付けて、いわばブレーキをかけることでテンションをかけていました。この方式はテープの巻き始めと終わりで、テンション量が大きく違っていたのが実情です。スーパーソリッドDDメカニズムは、両リールモーターの駆動力を電氣的にコントロールすることでほぼ一定のテンション量を、テープの位置にかかわらずかけることができます。

### ●ダイナミックデジタルサーチ 18

メカニズムの改良や、画像処理のデジタル化で可能になった高速・高画質での自由なサーチの総称です。

**ハイパーストロボサーチ**：とりあえずテープの内容を確かめてみたい。そんな時に便利なサーチです。標準モードのテープなら33倍速で、1時間の内容を2分弱、3倍モードでは100倍速で同じく40秒足らずでチェックできます。

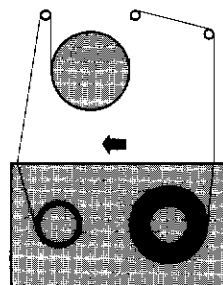
**スキューレスファインサーチ**：再生中にちょっと早送りしたい、あるいは巻き戻してもう一度見たい、こんな時に活躍するシャトルサーチ。スキューレスファインサーチはシャトルサーチの画質を改善したものです。

**ハイスピードオープンサーチ**：早送りや巻戻しをしながら見たいところを探すのに便利なサーチです。早送り中なら早送りボタンを、巻戻し中なら巻戻しボタンを押すことで、標準モード33倍速、3倍モード100倍速の高速度でテープの進み具合を知ることができます。

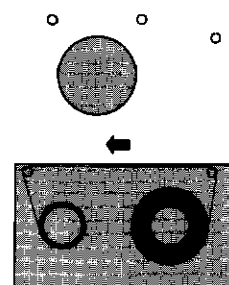
### ●NFスーパーリワインド 30

巻戻して、電源を切る(巻戻しボタンに続けてPOWERボタンを押す)、あるいはテープを取り出す(巻戻しボタンに続けてOPEN/CLOSEボタンを押す)などのネクストファンクション操作を行うと、巻戻す量を調べ、多いとテープをカセット内に戻して、超高速で巻戻します。120分テープを約1分で戻せます。

通常の巻戻し



NFスーパーリワインド時の巻戻し



## 制振・静音技術

### ●二重構造制振トップパネル

通常のビデオデッキで用いられる鋼板のトップパネル(天板)の上に、厚いアルミ板を乗せた二重構造とし、放熱用のスリット(穴)もなくすることで、音もれを低減。同時にセットの質量も増加したことで外部振動に強くなりました。

### ●ハニカム構造シャーシ

底面全体と側板にハニカム(蜂の巣)状のリブ(凹凸)をいれたシャーシを採用しました。高剛性化と高質量化、高減衰特性を同時に達成することができました。

### ●エアタイトドア

静かなシーンになると気になるテープ走行音。HR-W1ではカセットローディング部のドアに、ビデオ内部での音を遮断し、静音性を高めるために、ダブルアクションのエアタイトドアを採用しました。

### ●温度コントロール大口径ベンチレーター

静音設計を徹底し、密閉性を高めた構造で、効率的な放熱を行うのが大口径ベンチレーター(ファン)です。内部の温度上昇を防ぐため大型のファンが低速回転。十分な排気量を確保しています。

## 高機能

### ●ビデオステータス 32

映像ソースに応じてビデオの動作設定を簡単に呼び出せる機能です。HR-W1は録画/再生の際、様々なデジタル信号処理を行っていますが、デジタル信号処理の特長は、その処理状態をメモリーしておくことが簡単で、しかも正確に再現できること。AIオート、ダビング、レンタルの3ポジションに加えて、お使いになる方が自由に設定できる2つのユーザーメモリーも装備しています。ユーザーメモリーで設定できるのは、Y-DSP、C-DSP、CNRの3設定があります。

Y-DSP(Y-デジタル・シグナル・プロセッシング)では、以下3項目で設定が可能です。

- 3次元デジタルアダマール
- ベクトル追尾シグナルシェイパー(デジタル特有の残像を取り除く)
- 動き適応3次元デジタルY/Cセパレーション

C-DSP(C-デジタル・シグナル・プロセッシング)では、以下4項目で設定が可能です。

- デジタルピュアカラー
- ニューAIナチュラルカラーシステム
- 3次元ダイナミックカラープロセッシング
- デジタルPMノイズキャンセラー(TBCに付随して濁ったざらつきを取り除く)

CNR(カラーノイズリダクション)回路のオート/切の設定が可能です。

CNR回路は、3倍モードでVHS記録したテープなど、比較的カラーS/Nが悪いテープの画質を改善する回路です。

### ●AIオートキャリプレーション 42

録画に使うテープ1本ごとに特性を調べて、そのテープの能力がもっとも発揮されるように記録レベルを設定するキャリプレーション。

# 保証とアフターサービス

## 保証書について

### 保証書記載内容の確認と保存のお願い

この商品には保証書を別途添付しています。保証書はお買い上げ販売店でお渡しますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

### 保証期間

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他、詳しくは保証書をご覧ください。

## アフターサービスについて

### 保証期間経過後の修理

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料にて修理いたします。

### 補修用性能部品の保有期間

当社はこのビデオカセットレコーダーの補修用性能部品の、製造打ち切り後最低8年間保有しています。

## 修理を依頼されるときは

### 故障かなと思ったときは

52～55ページをよくお読みの上、故障かどうかお調べください。

### ビデオが異常なときは

ビデオから異常な音や煙が出るとき、また画像が映らなくなったときなどは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご連絡ください。

### 美しい画面をご覧いただくために

ビデオテープレコーダーは非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると機能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、おおよそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめします。

# 仕様

## 仕様

- 電源 ……………AC100V 50/60Hz
- 消費電力 ……………84W (BSアンテナ電源使用時 89W)  
電源「切」時 10W)
- 電源出力 ……………AC100V 50/60Hz 連動/非連動  
BSデコーダー用電源コンセント  
最大300W以下
- 外形寸法 ……………445(幅)×182(高さ)×463(奥行)mm
- 重量 ……………16.2kg
- 許容動作温度 ……………+5℃~+40℃
- 許容相対湿度 ……………35%~80%
- 許容保存温度 ……………-20℃~+60℃

### ビデオ(映像)

- 録画・再生方式 ……………W-VHS方式  
HDモード: 回転4ヘッドヘリカルスキャン  
SDモード: 回転2ヘッドヘリカルスキャン  
時間軸圧縮TCI信号FM記録  
S-VHS/VHS方式  
回転2ヘッドヘリカルスキャン  
輝度信号 FM方式  
色信号 低域変換直接記録方式
- 映像信号 ……………NTSC日本標準信号  
ハイビジョンベースバンド信号

### Hi-Fiオーディオ(音声)

- 録音方式 ……………VHSステレオハイファイ方式
- 周波数特性 ……………20Hz~20kHz
- ダイナミックレンジ ……………90dB以上
- ワウ・フラッター ……………0.005%以下
- チャンネルセパレーション ……………80dB以上

### ノーマルオーディオ(音声)

- 録音方式 ……………リニアトラック
- 音声トラック ……………1チャンネル(モノラル)

### チューナー(テレビ受信)

#### ■VHF/UHFチューナー部

- 受信方式 ……………周波数シンセサイザ方式
- 音声多重受信方式 ……………インターキャリア方式
- 受信チャンネル ……………VHF 1~12チャンネル  
UHF 13~62チャンネル

#### ■BSチューナー部

- 受信方式 ……………周波数シンセサイザ方式
- 受信チャンネル ……………BS 1、3、5、7、9、11、13、15チャンネル

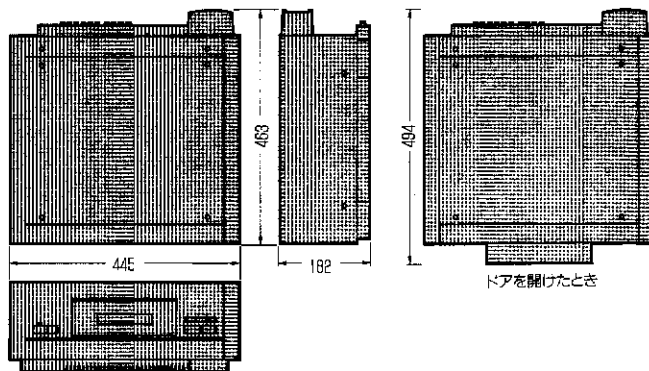
\*仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

### タイマー(タイマー予約・時計)

- タイマー予約 ……………2週間8番組予約
- 時計 ……………24時間方式
- 停電補償時間 ……………約30分

### 接続端子

- アンテナ ……………75Ω F型コネクター  
VHF/UHF一軸
- BSアンテナ ……………75Ω F型コネクター  
アンテナ電源出力 DC15V 最大4W
- BS-IF出力 ……………75Ω F型コネクター
- HD映像 ……………入力 Y: 0.7Vp-p 75Ω 3値同期  
P<sub>B</sub>、P<sub>R</sub>: ±0.35V 75Ω 3値同期  
出力 Y: 0.7Vp-p 75Ω 3値同期  
P<sub>B</sub>、P<sub>R</sub>: ±0.35V 75Ω 3値同期
- S映像 ……………入力 Y: 0.8~1.2Vp-p 75Ω  
C: 0.2~0.4Vp-p 75Ω  
出力 Y: 1.0Vp-p 75Ω  
C: 0.29Vp-p 75Ω
- 映像 ……………入力 0.5~2.0Vp-p 75Ω(ピンジャック)  
出力 1.0Vp-p 75Ω(ピンジャック)
- 音声 ……………入力 -8dBs 50kΩ(ピンジャック)  
前面端子のみモノ(左)対応  
出力 -8dBs 1kΩ(ピンジャック)
- 検波入/出力 ……………0.67Vp-p 75Ω(ピンジャック)
- ビットストリーム入/出力 ……………0.5Vp-p 75Ω(ピンジャック)
- デジタル音声出力(同軸) ……………0.5Vp-p 75Ω(ピンジャック)
- AFC入力 ……………0.5Vp-p 75Ω(ピンジャック)
- リモートポーズ ……………ピクチャービデオムービー・デッキとの編集用
- 電話予約 ……………3.5φ AVコンピュリンクII兼用
- ヘッドホン ……………3.5φ 8Ω~1kΩ



# 索引

□内は操作編の参照ページです。

○内は設置編の参照ページです。

ア	頭出し再生	28
	アンテナ電源スイッチ	22
	ウラ番組録画	13、15
	オートチャンネル設定	32
	オートトラッキング	34
	オンスクリーン	12~15
カ	音声出力切換	39
	音声レベルメーター表示	40
	ガイドチャンネル一覧表	41
	ガイドチャンネル設定	40~43
	外部入力	47
	カウンターリセット	16
	画質調節	35
	カセットアダプター	5
	可変速サーチ	19
	画面表示	12~15
クリーニングカセット	2	
サ	自動HD録画スイッチ	8
	ジョグ/シャトル	19
	スキューレスファインサーチ	18
	ズームモード	44
	スロートラッキング調節	34
タ	タイマー予約(Gコード予約)	20
	タイマー予約(本体)	22
	ダビング(コピー)	46~51
	ダビングポジション	33
	チャンネルスキップ	34
	チャンネル微調整	37
	チャンネル表示変更	36
	つめ	5
	つゆつき(結露)	50
	ディスプレイ入/切ボタン	7
	テープ残量	36
	電話予約	49
	独立音声	10
	トラッキング手動調節	34
	ナ	ニヶ国語音声録音
入出力切換スイッチ		50
入力切換		47
ネクストファンクションメモリー		30
ハ	ハイスピードオープンサーチ	18
	ハイパーストロボサーチ	19
	ぴったりクロック	39
	ビデオステータス設定	32
	ブランクサーチ	36
	ブルーバック	12
	フルモード	44
	フルモードスイッチ	44

マ	毎週/毎日予約	23
	マスターエディットコントロール	50
	モード選択画面	12
ヤ	予約確認リスト画面	24
	予約の確認/修正/取消し	24~26
ラ	リテイク機能	37
	リモコンコード切換	47
	リモートポーズ端子	50
	レンタルポジション	33
ロジカルHi-Fi NR	41	
ワ	ワイドモード	44
	ワンタッチタイマー録画	13
アルファベット	3D Y/C SEP	12
	629デジタルTBC	31
	A/Bコード	47
	AIオートキャリブレーション	42
	AIオートポジション	33
	AVコンピュリンクII	29、48
	AVテレホンコントローラー	49
	BSアンテナ	22
	BSオートチャンネル設定	33
	BS音声スイッチ	10
	BSデコーダーオンラインスイッチ	10、27
	BSデコーダー用電源コンセント	44、46
	BS入力レベル	24
	C-DSP	33
	CMスキップサーチ	18
	CNR	33
	Gコード予約	20
	HD録画	7、14
	Hi-Fi音声切換	39
	Hi-Fi録音レベル調節	40
NFスーパーリワインド	30	
S1映像信号	8	
S映像信号	8	
SD録画	7	
St.GIGA	10	
S-VHS録画	6、12	
TVマルチブランドリモコン	11	
VISS書込み/消去	29	
WOWOW	10	
YCタイミングアジャスト	35	
Y-DSP	33	

# W VHS BS Hi-Fi VIDEO *Plus*

お買い上げいただきありがとうございます。

後日のために記入しておいてください。

型番 <b>HR-W1</b>	お買い上げの販売店 電話 (      )      -
お買い上げの販売店 年      月      日	お近くのビクターサービス窓口 電話 (      )      -

アフターサービスのお問い合わせ先

転居、ご贈答などアフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ販売店または別紙「サービス窓口案内」をご覧の上お近くのサービス窓口にご相談ください。

お客様ご相談センター

東京… ☎(03) 5684-9311 (代表)  
〒113 東京都文京区本郷3丁目4-7 ビクター本郷ビル  
大阪… ☎(06) 765-4161 (代表)  
〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

\* Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

**Victor JVC**  
**日本ビクター株式会社**

ビデオ事業部

〒221 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 電話(045)453-1111(代表)

DEC93 PU30424-406-2(SV)